

# 琵琶湖博物館業績目録

第 23 号

2018 年度

滋賀県立琵琶湖博物館 編

滋賀県立琵琶湖博物館

2019 年 5 月

*Performance Records of the Lake Biwa Museum, No. 23*

*From April 2018 to March 2019*

*Edited by the Lake Biwa Museum (Chief editor: NAKAI, Katsuki)*

*Published by the Lake Biwa Museum*

*Oroshimo-cho 1091, Kusatsu, Shiga 525-0001, Japan*

*© Lake Biwa Museum, May 2019*

*All rights reserved*

## 目 次

収録内容		3
館長		
篠原 徹	SHINOHARA, Toru	5
副館長		
高橋 啓一	TAKAHASHI, Keiichi	8
上席総括学芸員		
山川 千代美	YAMAKAWA, Chiyomi	11
環境史研究係		
里口 保文	SATOGUCHI, Yasufumi	14
橋本 道範	HASHIMOTO, Michinori	18
北井 剛	KITAI, Takeshi	21
楊 平	YANG, Ping	24
林 竜馬	HAYASHI, Ryoma	27
渡部 圭一	WATANABE, Keiichi	31
大久保 実香	OKUBO, Mika	35
妹尾 裕介	SENOO, Yusuke	36
田畑 諒一	TABATA, Ryoichi	39
生態系研究係		
亀田 佳代子	KAMEDA, Kayoko O.	43
松田 征也	MATSUDA, Masanari	47
桑原 雅之	KUWAHARA, Masayuki	51
八尋 克郎	YAHIRO, Katsuro	54
芳賀 裕樹	HAGA, Hiroki	57
中井 克樹	NAKAI, Katsuki	60
榊永 一宏	MASUNAGA, Kazuhiro	71
スミス, ロビン J.	SMITH, Robin James	75
下松 孝秀	KUDAMATSU, Takahide	77
片岡 佳孝	KATAOKA, Yoshitaka	79
山本 綾美	YAMAMOTO, Ayami	81
鈴木 隆仁	SUZUKI, G. Takahito	83
大槻 達郎	OHTSUKI, Tatsuo	86
博物館学研究係		
大塚 泰介	OHTSUKA, Taisuke	89
戸田 孝	TODA, Takashi	94
奥野 知之	OKUNO, Tomoyuki	96
芦谷 美奈子	ASHIYA, Minako	99

金尾 滋史	KANAOKA, Shigefumi	101
中村 久美子	NAKAMURA, Kumiko	107
小林 偉真	KOBAYASHI, Hidemasa	111
松岡 由子	MATSUOKA, Yuko	114
<b>嘱託員</b>		
大喜 のぞみ	DAIKI, Nozomi	116
三桝 友梨香	MIMASU, Yurika	118
<b>名誉学芸員</b>		
川那部 浩哉	KAWANABE, Hiroya	120
布谷 知夫	NUNOTANI, Tomoo	123
中島 経夫	NAKAJIMA, Tsuneo	126
前畑 政善	MAEHATA, Masayoshi	127
用田 政晴	YODA, Masaharu	128
グライガー, マーク J.	GRYGIER, Mark Joseph	130
<b>特別研究員</b>		
北村 美香	KITAMURA, Mika	134
天野 一葉	AMANO, Hitoha	137
寺本 憲之	TERAMOTO, Noriyuki	138
中野 聡志	NAKANO, Satoshi	140
楠岡 泰	KUSUOKA, Yasushi	141
中野 正俊	NAKANO, Masatoshi	142
藤岡 康弘	FUJIOKA, Yasuhiro	143
辻川 智代	TSUJIKAWA, Tomoyo	145
高梨 純次	TAKANASHI, Junji	146
瀬口 眞司	SEGUCHI, Shinji	147
矢田 直樹	YADA, Naoki	148
廣石 伸互	HIROISHI, Shingo	150
朱 伟	ZHU, Wei	151
池田 勝	IKEDA, Masaru	153
柏尾 珠紀	KASHIO, Tamaki	155
黒岩 啓子	KUROIWA, Keiko	156
山本 充孝	YAMAMOTO, Michitaka	158
岩木 真穂	IWAKI, Maho	159
鈴木 真裕	SUZUKI, Masahiro	160
根来 健	NEGORO, Takeshi	161
今井 一郎	IMAI, Ichiro	163
総合研究・共同研究による印刷物		166
2018年度の研究活動をふりかえって		169

## 収録内容

1. この業績目録には、滋賀県立琵琶湖博物館の学芸職員および嘱託員、特別研究員等の2018年4月から2019年3月までの内容が収録されています。
2. この業績目録には、次の項目に該当する業績を収録しました。

## 一年間の研究

### 印刷物

- 【学術論文】（査読を経て掲載された論文）
- 【専門分野の著作】（査読を経ないが、専門的内容の高い著述）
- 【一般向けの著作】
- 【これまでの業績集に掲載されていない著作】

## 研究活動に関する業績

- 【学会・研究会での発表】
- 【インターネットページでの公表】
- 【研究プロジェクト等への参加】
- 【学会等の役職・運営、論文の査読など】
- 【大学の講義・実習、学生の指導など】
- 【受賞など】

## 博物館事業に関する業績

- 【交流・サービス事業】
  - 琵琶湖博物館の主催行事
  - 他の博物館・機関等の主催行事
  - 視察対応
  - メディアへの協力
- 【情報整備活動】
  - 琵琶湖博物館の活動
  - 他博物館・機関の活動
- 【資料整備活動】
  - 琵琶湖博物館の活動
  - 他博物館・機関の活動
- 【展示活動】
  - 琵琶湖博物館の活動
  - 他博物館・機関の活動

【企画調整活動】

【広報営業活動】

【新琵琶湖博物館創造室活動】

【研究部関連事業】

## 館内の人事・館外活動等に関すること

【館内の人事】

【海外渡航】

【館外の活動】

## 館長

## 印刷物

## 【一般向けの著作】

- 篠原 徹 (2018) 遠くなった「生活の旅」の世界. まほら (旅の文化研究所), 95 : 38.
- 篠原 徹 (2018) 近江は句どころ. ネノネ#1 (森島商事株式会社), 12-13.
- 篠原 徹 (2018) 書評「アフリカ文化探検」. アフリカ研究 (日本アフリカ学会), 93 : 13-18.
- 篠原 徹 (2018) 湖岸より 320 第2期リニューアルに向けて. 中日新聞, 6月30日.
- 篠原 徹 (2018) 芭蕉のフェイバリット. 現代のことば, 京都新聞, 7月2日.
- 篠原 徹 (2018) 駄舌の京都. 現代のことば, 京都新聞, 9月4日.
- 篠原 徹 (2018) 紋切り型. 現代のことば, 京都新聞, 10月16日.
- 篠原 徹 (2018) おうみ漁具図鑑 16 モチバエの杵渡り鳥とる巧妙な仕掛け. 京都新聞, 11月1日.
- 篠原 徹 (2019) 耳障りな言葉. 現代のことば, 京都新聞, 1月7日.
- 篠原 徹 (2019) 湖岸より 334 第3期新装へ決意の新年. 中日新聞, 1月12日.
- 篠原 徹 (2019) 地域性. 現代のことば, 京都新聞, 2月19日.
- 篠原 徹 (2019) ほろ酔いの村. 京都大学学術出版会, 京都, 224p.
- 篠原 徹 (2019) 民俗学断章. 社会評論社, 東京, 240p.

## 研究活動に関する業績

## 【研究プロジェクト等への参加】

- 国立民族学博物館「もうひとつのドメスティケーション」, 共同研究員.

## 博物館事業に関する業績

## 【交流・サービス事業】

## 琵琶湖博物館の主催行事

- 質問コーナー, 琵琶湖博物館, 3件.
- 2018年4月27日, 近美×びわ博描かれた湖国の生き物と風景展, 琵琶湖博物館, 記者発表・内覧会.
- 2018年4月28日, 近美×びわ博描かれた湖国の生き物と風景展, 琵琶湖博物館, オープニング式典挨拶.
- 2018年8月27日, 2018年度博物館実習, 琵琶湖博物館, 挨拶.
- 2018年11月10日, 日本植生史学会公開シンポジウム (日本植生史学会共催), 琵琶湖博物館, 冒頭挨拶.
- 2018年12月5日, 韓国NFRとの二国間交流事業 (セミナー)「日本と韓国における淡水生物の多様性と変遷」, 琵琶湖博物館, はじめの挨拶.
- 2018年12月9日, 淡海こどもエコクラブ活動交流会・表彰式. 琵琶湖博物館, オブザーバー・選考委員.
- 2018年12月16日, 第9回琵琶湖地域の水田生物研究会 (近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態学会近畿地区会共催), 琵琶湖博物館, 開会挨拶.
- 2019年1月23日, 新琵琶湖学セミナー「森と水辺の物語—新しい歴史展示を作る」, 琵琶湖博物館, 開講挨拶.
- 2019年3月16日, 博物館と民俗自然史. 篠原徹館長退職記念事業, 琵琶湖ホテル, 講演.

### **他の博物館・機関等の主催行事**

- 2018年6月1日, 近畿管内信用保証協会定例会議(滋賀県信用保証協会), 琵琶湖博物館, 冒頭挨拶.
- 2018年6月1日, 琵琶湖の自然と文化を詠む. ビオトープフォーラム in 滋賀(日本ビオトープ協会), 琵琶湖博物館, 基調講演.
- 2018年5月14日, 酒食同源の世界. 大阪大学臨床栄養研究会公開講座(大阪大学大学院医学系研究科・医学部), 大阪大学医学部(大阪府吹田市), 講演.
- 2018年8月2日, 琵琶湖と酒と俳句. 近江八幡ライオンズクラブ通常例会, ホテルニューオウミ(滋賀県近江八幡市), ゲストスピーチ.
- 2018年8月18日, 歴博映像祭Ⅱ「民俗研究映像の30年」. 国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市), 講師.
- 2018年11月11日, 自然とつきあう. 平成30年度環境講演会(高島市エコライフ推進協議会), 安曇川公民館(滋賀県高島市), 講演.
- 2018年12月8日, 日本水産学会近畿支部後期例会, 琵琶湖博物館, 開会挨拶.
- 2019年1月19日, 街道と俳諧. くさつ・歴史発見塾(草津市立草津街道交流館), 草津市立草津街道交流館(滋賀県), 講師.
- 2019年1月20日, トンボ100大作戦～滋賀のトンボを救え～(生物多様性びわ湖ネットワーク), 琵琶湖博物館, 開催挨拶.
- 2019年1月27日, ドキュメンタリー映画「鳥の道を超えて」上映会 & ディスカッション. 野生動物研修会一般市民講座(滋賀県獣医師会), 琵琶湖博物館, 対談.

### **視察等への対応**

- 2018年8月21日, 挨拶, 環境省笹川政務官.
- 2018年9月7日, 挨拶, 琵琶湖保全再生推進協議会幹事会.
- 2018年10月17日, 挨拶, 茨城県立歴史館.
- 2018年11月16日, 挨拶, 滋賀県議会環境・農水常任委員会県内行政調査.
- 2018年12月4日, 挨拶, 韓国国立洛東甲生物資源館研究部長・職員.

### **メディアへの協力**

- 2018年9月30日, びわこ放送, なるほどミュージアム. 出演(9月18日取材対応).
- 2018年12月7日, FMおおつ, 「琵琶湖博物館の親しみ文化」について. ラジオ出演(生放送).

#### **【展示活動】**

##### **琵琶湖博物館の活動**

モーニングレクチャー, 講義, 4回.

#### **【企画調整活動】**

樹冠トレイルオープニングセレモニー, お礼のことば, 2018年11月3日, 琵琶湖博物館.

#### **【広報営業活動】**

感謝状贈呈式, 3件.  
感謝状贈呈式(県庁)1件.

## **館内の人事・館外活動等に関すること**

#### **【館内の人事】**

滋賀県博物館協議会, 理事.  
滋賀県ミュージアム活性化推進委員会, 会長.

### 【館外の活動】

高島市指定管理者候補者選定委員会，委員.  
国立歴史民俗博物館，名誉教授.  
総合研究大学院大学，名誉教授.  
琵琶湖環境研究推進機構，顧問.  
環境省環境研究企画委員会，委員.  
公益信託四方記念地球環境保全研究助成基金運営委員会，委員.  
公益財団法人尾瀬保護財団尾瀬賞運営委員会，委員.  
財団法人長尾自然環境財団，評議員.  
公益財団法人国際湖沼環境委員会，理事.  
公益財団法人日本博物館協会，参与.  
京都の文化的景観研究会，検討委員.  
滋賀県文化振興事業団，個人会員.  
家畜資源研究会，個人会員.  
生態人類学会，会員.

**副館長**

審議員 (琵琶湖博物館副館長) として2年が経過した。昨年と同様に博物館の運営を中心に業務を行った。リニューアルに伴う企業訪問は、昨年度と同数を訪問し、これまで博物館とつながりが薄かった層に対して琵琶湖博物館の魅力やリニューアルの告知をするとともに、リニューアルの支援を呼びかけ、多くの企業から賛同を得ることができた。琵琶湖博物館への視察に対する館内案内は、例年よりも回数が多かった印象がある。

研究面では、私が代表の科学研究費基盤 (B) 「東アジアの古代湖『琵琶湖』の固有種成立過程のための総合的研究」が採択され、新たな研究が始まった。その他、昨年と同様に科学研究費補助金 (新学術領域研究) 「パレオアジア文化史学—アジア新人文化形成プロセスの総合的研究—」 (研究代表者: 西秋良宏) (2016~2020 年度) の研究協力者、さらには国立歴史民俗博物館共同研究「直良コレクションを構成する更新統産動物化石の分類学的検討と現代的評価」 (研究代表者: 甲能直樹) の共同研究者として、国内外の5万年以降の動物相の変遷と動物相、人類活動との関係性について調査を行った。

**印刷物****【学術論文】**

Izuho, M., Terry, K., Vasil'ev, S., Konstantinov, M., and Takahashi, K. (2018) Tolbaga revisited: Scrutinizing occupation duration and its relationship with the faunal landscape during MIS 3 and MIS 2. *Archaeological Research in Asia*, <https://doi.org/10.1016/j.ara.2018.09.003>.

**【専門分野の著作】**

高橋啓一・楊 平 (2019) 中国黒竜江省ハルビン市周辺のマンモス動物群を訪ねて—中国東北地域の後期更新世哺乳動物群から日本のマンモス動物群を考える—。 *化石研究会会誌*, 51: 43-52.  
高橋啓一・楊 平 (2019) 标本探訪の旅—黒龍江省猛犸象動物群之奥妙。 *化石 (中国科学院古脊椎動物与古人类研究所)*, 2019年1号: 49-53.

**研究活動に関する業績****【学会・研究会での発表】**

Baba, R., Yoneyama, A. and Takahashi, K. (2018年7月12日) Three-dimensional non-destructive imaging method of structural and elemental information using scattering X-ray. Vth International Palaeontological Congress (International Palaeontological Association), The Sorbonne University and the National Museum of Natural History (フランス, パリ市) [ポスター発表].  
近藤洋一・高橋啓一・馬場理香・小寺春人・北川博道・関 めぐみ (2018年9月5日) 長野県佐久穂町から産出した畑八標本 (“*Palaeoloxodon naumanni*”) のX線CT画像による再検討. 日本地質学会第125年学術大会, 北海道大学 (札幌市), [ポスター発表].  
松岡由子・中村久美子・高橋啓一・三島弘幸・岡本 実 (2018年9月19日) 飼育下カヤネズミにおける歯の年齢査定を試み. 平成30年度近畿ブロック動物園水族館臨床研究会, ホテル金波楼 (兵庫県豊岡市), [口頭発表].  
高橋啓一・楊 平 (2018年11月17~18日) 中国東北~北部におけるマンモス—ケサイ動物群と北方系細石刃石器群. 科研費 (新学術領域) 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会, 東京大学小柴ホール (東京都文京区), [ポスター発表].

渡辺順也・小泉明裕・中川良平・高橋啓一・田中 猛・松岡廣繁（2019年1月26日）更新統上総層群・下総層群から産出した海鳥化石群. 日本古生物学会第168回例会, 神奈川県立生命の星・地球博物館（小田原市）, [口頭発表].

#### 【研究プロジェクト等への参加】

科学研究費補助金（新学術領域研究）「パレオアジア文化史学ーアジア新人文化形成プロセスの総合的研究ー」（研究代表者：西秋良宏），研究協力者（2016～2020 年度）.

国立歴史民俗博物館共同研究「直良コレクションを構成する更新統産動植物化石の分類学的検討と現代的評価」（研究代表者：甲能直樹），共同研究者（2017～2019 年度）.

科学研究費補助金（基盤 B）「東アジアの古代湖『琵琶湖』の固有種成立過程のための総合的研究」（研究代表者：高橋啓一），研究代表者（2018～2022 年度）.

#### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

化石研究会，運営委員，2013 年 6 月～.

日本旧石器学会，査読，1 件

## 博物館事業に関する業績

#### 【交流・サービス事業】

##### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，8 回.

はしかけ運営「ほねほねくらぶ」.

##### 視察等への対応

2018 年 4 月 18 日，展示案内，企業連携感謝状贈呈式および意見交換会参加者.

2018 年 4 月 20 日，展示案内，日本ソフト開発 新入社員研修.

2018 年 4 月 27 日，展示案内，在大阪ベトナム総領事.

2018 年 6 月 1 日，展示案内，近畿管内信用保証協会定例会議.

2018 年 6 月 23 日，ご挨拶・館内見学，(株)日立建機ティエラ.

2018 年 7 月 12 日，展示案内，三菱電機ビルテクノサービス(株).

2018 年 8 月 4 日，ご挨拶，(株)ダイハツ工業 学習会.

2018 年 8 月 4 日，ご挨拶，(株)日吉 学習会.

2018 年 8 月 21 日，展示案内，笹川環境大臣政務官.

2018 年 9 月 7 日，展示案内，琵琶湖保全再生推進協議会幹事会.

2018 年 10 月 3 日，展示案内，日本コカ・コーラ(株) 守山工場工場長.

2018 年 10 月 16 日，展示案内，彦根市多景地区社会福祉協議会.

2018 年 10 月 18 日，展示案内，衆議院事務局決算行政監視調査室.

2018 年 11 月 9 日，ご挨拶並びに博物館の概要説明，国立台湾歴史博物館.

2018 年 11 月 14 日，展示案内，第 78 回近畿府県監査委員協議会参加委員.

2018 年 11 月 16 日，展示案内，県議会環境・農水常任委員会県内行政調査.

2019 年 1 月 24 日，概要説明・展示案内，環境省水・大気環境局長.

2019 年 2 月 18 日，展示案内，参議院環境委員会.

2019 年 3 月 13 日，展示案内，企業連携感謝状贈呈式および意見交換会参加者.

2019 年 3 月 27 日，展示案内，企業連携感謝状贈呈式参加者.

### メディアへの協力

2018年6月26日, 日経グローバル誌, 取材対応.

2018年7月18日, 「博物館情報・メディア論」の第15回「地域の総合博物館における情報・メディア」(琵琶湖博物館), 出演(録画).

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

化石資料, 受入・貸出.

### 【企画調整活動】

新任職員等研修, あいさつ, 2018年4月18日, 琵琶湖博物館.

新任職員等研修, A展示説明, 2018年4月25日, 琵琶湖博物館.

リニューアル展示内覧会, 展示案内, 2018年7月4日, 琵琶湖博物館.

琵琶湖博物館協議会, 樹冠トレイル展示案内, 2019年2月28日, 琵琶湖博物館.

### 【広報・営業活動】

企業訪問, 32件.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2014年~, 研究審査委員.

### 【海外渡航】

2018年8月28日~9月3日, 大慶博物館、黒竜江省博物館、黒竜江省考古研究所など(中国黒竜江省哈爾濱市および大慶市), 科研費研究にかかる調査.

### 【館外の活動】

2014年4月~, 琵琶湖環境研究推進機構, 幹事.

2012年9月1日~, 西日本自然史系博物館ネットワーク, 「標本救済ネットワーク」.

2017年4月1日~, 名古屋大学博物館, 研究協力員.

研究テーマは、「新生代の大型植物化石の研究」とし、植物化石の分類学的な視点で化石植物群の組成解析による古植生の復元、古植物相の変遷、古環境を明らかにすることを目的にしている。

今年度は、これまでの古琵琶湖層群の植物化石を研究してきた成果に基づいて、企画展示「化石林ーねむる太古の森」を実施し、研究成果を公表することを重点にした。これを踏まえながら、科学研究費補助金（基盤 B）「東アジアの古代湖『琵琶湖』の固有種成立過程のための総合的研究」（研究代表者：高橋啓一）において、研究史をまとめている。共同研究「古琵琶湖誕生期における化石林に基づく水辺植生と古環境の解明」では、約 400 万年前の水辺の森林植生の復元を検討するため、昨年度行った野外調査や試料採取およびその処理を進め、その補足の調査を行なった。そのことで、調査地全体の産出状況を把握することができた。専門研究「中部更新統古琵琶湖層群産クルミ属堅果類の食痕化石」では、高島市長尾の安曇川の河床に分布する堅田層相当層から得られたクルミ属堅果化石にある生痕に焦点を当て、小型ネズミ類の生存証拠として企画展示で紹介を行なった。また、第 3 期展示リニューアルを見据えて、多賀町立博物館による古代ゾウ発掘プロジェクトによる約 180 万年前の古植生・古環境の検討を行うため、琵琶湖博物館はしかけグループ「古琵琶湖発掘調査隊」とともに植物化石資料の整理を行った。

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

山川千代美（編）（2018）*滋賀県立琵琶湖博物館第26回企画展示「化石林ーねむる太古の森」*. 琵琶湖博物館, 64p.

山川千代美（2018）湖岸より 321 化石林ーねむる太古の森. *中日新聞*, 7月14日.

山川千代美（2018）湖岸より 299 湖面に広がる水生植物ヒシ. *中日新聞*, 8月26日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

山川千代美（2018年 11月 10日）古琵琶湖層群における鮮新ー更新世の化石林研究. 琵琶湖博物館公開シンポジウム「時空を超えた埋没林・化石林研究の進展に向けて」（日本植生史学会共催）, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

山川千代美・神谷悦子（2018年 12月 21日）滋賀県多賀町四手産大型植物化石群集に基づく更新世の水辺復元の試み. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「中部更新統古琵琶湖層群産クルミ属堅果類の食痕化石」（2018年度）.

琵琶湖博物館共同研究「古琵琶湖誕生期における化石林に基づく水辺植生と古環境の解明」, 研究代表者（2017～2019年度）.

科学研究費助成事業（基盤 B）「東アジアの古代湖『琵琶湖』の固有種成立過程のための総合的研究」（研究代表者：高橋啓一）, 研究分担者（2018～2022年度）.

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本植生史学会, 会計幹事, 2018年度～.

日本植生史学会, 第 33 回学会大会実行委員長, 2018年 11月 9日～12日.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，8件。

はしかけ運営「古琵琶湖発掘調査隊」，担当。

2018年8月25日，研究活動について．平成30年度博物館実習，琵琶湖博物館，講師。

2018年8月26日，植物の化石を調べてみよう，企画展示関連イベント，琵琶湖博物館，担当。

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年4月21日～4月30日，古代ゾウ発掘プロジェクト第6次発掘，多賀町立博物館。

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

古琵琶湖層群産化石標本，受け入れ対応、標本整備推進。

#### 他の博物館等の活動

多賀町立博物館古代ゾウ発掘プロジェクト第6次発掘，資料整理、化石同定。

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

第26回企画展示「化石林ーねむる太古の森」実施，主担当。

モーニングレクチャー，講義，4回。

### 【企画調整活動】

マネジメント会議。

琵琶湖博物館協議会。

### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

第3期リニューアル A展示室「変わる気候と森林」，担当。

### 【研究部関連事業】

琵琶湖博物館特別研究員（川那部浩哉・用田政晴），受入担当。

研究部代表者会議，運営。

学芸会議，運営。

文部科学省科学研究費補助金対応。

県試験研究機関連絡会議，幹事。

琵琶湖環境研究推進機構，幹事。

韓国国立洛東江生物資源館との事前打ち合わせ（2018年7月23日），琵琶湖博物館。

韓国国立洛東江生物資源館との合同セミナー，協議・エクスカージョン・総括（2018年12月4日～7日），琵琶湖博物館。

オフリド水生生物研究所との事前調整。

研究報告会（2018年6月2日・3日），対応，琵琶湖博物館。

研究審査会（2018年9月29日），記録，琵琶湖博物館。

地学研究発表会（2019年2月16日），滋賀大学サテライト（大津市）。

琵琶湖博物館・日本植生史学会公開シンポジウム「時空を超えた埋没林・化石林研究の進展に向けて」（2018年11

月 10 日), 琵琶湖博物館, 担当運営.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

中日新聞掲載記事, 添削.  
衛生委員.

地層から過去の地層ができる環境解析を行うことや、地層中の火山灰層から、地層の年代決定や、過去の火山活動の検討を行うことを中心に研究を行っており、これらの研究は、現在の琵琶湖がどのようにできてきたのか？を知る研究に結びついている。

今年度は、琵琶湖の成立および古琵琶湖の環境変遷について、既存研究をまとめた最新の知見をまとめた一般書として、琵琶湖博物館ブックレットが出版された。過去の琵琶湖を中心とした水系の変化に関する研究をすすめ、その一部を日本地質学会で発表する予定であったが、学会が地震災害により中止になったため、講演要旨のみ出版されている。また、現在の琵琶湖の堆積物研究として、南湖湖底堆積物を使った過去の環境変動、特に植生生産量変化の研究を琵琶湖博物館共同研究として立ち上げ、今年度は南湖における2地点で掘削を行い、層相記載、粒度分析、年代測定を行った。その成果の一部は、日本第四紀学会で発表した。

琵琶湖地域の研究の他、数年前から関わっている IODP による日本列島周辺の海底コア解析については、日本海コアの研究が、共同研究者によって論文が出版された。紀伊半島沖のものについて、火山灰層の記載および対比の検討とその結果から堆積速度について検討した論文を投稿した。また、地質時代の新生代第四紀更新世前期・中期境界の模式地提案についての研究チームの一員として活動を行っており、その関連の論文が、共同研究者によって投稿され、公表された。時代境界模式地としての認定には、残り2つのステップが必要であるが、少なくとも第四紀の研究者には、地質時代境界の基準地として日本の地層が地球上でもっともよいと国際的に認められたといえる。

第三期リニューアルが今年度から開始され、対象となる常設展示室のうち、A展示室の担当としてリニューアルの検討を行った。また、前年度からクラウド方式で管理運営が行われている資料管理データ・ベースの担当者として全体管理を行っている。今年度は古文書データベースについて、入力様式の構築を行った。

また、地域の人びとがフィールドのおもしろさを紹介する「地域の人びとによる展示コーナー」や、寄贈された標本を紹介する「最近寄贈された標本」の展示替えを行った。その他、地域の方々と実施する地学研究発表会の運営などを、地学関係学芸員と行った。

## 印刷物

### 【学術論文】

- Sagawa, T., Nagahashi, Y., Satoguchi, Y., Holbourn, A., Itaki, T., Gallagher, S. J., Saavedra-Pellitero, M., Ikehara, K., Irino T. and Tada, T. (2018) Integrated tephrostratigraphy and stable isotope stratigraphy in the Japan Sea and East China Sea using IODP Sites U1426, U1427, and U1429, Expedition 346 Asian Monsoon. *Progress in Earth and Planetary Science*, 5:18. DOI 10.1186/s40645-018-0168-7.
- Suganuma, Y., Haneda, Y., Kameo, K., Kubota, Y., Hayashi, H., Itaki, T., Okuda, M., Head, M. J., Sugaya, M., Nakazato, H., Igarashi, A., Shikoku, K., Hongo, M., Watanabe, M., Satoguchi, Y., Takeshita, Y., Nishida, N., Izumi, K., Kawamura, K., Kawamata, M., Okuno, J., Yoshida, T., Ogitsu, I., Yabusaki, H. and Okada, M. (2018) Paleoclimatic and paleoceanographic records through Marine Isotope Stage 19 at the Chiba composite section, central Japan: A key reference for the Early-Middle Pleistocene Subseries boundary. *Quaternary Science Reviews*, 191: 406-430.
- 千葉セクション GSSP 提案チーム (2019) 千葉セクション: 下部-中部更新統境界の国際協会模式層断面とポイントへの提案書 (要約). *地質学雑誌*, 125: 5-22.

### 【専門分野の著作】

亀田佳代子・里口保文（2018）琵琶湖博物館常設展示C展示室のリニューアル. *博物館学雑誌*, 43 : 159-169.

### 【一般向けの著作】

里口保文（2018）*琵琶湖はいつできた—地層が伝える過去の環境—*. 琵琶湖博物館ブックレット⑦, サンライズ出版, 彦根, 118p.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

里口保文（2018年6月15日）古琵琶湖堆積盆を中心とした湖水系の変化とその検討. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

里口保文・林 竜馬・加三千宣・芳賀裕樹（2018年8月24日）琵琶湖南湖における泥質堆積物の層相と粒径. 日本第四紀学会第2018年大会, 首都大学東京（東京都八王子市）, [ポスター発表].

里口保文（2018年10月28日）大阪～伊勢湾地域の鮮新世以降の地層群からみた古水系変化. 日本珪藻学会第38会研究集会シンポジウム, 近畿大学（大阪府大阪狭山市）, [口頭発表：招待講演].

中里裕臣・里口保文・竹下欣宏・岡田 誠（2018）養老川模式ルートにおける上総層群国本層テフラ層序. 日本地球惑星科学連合2018年大会, 幕張メッセ国際会議場（千葉市）, [ポスター発表].

竹下欣宏・里口保文・中里裕臣（2018年8月19日）古期御嶽火山起源のByk-Eテフラ層：千葉セクションの指標層. 地学団体研究会市原総会, 市原市民会館（千葉県市原市）, [ポスター発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「阿山・甲賀湖湖岸～陸域の堆積環境解析」（2018年度）.

琵琶湖博物館総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」（研究代表者：橋本道範）, 副代表者（2014年度～2018年度）.

琵琶湖博物館共同研究「古琵琶湖誕生期における化石林に基づく水辺植生と古環境の解明」（研究代表者：山川千代美）, 研究分担者（2017年度～2019年度）.

琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖南湖堆積物からみた過去2000年間の古植生解析」, 研究代表者（2018年度～2020年度）.

科学研究費助成事業（基盤 B）「琵琶湖地域を対象とした地域環境史モデルの構築」（研究代表者：橋本道範）, 研究分担者（2015年度～2018年度）.

科学研究費助成事業（基盤 B）「東アジアの古代湖「琵琶湖」の固有種成立過程の解明のための総合研究」（研究代表者：高橋啓一）, 分担者（2018年度～2022年度）.

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本第四紀学会, 評議員, 2009年9月～.

日本第四紀学会, 編集委員会, 編集委員, 2017年9月～.

日本地質学会, 代議員（地方区）, 2012年4月～.

日本地質学会近畿支部, 幹事会, 幹事長, 2016年5月～.

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2018年度前半期集中講義, 滋賀県立大学学部生, 「環境地球科学 II」.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，11件。

はしかけ運営「大津の岩石調査隊」，担当，15回。

2018年8月28日，博物館資料の保管と活用．平成30年度博物館実習，琵琶湖博物館，講義。

2019年3月2日，琵琶湖はいつできた．琵琶湖博物館サイエンスセミナー，ここ滋賀（東京都中央区），講演。

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年4月6日，琵琶湖の生い立ちと変遷．大阪芸術大学放送学科，琵琶湖博物館，講演。

2018年8月21日，火山灰からみる琵琶湖のなりたち．彦根市中地区公民館，彦根市中地区公民館（滋賀県），講演。

2018年10月20日，古琵琶湖から現代まで．大津市立和邇図書館サークル連絡協議会，大津市立和邇図書館（大津市），講演。

2018年11月7日，琵琶湖のおいたち．井上静雄，琵琶湖博物館，講演。

#### メディアへの協力

2018年9月30日，びわ湖放送「なるほどミュージアム」，ロケ・内容相談・出演（2018年9月9日撮影ほか）。

La Collina（広報誌）Vol.13，「土」特集，滋賀県の土と古琵琶湖層郡の関係について相談（2018年10月10日取材）。

早稲田システム開発webページ「Museum Interview」，琵琶湖博物館紹介（2018年12月27日取材）。

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

資料データベースの移行，担当，全データベース。

古文書データベース，入力先構築。

岩石鉱物標本整理保管，担当。

堆積物標本整理保管，担当。

堆積物標本寄贈受入，担当。

岩石鉱物標本寄贈受入，担当，2件。

化石標本寄贈受入，担当，1件。

岩石鉱物標本寄託受入，担当，1件。

堆積物標本特別観覧，担当，2件。

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

モーニングレクチャー，講義，3回。

A展示室「地域の人々による展示コーナー」，展示受入，2件（湖国もぐらの会と共同）。

A展示室「コレクションギャラリー」最近寄贈された標本，展示，1件。

### 【企画調整活動】

新任職員等研修，A展示室紹介，講師，2018年4月18日，琵琶湖博物館。

### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

第3期リニューアル A展示室，主担当。

**【研究部関連事業】**

研究発信総括，総括担当.

I、総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」（研究代表者橋本道範、2014年度～2018年度）及び科学研究費補助金基盤研究（B）「琵琶湖地域を対象とした地域環境史モデルの構築」（研究代表者橋本道範、2015年度～2018年度）については、第11回研究会（5月12日～13日）、第12回研究会（8月4日～5日）を開催し、研究会を終了した。

本研究では、生業論を中軸に、①生業が規定した人為的自然の通時的変遷、②生業を限定する自然観、③生業の稠密化（インボリューション）とその技術について解明することを目指した。その結果、①植生や魚類相の通時的変遷の実態、②用材の変遷実態からみた用材観、また、地震に関する信仰を基礎とした地震観や、掟、信仰、民俗儀礼などにみるムラをめぐる自然観、③環境に応じた漁撈技術の実態などが次第に浮き彫りになりつつある。

カワウの事例で見られるように、自然観は人間の近視眼的な価値付けにより融通無碍に変化している。「自然を伴いとし、自然の中に没入し、自然とひとつになろうとする日本人の伝統的な自然観」（渡辺正雄 1976）といったものは存在しない。もちろん、縄文時代から現在まで漁獲対象魚種が変化しないといった保守的な側面も指摘されたが、保守的であることも融通無碍な性質の一側面と考える。このことは、地域の存続のためには伝統にとらわれず新しい自然観を創造することをためらう必要はないことを示していると考えた。

II、科学研究費補助金基盤研究（A）「菅浦文書」の総合調査及び村落の持続と変容の通時代的研究」（研究代表者青柳周一氏、2016年度～2021年度）において、菅浦文書の再翻刻に向けて作業を分担した。また、第116回史学会大会において、「消費論からみた中世菅浦」と題して報告した。本報告は、環境史的視野をもった消費論、環境史的消費論を構築するために、近江国菅浦の産物の消費実態の考察から、生業の構造とその変化を解明しようとしたものである。菅浦住人は「湖の民」と語られることもあるが、供御のうち、コイが15世紀には代銭納化していたのに対し、ビワは禁裏に献上され、都市領主社会内部で分配されていた。次に、地域内での贈答をみると、もっぱら菅浦から贈答されるのはビワとコウジで、反対に菅浦へと贈答されるもののなかに琵琶湖産淡水魚のフナ・ウグイ・塩鮎がみえる。もし菅浦の主たる生業が漁撈であればこれらが贈答されるとは考えにくい。以上から、15世紀の菅浦の生業の重心は、内水面ではなく集落とその背後などの傾斜地に置かれていた可能性が高いと考えた。

その他事業については下記に示すが、特筆すべき点として滋賀県立近代美術館と共催でギャラリー展「湖国の生き物と風景」（4月28日～6月3日）を開催したことを挙げたい。近代美術館との共催展は初めての試みで、17,044人の観覧者があった。

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

橋本道範（2018）南北朝期・室町期 社会・経済. *史学雑誌*, 127-5 : 86-90.

### 【一般向けの著作】

橋本道範（2018）湖岸より 332 菅浦の意外な名産品. *中日新聞*, 12月1日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

橋本道範（2018年4月20日）地域環境史からみた琵琶湖—総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然及び自然観の通時的変遷に関する研究」のまとめに向けて. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館,

[口頭発表].

橋本道範 (2018年7月18日) 地域環境史は構築可能かー琵琶湖地域を対象としてー. 東京大学大学院農学生命科学科 農業・資源経済学専攻オープンセミナー, 東京大学 (東京都文京区). [口頭発表].

橋本道範 (2018年10月23日) 中世における琵琶湖産コイ・フナの消費. 第一回 I-URIC ワークショップ「よそもの学からみたコイとヒトの関わり」, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

橋本道範 (2018年11月25日) 消費論からみた中世菅浦. 史学会第116回大会, 東京大学 (東京都文京区). [口頭発表].

橋本道範 (2018年12月5日) ふなずしの歴史. 韓国 NRF との二国間交流事業 (セミナー) 「日本と韓国における淡水生物の多様性と変遷」 ((独) 日本学術振興会・琵琶湖博物館), 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「地域環境史の理論的構築」(2018年度).

琵琶湖博物館総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」, 研究代表者 (2014年度～2018年度).

科学研究費助成事業 (基盤 B) 「琵琶湖地域を対象とした地域環境史モデルの構築」, 研究代表者 (2015年度～2018年度).

科学研究費助成事業 (基盤 A) 「菅浦文書」の総合調査及び村落の持続と変容の通時代的研究 (研究代表者: 青柳周一), 研究分担者 (2016年度～2021年度).

京都大学人文科学研究所研究班「生と創造の探究ー環世界の人文学」(班長: 岩城卓二), 班員 (2017年度～2019年度).

滋賀大学環境総合センタープロジェクト「ふなずし製造における「こだわり」に対する科学的検証」(研究代表者: 久保加織), 担当者 (2018年度).

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2018年度前期, 京都府立大学, 「日本史学研究 I」.

2018年7月17日～20日, 東京大学, 「農業・資源経済学特別講義 A」.

2019年1月10日, 滋賀県立大学, 博物館資料保存論「資料保存環境を維持するための実務ーIPMを中心にー」.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 10件.

2018年8月24日, IPMについてー地道にこつこつー. 平成30年度博物館実習, 琵琶湖博物館, 講師.

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年5月19日, 再考 ふなずしの歴史. 湖灯塾 (滋賀県近江八幡市), 講師

2018年9月26日, 梅光学院大学博物館見学, 琵琶湖博物館, 講師.

2018年11月14日, 世界農業遺産・日本農業遺産の認定に向けた現地調査, 滋賀県内, 随伴.

2018年12月2日, 第25回地球研地域連携セミナー 滋賀 地域のにぎわいと湖国の未来 魚のゆりかご水田～5つの恵み～, 琵琶湖博物館, 受入担当.

2018年12月15日, ふなずし研究のこれまでとこれから. 守山野洲市民交流プラザ, ライズヴィル都賀山 (滋賀県守山市), 講師.

2019年1月13日, 守山鮎寿司の会試食会. 守山鮎寿司の会, ライズヴィル都賀山 (滋賀県守山市), コメント.

2019年2月6日, 琵琶湖の民俗史. 成安造形大学講義, 琵琶湖博物館, 講師.

2019年3月1日, 中世のふなずし. 堅田観光協会, 湖族の郷資料館 (大津市), 講師.

**【資料整備活動】**

*琵琶湖博物館の活動*

大掃除（B展示室・歴史研究室）.

**【展示活動】**

*琵琶湖博物館の活動*

2018年4月28日～6月3日，滋賀県立美術館共催ギャラリー展「湖国の生き物と風景」，主担当.  
モーニングレクチャー，講義，4回.

**【企画調整活動】**

新任職員等研修，B展示室，講師，2018年4月25日，琵琶湖博物館.

**【新琵琶湖博物館創造活動】**

第3期リニューアル 実施設計，B展示担当.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

**【館外の活動】**

神奈川大学日本常民文化研究所，客員研究員.

事業活動としては、新琵琶湖博物館創造室に所属し、第2期リニューアル事業における樹冠トレイル整備工事(土木一式工事および橋梁上部工事)を担当し、9月に工事を完了した。

事業部展示係においては、常設展示維持管理、屋外展示植栽維持管理および屋外展示倒木復旧を担当し、台風により倒壊した屋外展示樹木の伐採処理および植樹を行った。

研究活動では、愛知川における土砂移動をテーマとして研究を続けている。全国の河川において、上流のダムや堰により土砂流下が阻害され、細粒分が流れてなくなったことに起因した中流部での砂礫堆の固定化やアーマーカーコート化、下流部での砂浜侵食等が問題となっている。こうした問題に対応するため、全国でも上流部での置き土や、ダムにおける排砂バイパス設置工事等の先進的な取り組みが行われているところであるが、その効果については不明なことが多く、関係者との調整が難しいことや多額の予算を要することもあり、滋賀県ではこうした取り組みを行うまでには至っていない。そこで、まずは短期的に実施可能な手法として、アーマーカーコート化した砂礫堆を人為的に攪乱することで洪水時に土砂を流下しやすくする手法を実際の河川で試験的に実施し、その後の土砂動態を調査して効果を把握することとし、昨年度愛知川中流部の砂礫堆において試験工事を行った。今年度は、この工事の効果を評価するため、UAV(ドローン)空撮写真を用いたSfM多視点ステレオ写真測量による地形調査、線格子法による表層粒径調査、二次元河床変動モデルによる洪水シミュレーションを行い、出水後の土砂動態を調査した。その結果、今年度の出水により、工事箇所を含む砂礫堆全体が冠水しており、細粒土砂が流出したことが示唆されたこと、工事箇所の一部で比較的大きな地形変化が見られ、活発な土砂移動が起きたことが推測された。また、シミュレーションからは、下流での河床上昇傾向がみられたことから、流出した土砂が河床上昇に寄与した可能性も示唆された。今後は、調査精度の向上を図りつつ、より大きな出水時の土砂動態を調査するためモニタリングを継続する。また、長期的な課題として、上流からの土砂供給量増加のための施策について検討していきたい。

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

北井 剛・林 竜馬 (2019) 琵琶湖博物館第2期リニューアル「樹冠トレイル」の整備について. 平成30年度(第40回) 滋賀県土木技術研究発表会: 77-81.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

水野敏明・北井 剛・東 善広 (2018年9月21日) ダム下流の砂州の固定化による土砂移動阻害メカニズムについての考察. 応用生態工学会第22回大会, 東京工業大学(東京都目黒区), [ポスター発表].

東 善広・水野敏明・北井 剛 (2018年9月22日~23日) 礫床河川における河道変化と河床材粒径の関係について. 日本地理学会2018年秋季学術大会, 和歌山大学(和歌山市), [ポスター発表].

小倉拓郎・浅野悟史・水野敏明・東 善広・北井 剛・早川裕弐 (2018年11月2日~3日) ダム下流域における大規模河床耕耘後の砂礫堆変動に関する地形変動モニタリング. CSIS DAYS 2018 全国共同利用研究発表大会(東京大学空間情報科学研究センター), 東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト1階多目的ホール(千葉県柏市), [ポスター発表・口頭発表].

北井 剛・林 竜馬 (2018年12月22日) 琵琶湖博物館第2期リニューアル「樹冠トレイル」の整備について. 平成30年度(第40回) 滋賀県土木技術研究発表会(滋賀県土木交通部), 滋賀県建設技術センター(草津市), [口

頭発表].

北井 剛・水野敏明・東 善広・小倉拓郎・浅野悟史 (2019年3月15日) 愛知川における総合土砂管理に向けた検討. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

水野敏明・東 善広・北井 剛 (2019年3月28日~29日) 愛知川における中型アユの遡上降下のタイミング. 平成31年度日本水産学会春季大会, 東京海洋大学 (東京都港区), [ポスター発表].

#### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「愛知川における総合土砂管理に関する基礎的検討」(2018年度).

琵琶湖環境研究推進機構「在来魚の保全に向けた水系のつながり再生に関する研究」(2017年度~2019年度).

東京大学空間情報科学研究センターにおける研究用空間データ基盤の利用を伴う共同研究「高頻度・高精細地形情報を用いた河床における地形変化解析方法および地域住民への空間情報発信方法についての研究」(2018年度).

#### 【受賞など】

滋賀県土木技術研究発表会奨励賞, 2018年12月22日, 「琵琶湖博物館第2期リニューアル『樹冠トレイル』の整備について」, (北井 剛・林 竜馬).

## 博物館事業に関する業績

#### 【交流・サービス事業】

##### 琵琶湖博物館の主催行事

2018年5月19日, フィールドレポーター交流会, 琵琶湖博物館, 助言.

##### 視察等への対応

2018年6月1日, 樹冠トレイル工事見学対応, 株式会社修成建設コンサルタント.

2018年8月20日, 常設展示室および樹冠トレイル工事見学対応, 滋賀県庁インターンシップ実習生 (滋賀県流域政策局).

2018年8月22日, 常設展示室および樹冠トレイル工事見学対応, 滋賀県庁インターンシップ実習生 (滋賀県南部土木事務所).

2018年9月13日, 樹冠トレイル工事見学対応, みのり保育園.

2018年10月3日, 樹冠トレイル見学対応, 滋賀県建設技術センター.

#### 【展示活動】

##### 琵琶湖博物館の活動

2018年度, 常設展示維持管理, 主担当.

常設展示維持管理委託, 主担当.

屋外展示維持管理委託, 主担当.

屋外展示倒木復旧, 主担当.

#### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

第2期リニューアル 交流空間リニューアルに関すること, 樹冠トレイルの工事に関すること, 主担当.

第2期リニューアル 樹冠トレイル積算業務委託, 主担当.

第2期リニューアル 樹冠トレイル資材単価調査委託, 主担当.

第2期リニューアル 樹冠トレイル現場技術業務委託, 主担当.

第2期リニューアル 樹冠トレイル整備工事 (土木一式), 主担当.

第2期リニューアル 樹冠トレイル整備工事 (橋梁上部工), 主担当.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2018 年度，滋賀県土木交通部流域政策局河川・港湾室河川環境係，主査を兼務.

科研研究分担である新学術領域研究(研究領域提案型)「物質文化の変遷と社会の複雑化」では、水田稲作にかかわる資源利用の複雑化と伝統的生業の復興による地域社会の活性化の側面から聞き取りと資料収集を進めた。2019年はこれらの資料と現地調査をもとに琵琶湖地域と江南地域を比較考察し、出版予定の『稲作文明』(仮)(中村・劉編 雄山閣出版)の一部執筆を行う。また、専門研究では琵琶湖湖西地域における地域再生研究を行うため、フィールドで継続かつ定点調査を進め、地域の人々と共に議論や意見交換などを行うことに重点を置いた。

平成30年度の事業活動においては、事業部交流係で交流事業である講座・イベント、質問コーナー、一般質問(クエリ)等の全体業務を担当したとともに、地域とつなぐ博物館活動へ支援のため、琵琶湖博物館への視察に対する館内案内のほか、フィールド調査地や大学講義においても博物館交流活動を盛り込んで実施した。

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

- 楊 平 (2018) 水上生活における資源利用. 鳥越皓之・足立重和・金 菱清 (編), *生活環境主義のコミュニティ分析*, ミネルヴァ書房, 京都, 443-460.
- 楊 平 (2018) 博物館における多言語対応 (特集博物館における多言語対応). *Museum Studies* (日本博物館協会), 53 (1) : 11-14.
- 高橋啓一・楊 平 (2019) 中国黒竜江省ハルビン市周辺のマンモス動物群を訪ねてー中国東北地域の後期更新世哺乳動物群から日本のマンモス動物群を考えるー. *化石研究会会誌*, 51 : 43-52.
- 高橋啓一・楊 平 (2019) 黒龍江省猛犸象動物群の奥妙. *化石 (中国科学院古脊椎動物与古人类研究所)*, 1 : 49-53.

### 【一般向けの著作】

- 楊 平 (2018) 湖岸より 333 生活を支える水辺の多様性. *中日新聞*, 中日新聞社, 12月15日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会等の発表】

- 楊 平 (2018年11月16日) 自然資源を活かす地域づくりのありかた. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- 高橋啓一・楊 平 (2018年11月17~18日) 中国東北~北部におけるマンモス・ケサイ動物群と北方系細石刃石器群. 科研費(新学術領域)「パレオアジア文化史学」第6回研究大会, 東京大学小柴ホール(東京都文京区), [ポスター発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 科学研究費助成事業(新学術領域研究(研究領域提案型))「物質文化の変遷と社会の複雑化」(研究代表者: 中村慎一), 研究分担者(2018年度).
- 琵琶湖博物館共同研究「水資源を活かした地域再生のありかたに関する社会学的研究」, 研究代表者(2018年度).
- 琵琶湖博物館専門研究「共同空間の利用と管理」(2018年度).

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

- 2018年度前期, 大阪産業大学人間環境学部, 「特別講義A」.
- 2018年度後期, 龍谷大学社会学部, 「びわ湖・滋賀学」.

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

Biodiversity Science, 査読, 1 件.

世界湖沼会議, 分科会座長, 2018 年 10 月 16 日.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 6 件.

はしかけ運営「水と暮らし研究会」, 担当.

2018 年 5 月 13 日, はしかけ登録講座, 対応.

2018 年 5 月 13 日, 田植え. 体験教室「田んぼ体験」, 琵琶湖博物館, 対応.

2018 年 6 月 10 日, みんなで湖魚料理をつくろう! (コアユ・シジミ編), 博物館で楽しもう! 琵琶湖博物館, 対応.

2018 年 7 月 28 日, 初心者のためのふなすしづくり体験. 博物館で楽しもう! 琵琶湖博物館, 対応.

2018 年 8 月 25 日, マイナス 80 度から生還した微小生物. 博物館で楽しもう! 琵琶湖博物館, 対応.

2018 年 9 月 29 日, 顕微鏡で観察しよう/プランクトンでビンゴ. 博物館で楽しもう! 琵琶湖博物館, 対応.

2018 年 10 月 7 日, 稲刈り・ハサ掛け. 体験教室「田んぼ体験」, 琵琶湖博物館, 対応.

2018 年 11 月 17 日, びわ博フェス 2018, 対応.

2018 年 11 月 18 日, びわ博フェス 2018 イベント, 対応.

2018 年 12 月 23 日, しめ縄づくり. 体験教室「田んぼ体験」, 琵琶湖博物館, 対応.

質問対応, 琵琶湖博物館, 5 件.

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2019 年 1 月 12 日, 水と社会組織. 追手門学院大学社会学部「基礎演習」フィールドスタディ (前半), 琵琶湖博物館, 講師.

2019 年 1 月 13 日, 水と社会組織. 追手門学院大学社会学部「基礎演習」フィールドスタディ (後半), 琵琶湖博物館, 講師.

2019 年 2 月 9 日, 水と暮らし. 京都外国語大学校友会, 琵琶湖博物館, 講師.

#### 視察対応

2018 年 9 月 15 日, 展示室案内, 中国科学院視察対応.

2018 年 11 月 9 日, 視察対応, 台湾国立博物館.

### 【情報整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

問い合わせの回答, 1 件.

太湖関係資料, 整理.

高島市針江地区古文書資料, 整理.

#### 【展示活動】

##### 琵琶湖博物館の活動

2018年8月5日，繁忙期展示室対応.

2018年8月9日，おとなのディスカバリー説明会，質問コーナー業務説明.

2018年8月16日，C展示室展示室対応.

2018年度，琵琶湖博物館C展示室，展示物の維持管理.

2018年度，琵琶湖博物館C展示室，生体展示の管理.

#### 【企画調整活動】

展示ガイド、展示案内などの日中対訳，作成.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

#### 【館外の活動】

2018年度，第17回世界湖沼会議，分科会委員会，委員.

2018年度，近江八幡市環境審議会，委員.

琵琶湖の湖底堆積物を中心とした花粉分析に基づいて、東アジア地域における過去数十万年間の森林植生の変遷と気候変動、さらには人間活動との関連についての研究を進めている。

本年度は、京都府京丹後市における堆積物についても珪藻化石と花粉化石に関する論文を共著者の一人として公表することができた。また、琵琶湖博物館総合研究として、琵琶湖周辺における縄文時代以降の植生復元に向けた基礎的研究を行い、琵琶湖地域における古生態学データの収集、整理を継続して実施し、森林生態系の変化と人間活動の変化との対応関係について、考古学、歴史学の研究者とともに議論を進めている。この成果の一部について、季刊考古学に論文として公表した。また、滋賀県立大学の学生を指導し、余呉湖と塩津港遺跡における堆積物に含まれる花粉化石群集についての研究を実施した。また、琵琶湖博物館共同研究の共同研究者として、琵琶湖の南湖において表層堆積物の採取を行った。さらに、科学研究費助成事業の共同研究者として、カナダ北方林における過去 100 年間の森林環境変遷の解明を目的とした、湖沼堆積物の採取調査をウッドバッファロー国立公園において実施した。琵琶湖博物館専門研究では、古環境学的な時系列データ間の因果推論に関する研究についての研究を進めた。これらの研究成果の一部については、琵琶湖博物館研究セミナーや新聞連載、地域連携講義などをおして、一般に向けた紹介にも努めた。

博物館事業に関しては、企画調整課の一員として主に情報システム担当として業務を実施した。情報システム担当としては、昨年度の 11 月から運用を開始した滋賀県自治体情報セキュリティクラウドを利用する新情報システムの中で、博物館ホームページについての全面的なリニューアルを主担当として実施した。また、新琵琶湖博物館創造室の中で、第 2 期リニューアルにおける樹冠トレイルの主担当として、はしかけ森人と協力した解説パネルの制作設置、成安造形大学と協力したブロンズオブジェをはじめとしたアートプロジェクトを進めた。樹冠トレイルのオープン後には、はしかけ森人によるガイドツアーの実施や、メディアへの取材対応などをおして、施設の魅力を宣伝することにつとめた。さらに、新琵琶湖博物館創造室の中では、第 3 期リニューアルにおける A 展示室の担当として、実施設計を進めた。

館外での活動としては、本年度の日本植生史学会大会の実行委員として、琵琶湖博物館における大会の運営を行った。また、日本花粉学会および日本植生史学会の編集委員をつとめた。

## 印刷物

### 【学術論文】

- 池田重人・志知幸治・岡本 透・林 竜馬 (2019) 鳥海山麓の桑ノ木台湿原周辺における晩氷期以降の植生変遷と「鳥海ムラスギ」の消長. *日本花粉学会会誌*, 64 : 39-53.
- 大塚泰介・芝崎美世子・富 小由紀・小滝篤夫・高原 光・林 竜馬・安野敏勝 (2019) 京都府京丹後市の更新統の堆積環境の推定および日本海側更新統からの珪藻種 *Pseudopodosira kosugii* の初産出. *第四紀研究*, 58 : 57-63.

### 【専門分野の著作】

- 林 竜馬 (2018) 遺跡の花粉分析から地域スケールの植生史をさぐるー滋賀県の遺跡古生態学データベースに基づく植生景観復元への試みー. *季刊考古学*, 145 : 24-27.
- 北井 剛・林 竜馬 (2019) 琵琶湖博物館第 2 期リニューアル「樹冠トレイル」の整備について. *平成 30 年度 (第 40 回) 滋賀県土木技術研究発表会* : 77-81.

### 【一般向けの著作】

林 竜馬 (2018) 湖岸より 329 樹冠トレイルオープン! *中日新聞*, 10月27日.

林 竜馬 (2019) 湖岸より 336 遺跡から見る森と人の歴史. *中日新聞*, 2月10日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

林 竜馬・和田 周・佐々木尚子・高原 光・太田俊浩・竹田勝博 (2018年9月22日) 滋賀県西の湖におけるヨシ花粉生産量推定と市民参加型調査による冬季のヨシ地上部生物量の測定. 日本花粉学会第59回大会, アスト津(津市), [口頭発表].

林 竜馬・佐々木尚子 (2018年11月11日) 遺跡の花粉分析から地域スケールの植生史をさぐる—滋賀県の遺跡古生態学データベースに基づく植生景観復元への試み—. 日本植生史学会第33回大会, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

斎藤俊彦・高原 光・佐々木尚子・林 竜馬・杉田真哉 (2018年11月11日) モミ属3種(トドマツ、モミ、ウラジロモミ)の花粉生産量の推定. 日本植生史学会第33回大会, 琵琶湖博物館, [ポスター発表].

北井 剛・林 竜馬 (2018年12月22日) 琵琶湖博物館第2期リニューアル「樹冠トレイル」の整備について. 平成30年度(第40回)滋賀県土木技術研究発表会(滋賀県土木交通部), 滋賀県建設技術センター(草津市), [口頭発表].

高原 光・佐々木尚子・林 竜馬・國永知裕 (2019年3月18日) 福井県六呂師高原における最終氷期以降の植生変遷—池ヶ原湿原堆積物の花粉分析. 第66回日本生態学会大会, 神戸国際会議場(神戸市), [ポスター発表].

林 竜馬 (2019年3月15日) 植生—気候変動の関係性解明に向けた因果推論とモデルシミュレーションの古生態学的応用. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「植生—気候変動の関係性解明に向けた因果推論とモデルシミュレーションの古生態学的応用」(2018年度).

琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖南湖堆積物からみた過去2000年間の古植生解析」研究代表者(2018年度~2020年度).

琵琶湖博物館総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」(研究代表者:橋本道範), 研究副代表者(2014年度~2018年度).

科学研究費助成事業(基盤A)「周極域亜寒帯林の構造変化と気候変動:林分復元法と花粉分析的景観復元法による解析」(研究代表者:大澤 晃), 研究分担者(2018年度~2022年度).

科学研究費助成事業(基盤B)「東アジアの古代湖『琵琶湖』の固有種成立過程の解明のための総合的研究」(研究代表者:高橋啓一), 研究分担者(2018年度~2022年度).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

2015年~, 日本花粉学会, 評議員.

2015年~, 日本花粉学会, 編集委員会, 副編集委員長.

2016年~, 日本植生史学会, 編集委員.

2017年~, 日本植生史学会, 行事副幹事.

2018年11月9~11日, 日本植生史学会第33回大会実行委員.

PLOS ONE, 査読, 1件.

Quaternary International, 査読, 1件.

日本花粉学会会誌, 査読, 1件.

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2018年4月～2019年3月、吉田保祐（滋賀県立大学）、卒業論文指導「余呉湖湖底堆積物および塩津港遺跡堆積物の花粉群集にもとづく植生復元」。

### 【受賞など】

滋賀県土木技術研究発表会奨励賞，2018年12月22日，「琵琶湖博物館第2期リニューアル「樹冠トレイル」の整備について」，（北井 剛・林 竜馬）。

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク．琵琶湖博物館，12件。

はしかけ運営「森人」・「湖をつなぐ会」，担当。

2018年11月3日，樹冠トレイルガイドツアー．琵琶湖博物館．講師。

2019年2月9日，わくわく探検隊 樹冠トレイルを歩こう！ 琵琶湖博物館，講師。

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年5月19日，森の観察会．くつきの森ユリノキまつり，くつきの森（滋賀県高島市），講師。

2019年1月30日，花粉化石が語る琵琶湖の森と人の歴史．地域連携講義（京とおうみ自然文化クラブ），ひと・まち交流館（京都市），講師。

2019年2月3日，地域連携講義．関西環境教育学会，琵琶湖博物館．講師。

2019年3月2日，滋賀県提携龍谷講座 in 大阪，龍谷大学大阪梅田キャンパス（大阪市），講師。

2019年3月30日，樹冠トレイルと大人のディスカバリー案内．ダイハツ工業子ども環境学習会，琵琶湖博物館，講師。

#### 視察等への対応

2019年2月8日，樹冠トレイル案内，滋賀県建設技術センター。

2019年3月3日，樹冠トレイルと展示案内，橿原考古学研究所。

#### メディアへの協力

2018年11月2日，毎日新聞，樹冠トレイル記事，取材対応。

2018年11月2日，京都新聞，樹冠トレイル記事，取材対応。

2018年11月3日，中日新聞，樹冠トレイル記事，取材対応。

2018年11月4日，朝日新聞，樹冠トレイル記事，取材対応。

2018年11月6日，産経新聞，樹冠トレイル記事，取材対応。

2018年11月7日，読売新聞，樹冠トレイル記事，取材対応。

2018年11月30日，読売新聞しが県民情報，樹冠トレイル記事，取材対応。

### 【情報整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

新琵琶湖博物館ホームページ制作業務，主担当。

樹冠トレイル工事日誌公開，主担当，38件（2017年11月より）。

**【資料整備活動】**

*琵琶湖博物館の活動*

地学標本整備，収蔵庫維持管理，担当.

**【展示活動】**

*琵琶湖博物館の活動*

第26回企画展示「化石林—ねむる太古の森」，副担当.

モーニングレクチャー，講義，4回.

**【新琵琶湖博物館創造室活動】**

第2期リニューアル 樹冠トレイル，主担当.

第3期リニューアル A展示室，担当.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

**【海外渡航】**

2018年8月27日～9月9日，カナダ ウッドバッフアロー国立公園，湖底堆積物試料採取のための調査.

基盤研究 (C) 「低植生環境における村の生存維持に関する研究」が採択され、近江の村の植生管理史という新しい研究テーマに着手した。今年度は近江国蒲生郡南津田村（近江八幡市南津田町）の共有山を主たる対象として、近世～明治初期の「はげ山」の実態、および昭和戦前期にかけての植生回復過程を文書（国文学研究資料館所蔵南津田村文書ほか）と聞き取りによって復原していく作業を進め、一部を口頭報告した。

併行して、県費による専門研究「近代移行期における内湖の資源利用の変動」でも、同じく南津田に拠点をおき、現地に残された近代期の共有文書（主に旧南津田漁業協同組合文書）の整理を完了するとともに、これにもとづく研究成果の公表を始めた。内湖の資源と共有山の資源の管理史を、ひとつのフィールドで定点調査できる機会は貴重である。このほか近江八幡市沖島町で沖島漁業協同組合文書の整理や、滋賀県漁業協同組合連合会保管の伊賀敏郎氏旧蔵文書の整理に着手できたことも、今年度の進捗のひとつである。

研究分担者となっている基盤研究 (B) 「里山における自然資本の意識化とネットワークのための地域参加型研究」では、湖西・比良山麓の近江国滋賀郡北比良村（大津市北比良）を対象を絞り、森林資源管理に関わる聞き取りと石工用具（民具）の受け入れを進めた。31年度は近世～近代の北比良村文書をもとに研究を進展させ、低植生・無植生が常態化している湖東・湖南と、比較的植生が豊富な湖西を比較考察することに重点をおく。

研究分担者となっている基盤研究 (B) 「東北型社会の特質に関する史的研究」の成果として、明治30年代の森林利用や家畜飼養に関する論考が印刷された。また基盤研究 (C) 「民俗文化の継承におけるコストとモチベーションに関する基礎的研究」の分担者として、東近江市今堀町の現行の宮座習俗の調査、および社務所保管の近世～近代文書の調査を進め、一部を口頭報告した。

なお昨年度までの科研費の研究成果物として、『オビシヤ文書の世界—関東の村の祭りと記録』（水谷類との共編著）所収の論考など、近世祭祀組織の研究に関する論文をいくつか公にすることができた。

事業面では、事業部資料活用係で映像・図書等の管理を担当した。第3期リニューアルを迎えた新琵琶湖博物館創造室では、歴史展示（B展示室）の実施設計を担当した。30年3月に国の登録有形民俗文化財となった「琵琶湖の漁撈用具及び船大工用具」に関連し、県内各地の漁撈用具習俗の調査を進め、その成果は京都新聞滋賀版の連載「おうみ漁具図鑑—びわ博コレクション」、およびギャラリー展示「琵琶湖漁具図鑑—魚つかみの道具のヒミツ」などに反映させた。平成31年2月21日付で、学芸員資格を取得した。

南津田、沖島、北比良、今堀、および近江一円の漁撈用具習俗は、リニューアルされるB展示の主要なコンテンツとなるもので、31年度はこれら研究調査の成果をふまえた展示の実現（施工）が最優先課題である。

## 印刷物

### 【学術論文】

渡部圭一・芳賀和樹・福田 恵・湯澤規子・加藤衛弘（2019）明治中～後期山村の生業と地域ネットワーク—旧秋田藩領荒瀬村肝煎・湊家文書の解題と翻刻。筑波大学農林社会経済研究（筑波大学大学院生命環境科学研究科農林社会経済学領域），34：1-44.

渡部圭一（2019）万延元年上妙典村「異流ケ間敷法門」一件—妙好寺住職の江戸出訴日記『荒塵記』翻刻と解題（2）。市史研究いちかわ（市川市役所文化スポーツ部文化振興課），10：38-51.

### 【専門分野の著作】

渡部圭一（2018）宮座。大谷栄一・菊地 暁・永岡 崇（編），日本宗教史のキーワード—近代主義を超えて。慶應義塾大学出版会，東京，195-201.

渡部圭一（2018）大和の宮座。奈良県教育委員会事務局文化財保存課（編），奈良県無形民俗文化財ガイドブック

2018, 奈良県教育委員会事務局文化財保存課, 奈良, 50.

渡部圭一 (2018) 近世「村の鎮守」祭祀の成立. 水谷 類・渡部圭一 (編), *オビシヤ文書の世界—関東の村の祭り  
と記録*. 岩田書院, 東京, 133-155.

渡部圭一 (2018) オニッキの史料学序説 (ほか2篇). 水谷 類・渡部圭一 (編), *オビシヤ文書の世界—関東の村の  
祭りと記録*. 岩田書院, 東京, 159-164, 212-224.

渡部圭一 (2019) 書評 小池淳一 著『陰陽道の歴史民俗学的研究』. *日本民俗学*, 297: 108-115.

渡部圭一・三樹友梨香 (2019) 比良山麓の「石屋」用具調査. *地域の歴史から学ぶ災害対応 比良山麓の伝統知・  
地域知*. 総合地球環境学研究所, 京都, 38-41.

### 【一般向けの著作】

渡部圭一 (2018) おうみ漁具図鑑 1 エビタツペー仕掛け「家の印」で区別. *京都新聞*, 4月5日.

渡部圭一 (2018) 湖岸より 316 ショップとレストラン新装. *中日新聞*, 4月14日.

渡部圭一 (2018) おうみ漁具図鑑 2 オオギー浅場の魚かぶせ手づかみ. *京都新聞*, 4月19日.

渡部圭一 (2018) おうみ漁具図鑑 3 網モンドリー通り道に立て 入りを待つ. *京都新聞*, 5月3日.

渡部圭一 (2018) おうみ漁具図鑑 4 ネギボウズ型タツペー奇妙な形 急速に姿消す. *京都新聞*, 5月17日.

渡部圭一 (2018) おうみ漁具図鑑 5 タツペー便利な円筒形、広く普及. *京都新聞*, 5月31日.

渡部圭一 (2018) おうみ漁具図鑑 6 ドジョウ釜—水田の用水路に仕掛け. *京都新聞*, 6月14日.

渡部圭一 (2018) おうみ漁具図鑑 7 ドジョウ踏み—内陸部の農村で発達. *京都新聞*, 6月28日.

渡部圭一 (2018) おうみ漁具図鑑 9 ビンヅケー極めて珍しいガラス製. *京都新聞*, 7月26日.

渡部圭一 (2018) おうみ漁具図鑑 11 投網—発必中、使い方多彩. *京都新聞*, 8月23日.

渡部圭一 (2018) おうみ漁具図鑑 13 サデ網—冬に魚 竿で追い込み. *京都新聞*, 9月20日.

渡部圭一 (2018) おうみ漁具図鑑 14 追い棒—機敏に動かし鵜にみせ. *京都新聞*, 10月4日.

渡部圭一 (2018) おうみ漁具図鑑 15 ガバン—派手な音たて魚追う. *京都新聞*, 10月18日.

渡部圭一 (2018) おうみ漁具図鑑 17 アユ小糸網—丈長くなり 漁場は沖へ. *京都新聞*, 11月15日.

渡部圭一 (2018) おうみ漁具図鑑 18 藻とりマンガー効率よく掻きとる「農具」. *京都新聞*, 11月29日.

渡部圭一 (2018) おうみ漁具図鑑 19 モロコ小糸網—手早く魚外し 鮮度維持. *京都新聞*, 12月13日.

渡部圭一 (2018) おうみ漁具図鑑 20 ヤス—豪快、真夜中のコイ突き. *京都新聞*, 12月27日.

渡部圭一 (2019) びわ博こだわり展示の裏話 36 ベテラン漁師 手際鮮やか. *毎日新聞*, 1月22日.

渡部圭一 (2019) おうみ漁具図鑑 21 毛縄—戦後、化繊材料へ変化. *京都新聞*, 1月24日.

渡部圭一 (2019) おうみ漁具図鑑 23 テッポ—魴の杭 湖底に打ち込む. *京都新聞*, 2月21日.

渡部圭一 (2019) おうみ漁具図鑑 24 エビタツペ半製品—部品ごとに作り足し 効率化. *京都新聞*, 3月7日.

渡部圭一 (2019) おうみ漁具図鑑 25 押し網—投網と同じ原理で捕獲. *京都新聞*, 3月21日.

渡部圭一 (2019) 湖岸より 339 国登録記念 漁具展示始まります. *中日新聞*, 3月23日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

渡部圭一 (2018年6月15日) 琵琶湖漁撈史における「近代」—漁具からのアプローチ. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

渡部圭一 (2018年10月14日) 「はげ山」と村の資源管理—近江国南津田村の共有山を事例に. 日本民俗学会第70回年会, 駒澤大学 (東京都世田谷区), [口頭発表].

渡部圭一 (2019年3月23日) ムラの祭りの現在. 新琵琶湖学セミナー第3回, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「近代移行期における内湖の資源利用の変動」(2018年度).

琵琶湖博物館総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」

(研究代表者：橋本道範)，共同研究者(2014年度～2018年度)。  
科学研究費助成事業(基盤C)「低植生環境における村の生存維持に関する研究」, 研究代表者(2018年度～2020年度)。  
科学研究費助成事業(基盤B)「里山における自然資本の意識化とネットワークのための地域参加型研究」(研究代表者：深町加津枝)，研究分担者(2018年度～2020年度)。  
科学研究費助成事業(基盤B)「東北型社会の特質に関する史的・研究：地域資源の開発・管理・利用との関係を重視して」(研究代表者：加藤衛弘)，研究分担者(2015年度～2019年度)。  
科学研究費助成事業(基盤B)「生活変化/生活改善/生活世界の民俗学的研究一日中韓を軸にした東アジアの比較から」(研究代表者：小島孝夫)，研究分担者(2017年度～2020年度)。  
科学研究費助成事業(基盤B)「琵琶湖地域を対象とした地域環境史モデルの構築」(研究代表者：橋本道範)，研究分担者(2015年度～2018年度)。  
科学研究費助成事業(基盤C)「民俗文化の継承におけるコストとモチベーションに関する基礎的研究」(研究代表者：石本敏也)，研究分担者(2016年度～2018年度)。

#### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本民俗学会，評議員・理事(編集委員)。  
京都民俗学会，理事(編集委員)。  
現代民俗学会，編集委員。  
日本民俗学会，第71回年会実行委員会，委員。  
日本生活学会，生活学論叢，査読，1件。  
京都民俗学会，京都民俗，査読，4件。  
現代民俗学会，現代民俗学研究，査読，1件。  
京都造形芸術大学大学院歴史遺産研究領域，修士論文副査，1件。

#### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2018年5月19日，京都造形芸術大学，「芸術分野特論Ⅲ」。  
2018年6月4日，滋賀県立大学，環境フィールドワークⅡ「津田内湖と人びとの暮らし」。  
2018年6月23日，桃山学院大学，「博物館実習」。  
2018年6月24日，京都文教大学，「博物館資料保存論」。  
2018年7月28日，京都造形芸術大学，「歴史遺産学演習Ⅰ」。  
2018年8月1日，仏教大学通信教育課程，「博物館実習」。  
2018年11月4日，京都造形芸術大学，「保存修復基礎演習Ⅱ」。  
2018年度後期，龍谷大学社会学部，「びわ湖・滋賀学」，非常勤講師。

## 博物館事業に関する業績

#### 【交流・サービス事業】

##### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，5件。  
はしかけ運営「近江はたおり探検隊」，担当。  
2018年8月28日，滋賀県立琵琶湖博物館のIPMと収蔵庫管理，博物館実習，琵琶湖博物館，講師。

##### 他の博物館・機関等の主催行事

2019年2月9日，びわ湖の自然と「漁撈用具」．第224回「湖灯塾」，京都新聞滋賀北部総局・湖灯ホール(滋賀県近江八幡市)，講師。

### メディアへの協力

2018年9月13日、なるほどミュージアム滋賀県×琵琶湖、収録。

2018年10月30日、「館内展示とデジタル情報から、より知識を深掘りできる専門図書室」、New テクノマート創、取材対応。

2019年1月29日、中日新聞中日子どもウィークリー、取材対応。

2019年2月27日、しがトコ「びわ博のマニアックすぎる学芸員さんに会いに行ってみました!」、取材対応。

2019年3月9日、日本武道館出版広報課『月刊武道』、取材対応。

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

民俗資料整備，収蔵庫維持管理，担当。

環境資料整備，収蔵庫維持管理，担当。

映像資料整備，収蔵庫維持管理，担当。

図書資料整備，収蔵庫維持管理，担当。

民俗資料寄贈受入，7件。

映像資料寄贈受け入れ，2件。

歴史資料借用，4件。

収蔵庫見学対応，7件。

民俗収蔵庫特別観覧対応，3件。

映像資料ほか特別観覧対応，27件。

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

2019年2月26日～3月24日，古文書トピック展示「いっちょもんさん物語—江戸時代を生きた市右衛門の生涯—」，補助。

2019年3月23日～5月6日，ギャラリー展示「琵琶湖 漁具図鑑—魚つかみの道具のヒミツ」，担当。

2019年3月26日～5月12日，古文書トピック展示「いっちょもんさん物語 その二」，補助。

モーニングレクチャー，講義，4回。

### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

第3期リニューアル B展示室，担当。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

2014年4月～現在，奈良県御所市献灯行事・習俗に関する記録作成・調査事業，調査委員。

2014年4月～現在，奈良県天理市ちゃんちゃん祭り記録作成事業，調査委員。

2015年8月～現在，福井県小浜放生祭総合調査委員会，調査委員。

2015年8月～現在，東京都立川市史民俗部会，編集委員（副委員長）。

2016年4月～現在，滋賀県多賀大社祭礼調査委員会，委員（副委員長）。

2016年4月～現在，奈良県五條市文化遺産活用実行委員会，委員。

2017年5月～現在，奈良県十津川村史編さん委員会，専門調査員。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2018年4月1日～2019年3月31日，育児休業取得.

琵琶湖周辺地域を中心とした原始・古代の人びとの暮らしについて、土器資料を対象に考古学的研究をすすめている。2018年度は、①滋賀県出土縄文土器の胎土と琵琶湖周辺地域の粘土層の関係、②西日本における古墳時代から奈良時代で普及した米蒸し調理の実態という2つのテーマについて研究をすすめた。

①は、2018年度の専門研究課題「胎土からみた琵琶湖周辺地域の縄文土器の地域性」として、琵琶湖周辺地域の粘土を採集し特徴を押さえ、縄文土器の胎土を観察し内容を把握することを目的に研究をすすめた。粘土採集では、湖北、湖東の露頭から粘質土を採集した。とくに芹川(彦根市大堀町付近)の岸に露出する3万年前後の地層が、土器原料に適切な粘質をもつ可能性が高いことを見出した。胎土観察では、栗津湖底遺跡の貝塚出土土器の分析をすすめた。来年度も継続して研究をすすめ、当時の土器づくりに使用した素地土の実態を探り、素地土を通して縄文土器文化の形成に環境的条件が与えた影響を考察する。

②は、科研基盤(B)「和食の成立過程の解明」の研究分担として実施した。竈構造と調理容器の変化から米蒸し調理の変遷を明らかにすることで、西日本の古代の米調理方法を解明することを目的に研究をすすめた。結果、竈による蒸し調理が普及した5~10世紀に、つぎの4つの画期を見出した。

- (1) 竈出現期(5C前):一部の集落のみ堅穴建物に作り付けられた竈が出現する。
- (2) 竈普及期(5C後-6C):煙道つき竈と長胴湯釜の組み合わせが広域に普及する。
- (3) 竈交代期(7C-8C):近畿地方では堅穴建物から掘立柱建物へ変化する。これにともない煙道つき竈から煙道なし竈へ交代する。長胴湯釜も減少していき、鉄製釜に転換していくと推定される。
- (4) 作りつけ竈消失期(9C):近畿地方では9世紀以降は、建物に作りつけた竈が見られなくなる。竈は煙道が消失し台上に置かれたと推測され、堅牢な竈が必要なくなる、この時期が蒸し調理の衰退期と考える。

4つの画期から、(1)竈が出現することで強火による米蒸し調理が始まり、(2)竈が煙道をもたなくなると、米蒸し調理の火力が弱まり、(3)作りつけ竈自体がなくなって米調理が炊き干し法へと変わっていったという、米調理の変遷を提示した。

このほか、総合研究「自然観」の一環として、「森と人の暮らしの歴史」を追究することを目的に、松原内湖遺跡出土木製品、余呉湖埋没林、穴太遺跡出土資料の分析をすすめた。その成果は、本年度企画展「化石林—ねむる太古の森」の「人が暮らしてきた森」のコーナーとして展示とした。

事業面では、事業部展示係で展示交流員、ディスカバリールームを担当した。展示交流員については、第2期リニューアルで交流空間がリニューアルされたことを踏まえて、より積極的な展示交流が実施できるように、歴史的建造物の見学と食料となる身近な植物採集の2つのフィールド研修を実施した。また展示交流員の予算削減を受けて、実態に合った配置となるよう来年度の体制を見直した。ディスカバリールームでは、第3期リニューアルでB展示室がリニューアルされることと関連して、より効果的な展示となるよう人形劇場にあらたな民話、パペットを制作した。

新琵琶湖博物館創造室では、第2期リニューアルのディスカバリールームを担当し、7月リニューアルオープンをした。リニューアル後の運営方法について担当者および嘱託職員と議論し、運営面での改善に努めた。第3期リニューアルでは歴史展示(B展示室)の実施設計を担当した。基本設計を見直し、森・水辺・湖・里からなる人と自然の関係史を構築し、より環境史を積極的に発信する展示設計をした。また展示評価を担当し、有識者による評価(3回)、アンケート調査(1回)を企画運営し、結果を実施設計に反映させた。

## 印刷物

### 【学術論文】

妹尾裕介(2018)西日本の鍋釜のス・コゲと形・作りからみた米蒸しの方法. *物質文化(物質文化研究会)*, 98:

### 【一般向けの著作】

妹尾裕介 (2018) 琵琶湖博物館第26回企画展「化石林ーぬむる太古の森」展示解説書. 滋賀県立琵琶湖博物館: 46-50, 52.

泉 拓良・妹尾裕介 (2018) わたしの社会貢献 Vol.5 考古学のあらたな挑戦. 社会科 NAVI2019 (日本文教出版), 21: 12-13.

妹尾裕介 (2018) 湖岸より 290 縄文のひみつ. 中日新聞, 9月29日.

妹尾裕介 (2018) びわ博 こだわり展示の裏話 35 転がして発見! 縄文土器の模様. 毎日新聞, 12月18日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

妹尾裕介 (2018年5月18日) 使用痕跡から復元する古代日本の米調理の方法. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

妹尾裕介・合田幸美 (2018年5月27日) 西日本の5~10世紀の米蒸し調理における蒸し時間短縮化. 日本考古学協会第84回(2018年度)総会, 明治大学(東京都千代田区), [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「胎土からみた琵琶湖周辺地域の縄文土器の地域性」(2018年度).

琵琶湖博物館総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」(研究代表者: 橋本道範), 研究分担者 (2014年度~2018年度).

科学研究費助成事業(基盤 B)「琵琶湖地域を対象とした地域環境史モデルの構築」(研究代表者: 橋本道範), 研究分担者 (2015年度~2018年度).

科学研究費助成事業(基盤 B)「和食の成立過程の解明」(研究代表者: 小林正史), 研究分担者 (2018年度~2021年度).

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2018年度後期, 龍谷大学社会学部, 「びわ湖・滋賀学」.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 9件.

はしかけ運営「ディスカバはしかけ」, 担当.

2018年10月13日, ドキ土器! おしゃれもようを楽しもう! わくわく探検隊, 琵琶湖博物館, 講師, (びわたん共同).

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

考古資料整備, 収蔵庫維持管理, 担当.

考古収蔵庫特別観覧対応, 3件.

大掃除(B展示室), 実施.

防虫トラップ調査, 2回.

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

第26回企画展示「化石林―ねむる太古の森」, 副担当.

2018年5月29日～7月22日, トピック展示「収蔵庫をのぞいてみよう―汽船と鉄道―」, 分担.

2018年7月24日～9月30日, トピック展示「収蔵庫をのぞいてみよう―琵琶湖疏水―」, 分担.

2018年10月2日～11月25日, トピック展示「収蔵庫をのぞいてみよう―江戸の本―」, 分担.

2018年11月27日～12月24日, トピック展示「収蔵庫をのぞいてみよう―台風に負けるな衣掛け柳―」, 分担.

2019年1月2日～2月24日, トピック展示「収蔵庫をのぞいてみよう―描かれた湖魚―」, 分担.

2019年2月26日～3月24日, トピック展示「収蔵庫をのぞいてみよう―いっちょもんさん物語―」, 分担.

モーニングレクチャー, 講義, 4回.

展示交流員と話そう, 内容指導. 2件.

### 【企画調整活動】

新任職員等研修, B展示室紹介, 2018年4月18日, 琵琶湖博物館.

### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

第2期リニューアル ディスカバリールーム, 副担当.

第2期リニューアル おとなのディスカバリー「考古分野」, 主担当.

第3期リニューアル B展示室, 主担当.

第3期リニューアル 展示評価, 主担当.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2018年4月～2019年3月, ショップ・レストラン会議, メンバー.

### 【館外の活動】

2015年10月～現在, 京都大学総合博物館, 研究協力者.

2017年12月～現在, 近畿弥生の会, 滋賀県世話人.

分子遺伝解析を用いて、琵琶湖の魚類の起源、歴史、進化に関する研究を進めている。本年度は、科研費若手「淘汰・浸透を経験したミトゲノムと核ゲノム内関連遺伝子の共進化プロセスの解明」、共同研究「RAD-seq データに基づく歴史人口学解析による琵琶湖魚類相形成史の解明」、専門研究「ナマズ属魚類の三次元形態計測と新種ナマズの生態」として、次世代シーケンシングによる DNA 配列分析や CT スキャンによる外部・内部形態の記述を行い、琵琶湖の魚類の進化史を推定し、日本魚類学会年会にて口頭発表を行った。また、これまでに研究成果として公表している分子遺伝解析に基づく固有種を中心とした琵琶湖の魚類の起源や進化史については、第 30 回水族企画展示「琵琶湖に固有な魚たちの歴史」での展示、琵琶湖博物館研究セミナーや地域連携の講義、情報誌への掲載を通じて、一般に向けて紹介するように努めた。さらに、2018 年 8 月には、日本産ナマズ属魚類 4 番目の種となる、新種・タニガワナマズの記載論文が公表され、9 月からは関連するトピック展示も開かれた。また、現在、琵琶湖博物館ブックレットの原稿執筆も行っている。

博物館事業に関しては、資料活用係として、資料の活用の推進、IPM の推進に努めた。昨年度は、文化財害虫の多数の発生などが確認されたが、本年度は、他の職員と協力して、迅速に対応することができたため、昨年度ほどの被害が出ることなく、事態を収束することができた。水族展示についても、水族展示の維持管理、水族資料収集、飼育技術の習得にも努めた。また、2018 年 4 月から開催された滋賀県立近代美術館との共催展の担当として、展示キャプションや配布物の原稿作成なども行った。

## 印刷物

### 【学術論文】

Hibino, Y. and Tabata, R. (2018) Description of a new catfish, *Silurus tomodai* (Siluriformes: Siluridae) from central Japan. *Zootaxa*, 4459 (3): 507-524.

Kano, Y., Nakajima, J., Yamasaki, T., Kitamura, J. and Tabata, R. (2018) Photo images, 3D models and CT scanned data of loaches (Botiidae, Cobitidae and Nemacheilidae) of Japan. *Biodiversity Journal*, 6: e26265.

### 【専門分野の著作】

田畑諒一・渡辺勝敏 (2018) 日本の魚類相—淡水魚. 日本魚類学会 (編), *魚類学の百科事典*. 丸善出版, 東京: 186-187.

### 【一般向けの著作】

田畑諒一 (2018) DNA から迫る琵琶湖の魚たちの隠れた歴史. *ヨシでびわ湖を守るネットワーク通信 (コクヨ工業 滋賀)*, 30: 2-3.

田畑諒一 (2018) 湖岸より 322 琵琶湖の魚たちの歴史に思いをはせてみませんか? *中日新聞*, 7月28日.

田畑諒一 (2018) 琵琶湖の魚たち 岩場に潜む神秘の魚 イワトコナマズ. *産経新聞*, 9月13日.

田畑諒一 (2018) びわ博 こだわり展示の裏話 32 透明になれば何かが見える? *毎日新聞*, 11月6日.

田畑諒一 (2019) 琵琶湖の魚たち アブラヒガイとビワヒガイ. *産経新聞*, 1月12日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

- 田畑諒一（2018年5月18日）次世代シーケンスデータに基づく淡水魚類の遺伝的集団構造の推定. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- 田畑諒一・渡辺勝敏（2018年10月6日）MIG-seq法から推定された琵琶湖産魚類の遺伝的集団構造. 2018年度日本魚類学会年会, 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）, [口頭発表].
- 渡辺勝敏・田畑諒一・中島 淳・小早川みどり・高久宏佑・細谷和海・張廖年鴻（2018年10月6日）日本産ヒナモロコにおける遺伝的攪乱. 2018年度日本魚類学会年会, 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）, [口頭発表].
- 福家悠介・Prachya Musikasinthorn・鹿野雄一・田畑諒一・松井彰子・渡辺勝敏（2018年10月6・7日）ミャンマーの古代湖・インレー湖固有の淡水魚類 *Channa harcourtbutleri* の起源. 2018年度日本魚類学会年会, 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）, [ポスター発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館専門研究「ナマズ属魚類の三次元形態計測と新種ナマズの生態」（2018年度）.
- 琵琶湖博物館共同研究「RAD-seq データに基づく歴史人口学解析による琵琶湖魚類相形成史の解明」, 研究代表者（2018年度～2019年度）.
- 琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖種とされるピワマスにおける遺伝的多様性の変化」（研究代表者：桑原雅之）, 副代表者（2018年度～2019年度）.
- 科学研究費助成事業（若手）「淘汰・浸透を経験したミトゲノムと核ゲノム内関連遺伝子の共進化プロセスの解明」, 研究代表者（2018年度～2020年度）.
- 科学研究費助成事業（基盤 B）「東アジアの古代湖「琵琶湖」の固有種成立過程の解明のための総合的研究」（研究代表者：高橋啓一）, 分担者（2018年度～2022年度）.
- 科学研究費助成事業（基盤 B）「古代湖・琵琶湖における湖沼適応の起源と集団ゲノミクス」（研究代表者代：渡辺勝敏）, 研究協力者（2017年度～2019年度）.
- 科学研究費助成事業（国際共同研究加速基金（国際共同研究強化 B））「アフリカの二つの古代湖におけるシクリッド科魚類の摂食戦略の多様化と多種共存機構」（研究代表者：丸山 敦）, 研究協力者（2018年度～2021年度）.

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本魚類学会, 魚類学雑誌, 査読, 1件.

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

- 2019年, 海城高校生物部学生, シマドジョウ類におけるDNA分析.
- 2019年, 京都産業大学学部生, 卒業研究・ナマズ類におけるDNA分析.
- 2019年, 京都大学大学院理学研究科修士課程学生, ヨシノボリ類におけるDNA分析.
- 2019年, 京都大学大学院理学研究科修士課程学生, 琵琶湖産魚類における三次元形態計測.

### 【受賞など】

日本魚類学会ポスター発表優秀賞, 2018年10月6日, 「ミャンマーの古代湖・インレー湖固有の淡水魚類 *Channa harcourtbutleri* の起源.」（福家悠介・Prachya Musikasinthorn・鹿野雄一・田畑諒一・松井彰子・渡辺勝敏）.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，8件。

近美×びわ博 描かれた湖国の生き物と風景 展，ギャラリートーク，琵琶湖博物館，2件。

2018年5月20日，近美×びわ博 描かれた湖国の生き物と風景 展，講演会，琵琶湖博物館，1件。

2018年7月31日，魚類班，自然調査ゼミナール，琵琶湖博物館，指導。

2018年8月28日，資料整備実習，博物館実習，琵琶湖博物館，講師。

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年4月29日，近美×びわ博 描かれた湖国の生き物と風景 展，ワークショップ，琵琶湖博物館。

2018年5月26日，近美×びわ博 描かれた湖国の生き物と風景 展，ワークショップ，琵琶湖博物館，講師。

2018年7月18日，外来魚の解剖実習。滋賀県立彦根東高校，琵琶湖博物館，講師。

2018年12月21日，タニガワナマズと琵琶湖のナマズの進化について。シニア自然大学校，琵琶湖博物館，講師。

2018年12月21日，琵琶湖の魚について。大阪産業大学デザイン工学部環境理工学科，琵琶湖博物館，講師。

2019年2月7日，琵琶湖の固有種の起源について。シニア自然大学校，琵琶湖博物館，講師。

2019年3月12日，琵琶湖の魚の生態。平成30年度第二回南山城ブロック研修会（京都府高等学校理科教育研究会連絡協議会），琵琶湖博物館，講師。

#### メディアへの協力

2018年7月25日，ZTV，水族企画展示の解説，（2018年7月24日取材）。

2018年8月18日～24日，中日新聞・毎日新聞・産経新聞・読売新聞・朝日新聞・ロイター通信・共同通信・滋賀民報・滋賀報知新聞，タニガワナマズの新種記載（2018年8月19日取材）。

2018年8月20日，ZTV，タニガワナマズの新種記載（2018年8月19日取材）。

2018年8月20日，毎日放送，タニガワナマズの新種記載（2018年8月20日取材）。

2018年9月8日～14日，読売新聞・滋賀報知新聞・朝日新聞・ZTV，タニガワナマズのトピック展示（2018年9月8日・13日取材）。

2019年2月22日，FM滋賀，Friday Relaxing Space “Go!Go!”，番組出演（2019年2月19日取材）。

2019年3月18日，読売新聞，「人あり」取材（2019年3月14日～17日取材）。

### 【情報整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

クエリーの質問対応，魚類に関する質問への対応，5件。

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

水族資料収集，担当。

水族資料維持管理，担当。

魚類標本，担当。

#### 他の博物館・機関等の活動

関西学院高等学校，魚類液浸資料，特別観覧。

龍谷大学，水族生体資料，特別観覧。

#### 【展示活動】

##### 琵琶湖博物館の活動

モーニングレクチャー，講義，4回.

#### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

第2期リニューアル おとなのディスカバリー 魚類コーナー，主担当.

第3期リニューアル A展示室魚類コーナー，担当.

#### 【研究部関連事業】

研究セミナー，主担当.

外部研究資金，主担当.

韓国国立洛東江生物資源館との共同研究，資料収集，2018年7月23日～26日，琵琶湖・福井県小浜市・愛知県愛西市.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

#### 【館内の人事】

近代美術館との共催展，担当.

韓国国立洛東江生物資源館との合同セミナー，担当.

水族企画展示，担当.

水族トピック展示，担当.

#### 【海外渡航】

2018年9月3日～9月6日，韓国，合同セミナーに関する協議および共同研究協議.

#### 【館外の活動】

2018年4月～2019年3月，園城寺に生息する亀の保全，アドバイザー.

2018年度は、様々な地域、内容の国際交流と、次年度の総合研究立ち上げに向けたこれまでの研究のまとめと研究計画の検討が大きな仕事となった。

具体的な研究成果としては、C展示室リニューアルの概要をまとめた報告が、博物館学雑誌に掲載された。また、発行は2019年度以降になるが、共同研究者との共著の論文一報が山階鳥類学雑誌に受理され、もう一報は近畿大学民俗学研究所発行の「民俗文化」に掲載が決まった。主著の論文や書籍の原稿執筆についてはまだ途中の段階ではあるが、少しずつ前進がみられている。

学会発表では、8月にカナダに渡航し、第42回水鳥学会年次大会に参加、引き続き第27回国際鳥類学会議に参加し、総合研究および共同研究の研究成果についてポスター発表を行った。この渡航では、専門研究の一環として、五大湖の一つであるオンタリオ湖周辺のみみひメウコロニーの視察も行い、ウ類の研究と管理の現状について現地研究者と情報交換を行った。現地の研究者に調査地を案内してもらい、現場を見ながら情報交換を行うことができ、大いに参考になった。国内の学会では、9月の日本鳥学会2018年度大会で、共同研究の成果についてポスター発表を行った。

今後の研究の準備としては、総合研究「過去150年間の琵琶湖とその集水域の環境変遷の解明」の2019年度立ち上げに向けて、研究計画調書を研究審査会に提出し、採択が決まった。

研究に関する国際交流としては、2017年度末に採択が決まった(独)日本学術振興会による韓国 NRF との二国間交流事業(セミナー)「日本と韓国における淡水生物の多様性と変遷」について、研究代表者として準備と運営に時間を費やした。セミナーでは総合討論のコーディネーターをつとめ、また今後の韓国国立洛東江生物資源館との協力連携についてもうち合わせを行うことができ、有意義な交流ができた。

研究以外の国際交流としては、11月末に台湾で行われた『『新生態博物館』に関する台日フォーラム』で、当館のフィールドレポーターとはしかけ制度について講演すると共に、昨年度行ったフィールドレポーター調査の一つである「カイツブリ調査」を、現地の湿地でワークショップとして実施した。台湾の博物館や環境学習センターによる地域での住民参加型の調査や活動について知ることができ、たいへん参考になった。その他には、2019年9月に開催される ICOM (国際博物館会議) 京都大会への対応として、その国際委員会の一つである NATHIST (自然史博物館とコレクション) の準備に当館の担当として参加し、また口頭発表の申込みも行った。

これら以外の活動としては、展示に関しては、第2期リニューアルの「おとなのディスカバリー」の鳥類コーナーの準備と他館の特別展示への協力を行った。また、文化庁主催のミュージアム・マネジメント研修を受講し、博物館の最新の動向や他館の状況について広く学んだ。そして、引き続きカワウの管理計画に関する委員会等に委員として参加し、専門の立場から意見を述べた。

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

亀田佳代子・里口保文(2018)琵琶湖博物館常設展示C展示室のリニューアル. *博物館学雑誌*, 43(2): 159-169.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

亀田佳代子(2018年4月20日)過去150年間の琵琶湖とその集水域の環境変遷の解明に向けて:カワウによる物質輸送と森林変遷を例に. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

亀田佳代子(2018年5月18日)カワウは害鳥か?益鳥か?—カワウの生態系機能と生態系サービス・ディスサー

ビス. 第296回生態研セミナー(京都大学生態学研究センター), 京都大学生態学研究センター(大津市), [口頭発表].

Kameda, O. K., Fujii, H. and Makino, A. (2018年8月23日) Importance of historical relationships between local residents and the Great Cormorant in modern management policies. IOCongress2018(第27回国際鳥類学会議)(International Ornithological Union(国際鳥類学連合)), カナダ・バンクーバーコンベンションセンター, [ポスター発表].

藤井弘章・亀田佳代子・牧野厚史・前迫ゆり(2018年9月15日)琵琶湖の竹生島における江戸時代後期以降のカワウの生息状況変遷. 日本鳥学会2018年度大会, 新潟大学五十嵐キャンパス(新潟市), [ポスター発表].

亀田佳代子(2018年12月5日)韓国 NRF との二国間交流事業(セミナー)「日本と韓国における淡水生物の多様性と変遷」((独)日本学術振興会), 琵琶湖博物館, [運営、総合討論コーディネーター].

亀田佳代子(2018年12月22日)内陸性魚食性鳥類の移動による物質輸送の特性. 京都大学生態学研究センター共同利用研究集会「生物移動およびそれに伴う生態現象とその研究手法の整理」, 京都大学吉田キャンパス北部構内(京都市), [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」(研究代表者:橋本道範), 研究分担者(2014年度~2018年度).

琵琶湖博物館共同研究「カワウの影響を受けた森林生態系の長期変遷」, 研究代表者(2017年度~2019年度).

琵琶湖博物館専門研究「ウ類と人との軋轢と軽減に関する国際比較のための基礎情報の収集」(2018年度).

科学研究費助成事業(基盤 B)「琵琶湖地域を対象とした地域環境史モデルの構築」(研究代表者:橋本道範), 研究分担者(2015年度~2018年度).

(独)日本学術振興会韓国 NRF との二国間交流事業(セミナー)「日本と韓国における淡水生物の多様性と変遷」, 研究代表者(2018年度).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本鳥学会, 評議員, 2006年1月~2019年12月.

日本鳥学会和文誌, 編集委員, 2014年1月~2019年12月.

日本鳥学会, 基金運営委員, 2016年1月~2019年12月.

日本鳥学会員近畿地区懇談会, 世話人, 2000年1月~.

日本鳥学会 IOC 参加助成金選考小委員会, 委員長, 2018年1月29日~2018年12月31日.

日本生態学会近畿地区会, 自然保護専門委員, 2008年1月~2020年12月.

日本鳥学会, 日本鳥学会誌, 査読, 1件.

日本鳥学会, 日本鳥学会2018年度大会高校生ポスター発表審査, 2018年9月16日.

日本生態学会, 第66回日本生態学会大会口頭発表会場係, 2019年3月19日.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 8件.

質問対応, 琵琶湖博物館, 3件.

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年10月13日, Young 探鳥会 in 鳥丸半島(日本野鳥の会滋賀), 琵琶湖博物館およびその周辺(草津市), 運営.

2018年11月26日, 滋賀県立琵琶湖博物館の利用者主体の事業: フィールドレポーターとはしかけ制度. 『新生態

博物館』に関する台日フォーラム・非営利組織による環境学習センターの運営と管理 [Taiwan-Japan Forum on “New Ecomuseums” - The Operation and Management of Environmental Learning Centers of Non-profit Organization] (台北市野鳥学会), 国立台湾博物館南門公園 (台湾台北市), 講師.

2018年11月28日, 湿地での参加型調査の実践例: カイツブリ調査. 『新生態博物館』に関する台日フォーラム・非営利組織による環境学習センターの運営と管理 [Taiwan-Japan Forum on “New Ecomuseums” - The Operation and Management of Environmental Learning Centers of Non-profit Organization] (台北市野鳥学会), 東石自然生態展示館 (台湾嘉義県鰲鼓湿地), 講師・ワークショップ運営.

2019年1月27日, 「鳥の道を越えて」上映会&ディスカッション. 野生動物研修会一般市民講座 (公益社団法人滋賀県獣医師会), 琵琶湖博物館, 運営・対談司会.

### **視察対応**

2018年4月19日, 市民参加型活動に関するシンポジウムへの意見交換対応, 台湾芝山文化生態緑園.

2018年10月12日, 展示室見学対応, 観樹教育基金会.

2019年3月15日, 展示リニューアルに係る博物館の視察対応, 千葉県立中央博物館.

### **【資料整備活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

鳥類資料の受入, 7件.

### **【展示活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

2018年7月, C展示室研究スタジアム, 展示設置.

モーニングレクチャー, 講義, 4回.

### **他の博物館・機関等の活動**

岐阜市長良川鶺鴒伝承館, 2018年7月11日~9月3日, 第31回特別展示「夏休み企画 鶺鴒と鮎のひみつ」, 展示協力.

### **【企画調整活動】**

研究部との調整に関すること, 主担当.

ICOMに関すること, 主担当.

西日本自然史博物館ネットワークに関すること, 主担当.

新任職員等研修, 企画調整課業務概要説明, 2018年4月18日, 琵琶湖博物館.

新任職員等研修, C展示室概要説明, 2018年4月25日, 琵琶湖博物館.

新任職員等研修, C展示室生きものコレクション鳥類コーナー概要説明, 2018年4月25日, 琵琶湖博物館.

ICOM-NATHIST 4館会議, 会議出席, 2018年6月13日, 大阪市立自然史博物館.

移動博物館, もってみるカワウ貸出, 2018年7月9日~9月7日, 岐阜市長良川鶺鴒伝承館第31回特別展示「夏休み企画 鶺鴒と鮎のひみつ」.

ICOM-NATHIST 4館会議, 会議出席, 2018年12月15日, YIC 京都貸し教室.

事業セミナー, 「『新生態博物館』に関する台日フォーラム」および文化庁ミュージアム・マネジメント研修報告,

2019年2月15日, 琵琶湖博物館.

### **【新琵琶湖博物館創造室活動】**

第2期リニューアル おとなのディスカバリー, 鳥類コーナー, 展示製作.

ミュージアムショップオリジナル商品開発, 鳥類関連のオリジナル商品監修.

### 【研究部関連事業】

生態系研究領域の研究推進に関すること，主担当．

研究評価体制、研究審査委員会に関すること，主担当．

研究交流の総括に関すること，主担当．

韓国国立洛東江生物資源館との連携に関すること，担当．

国内の研究機関との連携に関すること，主担当．

韓国国立洛東江生物資源館，共同研究および合同セミナーうち合わせ対応，2018年7月24日，琵琶湖博物館．

韓国国立洛東江生物資源館，合同セミナーおよび共同研究うち合わせ対応，2018年12月4日～7日，琵琶湖博物館．

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2018年9月3日，平成30年度女性職員リーダー交流研修（I部），受講．

### 【海外渡航】

2018年8月14日～28日，カナダトロント・キングストン・バンクーバー、五大湖(オンタリオ湖)におけるミミヒメウコロニーの視察および研究と管理の現状についての現地研究者との情報交換、第42回水鳥学会年次大会への参加、第27回国際鳥類学会議での発表．

2018年11月25日～29日，台湾台北市国立台湾博物館・雲林県成龍湿地・嘉義県鰲鼓湿地，「『新生態博物館』に関する台日フォーラム・非営利組織による環境学習センターの運営と管理」での講演およびワークショップ実施．

### 【館外の活動】

1997年4月1日～2020年3月31日，京都大学生態学研究センター，協力研究員．

2006年8月1日～2021年3月31日，滋賀県生きもの総合調査委員会鳥類部会，専門委員．

2003年5月1日～2019年3月31日，滋賀県野生動物植物との共生に関する検討会，外来種問題検討委員．

2006年7月12日～2020年3月31日，農林水産省滋賀森林管理署伊崎国有林の取扱いに関する検討におけるワーキンググループ，委員．

2010年7月21日～2019年3月31日，滋賀県カワウ総合対策協議会，委員．

2014年1月6日～2020年3月31日，関西地域カワウ広域保護管理計画の推進に関する検討委員会，委員．

2014年8月18日～2020年3月31日，関西広域環境保全計画に関する有識者会議，委員．

2015年9月1日～2019年3月27日，環境省特定鳥獣（鳥類）に係る保護管理検討調査業務に関する検討会，検討委員．

2016年2月1日～2019年3月31日，岐阜市長良川鵜飼習俗総合調査専門委員会，委員．

2016年2月1日～2019年3月31日，関市小瀬鵜飼習俗総合調査委員会専門部会，委員．

2016年8月1日～2020年7月31日，兵庫県コウノトリ野生化対策懇話会，構成員．

2016年10月18日～2020年3月31日，琵琶湖竹生島タブノキ林の保全・再生事業計画検討会，検討委員．

2017年5月17日～2020年12月31日，WI-IUCN SSC Cormorant Specialist Group, Commission Member 2017-2020.

2017年7月13日～，兵主神社庭園保存活用計画策定委員会，委員．

2018年4月12日，草津市弁天池のカワウ対策相談，助言．

2018年9月19日，滋賀県湖東農業農村振興事務所よりオオバンによる小麦の食害相談，助言．

2018年9月28日・2019年1月17日，関西広域連合平成30年度カワウ対策推進事業広域展開事業，講師．

2018年12月19日～21日，文化庁平成30年度第8回ミュージアム・マネジメント研修，受講．

2019年1月29日，滋賀県平成30年度サギ対策連絡会，助言．

平成30年度(2018年度)環境学習センターの活動では、NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)と連携した「びわ湖大勉強会」を開催したほか、昨年度に引き続き企業が所有するビオトープにおいて、企業、小学校、博物館が連携した環境学習活動など7つの「環境・ほっと・カフェ」を開催し、環境学習活動に携わる指導者のスキルアップを図った。この他、企業の環境保全活動に関するCSR活動担当者、環境学習指導者、環境活動を実践している学生を対象とした活動者交流会を企業の敷地内で開催した。また、環境活動を実践している県内大学の中学生・高校生・大学生が一堂に集まり、世代間の縦の繋がりをつくる「第2回びわはく学生ミーティング」を環境学習推進員とともに開催した。

研究では、飼育下繁殖における性比の偏りに関する実証実験を昨年に引き続き実施し、繁殖した個体の性比の偏りを調査したほか、雌性発生によるタナゴ類の繁殖に成功し、性比決定のメカニズム研究の解明を進めている。共同研究「微小な生物の飼育技術開発および展示技法」では、マイクロアクアリウムのマイクロバーにおいて実施可能な学習プログラム開発のため「プランクトンでビンゴ」を実施し、それをマイクロバーで実施できるよう改良した「本日のプランクトン」を試行し、来館者の協力を得てアンケートや行動調査を実施した。また、滋賀県内ではこれまで生息が確認されていなかったヒメマルマメタニシが、近江八幡市内の水路に生息することを貝類専門誌に投稿した。

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

松田征也(2018)市民参加型の希少淡水魚の保全. 独立行政法人日本学術振興会 韓国 NRF との二国間交流事業(セミナー)「日本と韓国における淡水生物の多様性と変遷」演要旨集, 17-18.

### 【一般向けの著作】

松田征也(2018~2019)そよかぜ「きまぐれ通信」. 滋賀の環境学習メールマガジン, 4月20日・5月18日・6月15日・7月22日・9月21日・10月19日・11月16日・12月23日・1月18日・2月15日・3月15日.

松田征也(2019)湖岸より 340 こどもエコクラブ, 中日新聞, 3月30日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

小北智之・早崎佑亮・柿岡 諒・三品達平・松田征也・渡辺勝敏(2018年10月7日)ヒガイ類における色彩多型の原因遺伝子領域のゲノム解析. 2018年度日本魚類学会年会, 国立オリンピック記念・青少年総合センター(東京都渋谷区), [口頭発表].

松田征也(2018年10月19日)希少淡水魚の生息域外保全. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

松田征也(2018年12月5日)市民参加型の希少淡水魚の保全. 韓国 NRF との二国間交流事業(セミナー)「日本と韓国における淡水生物の多様性と変遷」(独立行政法人日本学術振興会), 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「希少淡水魚における性決定について」(2018年度).

琵琶湖博物館共同研究「微小な生物を用いた交流プログラムの開発」, 研究代表者(2016年度~2018年度).

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

- 2018年9月26日，龍谷大学，「びわ湖・滋賀学」。  
2018年10月3日，龍谷大学，「びわ湖・滋賀学」。  
2018年10月10日，龍谷大学，「びわ湖・滋賀学」。

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の活動

質問コーナー・フロアトーク。琵琶湖博物館，8件。

2018年11月17・18日，びわ博フェス，琵琶湖博物館

2018年7月28日，初心者のためのふなずし作り体験。博物館で楽しもう！琵琶湖博物館，講師。

2018年8月5日，琵琶湖大勉強会。環境・ほっと・カフェ（IVUSA 共催），琵琶湖博物館，講師。

2018年8月6日，地域の魚と遺伝子攪乱。環境・ほっと・カフェ（米原市教育委員会共催），米原市立河南小学校（滋賀県），講師。

2018年8月8日，びわ湖の外来生物のいま。環境・ほっと・カフェ，琵琶湖博物館，講師。

2018年8月9日，みんなでメダカを考える会。環境・ほっと・カフェ，琵琶湖博物館，講師。

2018年10月11日，環境学習センターについて。環境・ほっと・カフェ（市町環境学修担当者会議（滋賀県琵琶湖保全再生課）共催），琵琶湖博物館，講師。

2018年10月16日，企業ビオトープを活用した環境学習プログラムに関する活動者交流会。ダイフク滋賀事業所（滋賀県日野町），企画運営。

2018年10月22日，オムロン野洲事業所における野洲市立北野小学校の総合学習。環境・ほっと・カフェ，オムロン野洲事業所（滋賀県野洲市），講師。

2018年12月9日，淡海こどもエコクラブ活動交流会，企画運営。

2018年12月15日，プランクトンでビンゴ。琵琶湖博物館共同研究「微小な生物を用いた交流プログラムの開発」調査，琵琶湖博物館マイクロアクアリウム，調査。

2019年3月9日，本日のプランクトン。琵琶湖博物館共同研究「微小な生物を用いた交流プログラムの開発」調査，琵琶湖博物館マイクロアクアリウム，調査。

2019年3月17日，第2回びわはく学生ミーティング，企画運営。

2018年3月24日，こどもエコクラブ全国フェスティバル2019，国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区），参加。

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年6月19日，エコ・スクール支援委員会，大津市立逢坂小学校，助言。

2018年6月10日，琵琶湖博物館の仕事，近畿大学農学部水産学科，琵琶湖博物館，講師。

2018年7月27日，下之郷遺跡資料館観察会（守山市教育委員会），下之郷遺跡資料館（滋賀県守山市），講師。

2018年8月20日，下之郷遺跡資料館観察会（守山市教育委員会），下之郷遺跡資料館（滋賀県守山市），講師。

2018年9月1日，環境学習センターについて。ベトナム国・グリーン成長促進・環境学習プログラム（独立行政法人国際協力機構・国際湖沼環境委員会），琵琶湖博物館，講師。

2018年10月4日，第25回「よりよい水環境づくり」ポスターコンクール（NPO法人ひかりグループ），（公財）淡海環境保全財団（滋賀県草津市），審査。

2018年10月21日，淡水貝類の説明。第5回環境教育研究委員会（滋賀県中学校理科部会），琵琶湖博物館，講師。

2018年10月26日，シジミについて。エコスクール事業（大津市立日吉中学校），大津市立日吉中学校（滋賀県），講師。

2018年11月2日，フィールドワーク。姉妹校（タイ・バンコク）ルン・アルン学園（近江兄弟社），琵琶湖博物館，講師。

2018年11月8日、琵琶湖博物館における琵琶湖保全対策の取り組み、三方五湖・北潟湖水質保全対策協議会、琵琶湖博物館、講師。

2019年2月18日、エコ・スクール支援委員会（天津市立逢坂小学校）、天津市立逢坂小学校（滋賀県）、助言。

2019年3月4日、アユモドキの生息域外保全について、滋賀大学附属小学校、滋賀大学附属小学校（天津市）、講師。

2019年3月12日、ハリヨの生息域外保全への協力、米原市立双葉中学校、米原市立双葉中学校（滋賀県）、講師。

### **視察等への対応**

2018年9月12日、環境学習センターについて、公益財団法人とうきゅう環境財団。

2018年9月28日、環境学習センターについて、立教大ESD研究所長・（環境省設置）ESD活動支援センター長・（公益社団）日本環境教育フォーラム専務理事・元日本環境教育学会長。

2018年11月9日、環境学習と企業連携について、国立台湾歴史博物館。

### **メディアへの協力**

2019年3月4日、NHK総合テレビ「関西のニュース・滋賀県のニュース」、絶滅危惧種アユモドキを小学校に、（2019年3月4日取材協力）。

2019年3月4日、びわこ放送「アミンチュてれびBBC」、小学生が「アユモドキ」復活に貢献、（2019年3月4日取材協力）。

2019年3月5日、京都新聞、アユモドキ大切に育てる、（2019年3月4日取材協力）。

2019年3月9日、毎日新聞、アユモドキ復活目指す、（2019年3月4日取材協力）。

### **【資料整備活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

京都市動物園、イチモンジタナゴ 30個体、分譲。

株式会社ダイフク、カスミサンショウウオ 6頭、受贈。

志摩マリンランド、ヒナモロコ 30個体、受贈。

東海大学、ヒナモロコ 15個体、受贈。

米原市立双葉中学、ハリヨ 20尾、分譲。

#### **他の博物館・機関等の活動**

福井県立大学海洋生物資源学部、ミヤコタナゴ未受精卵観察、協力。

### **【展示活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

2018年5月13日、サカマキガイの卵、マイクロアクアリウム。

2018年8月8日～8月11日、クサガメの赤ちゃん、おとなのディスカバリー。

2019年1月16日～2月18日、ギャラリー展示、生物多様性びわ湖ネットワーク。

2019年1月29日、アミミドロの展示、マイクロアクアリウム。

2019年1月30日、オオバン・セタシジミ・ホンモロコ・ニゴロブナ 移り変わり展示パネル展示更新、生き物コレクション。

2019年3月19日～3月24日、びわはく学生ミーティング、研究発表ポスター展示。

### **【研究部関連事業】**

調査船「うみんど」管理、副担当。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

動物取扱責任者

### 【館外の活動】

1999年～，守山湖岸再生部会，委員。

2000年～，木浜内湖再生部会，委員。

2004年～，淀川水系アユモドキ連絡協議会(環境省)。

2011年～，(公社)日本動物園水族館協会生物多様性委員会・日本産希少淡水魚繁殖検討委員会，アユモドキ種別計画管理者。

2011年～，(公社)日本動物園水族館協会生物多様性委員会・日本産希少淡水魚繁殖検討委員会，イチモンジタナゴ種別計画管理者。

2012年～，大津市立逢坂小学校エコスクール支援委員会，委員。

2013年～，(公社)日本動物園水族館協会 生物多様性委員会・保全戦略部，部員。

2013年～，亀岡市都市計画公園及び京都スタジアム(仮称)に係る環境保全専門家会議，委員。

2013年～，亀岡市アユモドキ緊急調査検討委員会，委員。

2014年～，環境省近畿地方環境事務所 淀川水系アユモドキ生息域外保全検討委員会，委員。

2014年～，関西広域連合広域環境保全局生物多様性検討委員会，委員。

2014年～，亀岡中部土地改良事業検討会，委員。

2015年～，滋賀県生き物調査生きもの総合調査委員会，魚貝類部会長。

2015年～，滋賀大学環境学習支援士養成プログラム企画運営委員会，委員。

2017年～，草津市こども環境会議実行委員会，委員。

2017年～，野洲市環境審議会，委員。

2017年～，滋賀のオオサンショウウオを守る会，理事。

2018年，第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)学生会議審査部会，委員。

2018年～，滋賀県生きものデータバンク検討会，検討委員。

2018年～，しが生物多様性取組認証制度審査会，委員。

2018年～，名勝「平安神宮神苑」の池底土の浚渫検討委員会，委員。

2018年度については、専門研究「琵琶湖水系に生息するアマゴの遺伝的由来に関する情報の収集」において、琵琶湖水系周辺河川において現在特に不足している日本海側の河川として、笙の川水系五位川においてサンプリングを行った。これについては、引き続き由良川源流、北川源流においてサンプリングを続けてゆく予定である。また、今年度から2年計画で開始した共同研究「琵琶湖固有亜種とされるビワマスにおける遺伝的多様性の変化」については、BST時の鱗のプレパラート標本からのDNA抽出のめどがある程度立ったところであり、次年度には次のステップへと進めるものと考えている。

研究業績としては、2011年度から2013年度にかけて東京大学大気海洋研究所の天野洋典氏らと実施した共同研究の成果として、6月にFisheries Scienceに共著論文として「Low-fidelity homing behaviour of Biwa salmon *Oncorhynchus* sp. landlocked in Lake Biwa as inferred from otolith elemental and Sr isotopic compositions」が掲載された。また、7月には主著論文「Trace of outbreeding between Biwa salmon (*Oncorhynchus masou* subsp.) and amago (*O. m. ishikawae*) detected from the upper reaches of inlet streams within Lake Biwa water system, Japan」がIchthyological Researchにオンラインで掲載された。これによって、長年の懸案となっていた学位の取得のための条件が整い、三重大大学生物資源学研究科に博士論文「ビワマスの保全遺伝学的研究」を提出し、2019年3月6日に最終合格判定された後、3月25日に博士学位が授与された。これに関連して、3月13日には滋賀県水産試験場の勉強会で発表を行ったほか、3月29日には水産育種研究会において発表を行った。

事業については、事業部長として事業部全般に円滑な業務運営を諮ったほか、特に年度前半については資料係長の補佐を行うことで、資料系の活動の円滑化を諮った。水族では、若い学芸員の指導育成を行ったほか、特にバイカル博物館との連携業務をおこなった。

## 印刷物

### 【学術論文】

- Amano, Y., Kuwahara, M., Takahashi, T., Shirai, K., Yamane, K., Kawakami, T., Yokouchi, K., Amakawa, H. and Otake, T. (2018) Low-fidelity homing behaviour of Biwa salmon *Oncorhynchus* sp. landlocked in Lake Biwa as inferred from otolith elemental and Sr isotopic compositions. *Fisheries Science*, 84: 799-813.
- Kuwahara, M., Takahashi, H., Kikko, T., Kurumi, S. and Iguchi, K. (2019) Trace of outbreeding between Biwa salmon (*Oncorhynchus masou* subsp.) and amago (*O. m. ishikawae*) detected from the upper reaches of inlet streams within Lake Biwa water system, Japan. *Ichthyological Research*, 66: 67-78.
- 桑原雅之 (2019) ビワマスの保全遺伝学的研究 (Study on conservation genetics of Biwa Salmon). 博士論文, 三重大大学生物資源学研究科: 104p.

### 【一般向けの著作】

- 桑原雅之 (2018) 琵琶湖の魚の不思議と謎 3 琵琶湖のウグイ. *Walton (Walton 舎)*, 07: 40-43.
- 桑原雅之 (2019) 琵琶湖の魚の不思議と謎 4 琵琶湖のコアユ. *Walton (Walton 舎)*, 08: 16-23.
- 桑原雅之 (2019) バイカル湖の淡水生物とバイカル博物館. *AQUA LIFE (株式会社エムピージェー)*, 3 (41): 90-94.
- 桑原雅之 (2017) 湖岸より 317 古代湖の世界. *中日新聞*, 4月28日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

- 桑原雅之（2018年6月3日）ビワマスの保全遺伝学的研究. 琵琶湖博物館研究報告会, 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- 桑原雅之（2018年7月20日）ビワマスの保全遺伝学的研究－琵琶湖水系に於けるビワマスとアマゴ共存の可能性  
一. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- 桑原雅之（2019年3月13日）琵琶湖水系におけるビワマスとアマゴの共存可能性. 滋賀県水産試験場勉強会, 滋賀県水産試験場（彦根市）, [口頭発表].
- 桑原雅之（2019年3月29日）琵琶湖水系におけるビワマスとアマゴの共存可能性. 平成31年度水産育種研究会, 東京海洋大学（東京都港区）, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖水系に生息するアマゴの遺伝的由来に関する情報の収集」（2018年度）.
- 琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖固有亜種とされるビワマスにおける遺伝的多様性の変化」, 研究代表者（2018年度～2019年度）.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

- 質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 9件.
- 2018年8月27日, 琵琶湖博物館の概要. 平成30年度博物館実習, 琵琶湖博物館, 講師.

#### 他の博物館・機関等の主催行事

- 2018年5月19日, ビワマス稚魚観察会（米原市ビワマス倶楽部）, いぼとり公園（滋賀県米原市）, 講師.
- 2018年5月19日, ビワマス稚魚観察会（米原市ビワマス倶楽部）, いぼとり公園（滋賀県米原市）, 講師.
- 2018年6月23日, 琵琶湖博物館の概要. 桃山学院大学博物館実習, 琵琶湖博物館, 講師.
- 2018年8月2・7日, 淡水魚の生態と分類. シニア自然大学「淡水魚①」, 大阪環境情報プラザ・ワキタ天満橋ビル（大阪市）, 講師.
- 2018年8月31日, ビワマスの生態と生息状況について. 滋賀県退職者公務員連盟, 琵琶湖博物館, 講師.
- 2018年9月13・19日, 淡水魚の採集と同定, シニア自然大学「淡水魚②」, 大戸川（大津市）, 講師.
- 2019年2月2日, 琵琶湖水系に生息する魚類について. 湖西里山の会, 琵琶湖博物館, 講師.

#### メディアへの協力

- 2018年4月13日, 朝日新聞, バイカルヨコエビの一種 幼体飼育に成功(2018年4月10日取材対応).
- 2018年9月16日, 読売新聞, びっくり!!黄色いスッポン(2018年9月15日取材対応).

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

- 水族資料収集, 担当.
- 水族資料維持管理, 担当.

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

- 水族展示維持管理, 担当.

第30回水族企画展示「琵琶湖に固有な魚たちの歴史」、副担当。  
モーニングレクチャー，講義，4回。  
展示交流員と話そう，内容指導。

**【企画調整活動】**

新任研修，琵琶湖博物館設立の理念と経緯，講師，2017年4月18日，琵琶湖博物館。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

**【館外の活動】**

湖香六根発行，アメさん古代湖をわたる，監修協力。  
日本動物園水族館協会設備会議，幹事。  
米原市ビワマスプロジェクト，生態アドバイザー。  
大津市科学館運営協議会，委員。

オサムシ科を中心に昆虫の系統進化および生物地理を明らかにすることを研究目標としている。また、地域の人たちとともに滋賀県の昆虫相を解明することを目指している。

研究活動では、古琵琶湖層群の甲賀層から産出したカタビロオサムシ属化石についての論文が印刷された。滋賀県湖南市吉永の野洲川に分布する甲賀層から産出したオサムシ亜科の左鞘翅化石を調査した結果、広義のカタビロオサムシ属の一種 *Calosoma* sp. と同定され、上翅間室および孔点の形状等が現生種のなかでは *Calosoma* (*Chrysostigma*) *calidum* に最も似ていると判断された。*Calosoma calidum* は、現在では北米大陸のカナダ南部からアメリカ合衆国北東部にかけての地域に分布しており、我が国およびその周辺地域からは知られていない。本化石の発見は、鮮新世後期におけるオサムシ類の分布や成り立ちと、現代に至るまでの変遷を考察するうえで重要なものと言える。

滋賀県生き物総合調査委員会昆虫類部会が中心となって、滋賀県昆虫目録を作成し、滋賀県自然環境保全課のウェブページから公開された。昆虫類部会長として全体の推進を行うほか、甲虫類の種のリストの作成を担当した。この目録は、滋賀県の昆虫類の多様性を知る上で重要な基礎資料として今後活用が期待される。

事業活動では、新設されたおとなのディスカバリーの昆虫コーナーを担当した。交流係長として、交流係の分掌事務の総括のほか、びわ博フェスの全体の総括を担当した。生物多様性びわ湖ネットワークが主催のギャラリー展示「トンボ100大作戦 ～滋賀のトンボを救え～」を担当した。滋賀県博物館協議会の広報委員会の副幹事を務め、毎日新聞の連載「名品手鑑 ～滋賀の博物館・美術館探訪」、県博協のウェブページの更新を行うなど広報委員会の活動を進めた。

## 印刷物

### 【学術論文】

Yahiro, K., Sugiyama, K. and Hayashi, M. (2018) Late Pliocene of Fossil *Calosoma* (Coleoptera, Carabidae) from the Koka Formation, Kobiwako Group in Shiga Prefecture, Japan. *Elytra, New Series* (日本甲虫学会), 8(1): 1-7.

### 【専門分野の著作】

八尋克郎 (2018) 180 万年前に生息していた昆虫たち. 第 26 回企画展示「化石林-ねむる太古の森」展示解説書, 琵琶湖博物館, 24.

八尋克郎 (2018) 滋賀県におけるアカマダラハナムグリの記録. *Came 虫*, 194 : 14.

八尋克郎 (2018) 滋賀県におけるウスバカマキリの記録. *Came 虫*, 194 : 18.

### 【一般向けの著作】

八尋克郎 (2018) 湖岸より 326 企業連携でトンボ生息環境を保全へ. *中日新聞*, 9月15日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

八尋克郎・林 成多 (2018年5月18日) 最終氷期の堆積物から産出した山門湿原の昆虫化石. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「古琵琶湖層群から産出した昆虫化石」(2018年度).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本環境動物昆虫学会第13期環境アセスメント動物調査手法研究部会, 運営委員, 2010年2月～.

滋賀オサムシ研究会, 事務局, 1997年度～.

地表性甲虫談話会会報, 編集幹事, 2004年度～.

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2019年1月9日, 滋賀県立大学学芸員資格講義, 「博物館資料保存論」.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク. 琵琶湖博物館, 10件.

2018年7月16日, 里山体験教室, 大篠原(滋賀県野洲市), 講師.

2018年7月31日, 昆虫班. 自然調査ゼミナール(滋賀県中学校理科部会共催), 琵琶湖博物館, 講師.

2018年8月4日, フィールドレポーターアカトンボマーキング調査, 琵琶湖バレイ(大津市), 講師.

2018年8月28日, 昆虫乾燥標本の整理と製作. 平成30年度博物館実習, 琵琶湖博物館, 講師.

2018年8月31日, 交流事業について. 平成30年度博物館実習, 琵琶湖博物館, 講師.

2018年10月13日, フィールドレポーター里のアカトンボ調査, 伊香立融神社(大津市), 講師.

2018年10月13日, 問題解決のアプローチ. 立命館守山中学校ミュージアムスクール, 琵琶湖博物館, 講師.

#### 視察等への対応

2019年1月29日, 生物多様性に関する研究関連ネットワークの構築の現況、教育について, 嶺南大学産学協力団.

2019年3月12日, 交流事業について, 甕ミュージアム恐竜化石等準備室.

#### メディアへの協力

2018年4月1日, 滋賀報知新聞, 琵琶湖博物館研究調査報告第30号「滋賀県のトンボ(2010年代)」について,  
(2018年3月31日取材対応).

2018年7月3日, 京都新聞, キイロスズメバチの巣について, (2018年6月31日取材対応).

2018年7月13日, 毎日新聞, 雌雄モザイクのカブトムシ, (2018年7月12日取材対応).

2018年7月14日, 中日新聞, 雌雄モザイクのカブトムシ, (2018年7月13日取材対応).

2018年7月19日, 産経新聞, 雌雄モザイクのカブトムシ, (2018年7月18日取材対応).

2019年1月17日, 中日新聞, ギャラリー展示「トンボ100大作戦 ～滋賀のトンボを救え～」, (2019年1月16日  
取材対応).

### 【情報整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

クエリーの質問対応, 昆虫に関する質問への回答, 7件.

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

昆虫乾燥標本, 貸出し, 2件.

#### 【展示活動】

##### 琵琶湖博物館の活動

2019年1月16日～2月17日、ギャラリー展示「トンボ100大作戦 ～滋賀のトンボを救え～」, 展示担当.  
モーニングレクチャー, 講義, 4回.

#### 【企画調整活動】

新任職員等研修, 交流事業, 2018年4月18日, 琵琶湖博物館, 講師.

新任職員等研修, C展示室生き物コレクション, 2018年4月25日, 琵琶湖博物館, 講師.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

#### 【館内の人事】

2018年4月1日～, 滋賀県博物館協議会広報委員会, 委員.

#### 【館外の活動】

2011年4月1日～, 滋賀県生きもの総合調査委員会昆虫類部会, 部会長.

2012年4月1日～, 野生動植物との共生に関する検討会, 委員.

琵琶湖環境科学研究センター・滋賀県立大学とともに共同研究「琵琶湖南湖において沈水植物の量を適正化するための条件の探索」を開始した。本研究は1930年代後半の沈水植物の生息状況を適正状態と仮定し、その状態を達成するのに必要な光条件・栄養条件・除去圧力(およびその組み合わせ)をシミュレートするものである。私は沈水植物の現存量と分布に関する情報収集を担当している。

2018年は魚探による沈水植物の分布の観測を継続すると共に、2017年度の定量調査の結果と2007年度か楽投稿2017年度までの魚探観測の結果を取りまとめ、学会で報告した。

研究部の活動としては相互協力関係にある韓国洛東江生物資源館の訪問を受け入れ、合同セミナーにおいて発表を行った。

## 印刷物

### 【学術論文】

芳賀裕樹・酒井陽一郎・石川可奈子 (2019) 琵琶湖南湖における2017年9月の沈水植物の現存量の平面分布. *陸水学雑誌*, 80: 13-21.

Ishikawa, K., Haga, H., Inoue, E. and Ban, S. (2019) Determining suitable submerged macrophyte biomass in terms of dissolved oxygen concentration and biodiversity in the South Basin of Lake Biwa, Japan. *Limnology*, 20: 69-82.

### 【一般向けの著作】

芳賀裕樹 (2019) 湖岸より 335 2017年は南湖の水草が少ない年でした. *中日新聞*, 1月26日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

芳賀裕樹・酒井陽一郎・石川可奈子 (2018年10月8日) 琵琶湖南湖の2017年の沈水植物の現存量分布. 日本陸水学会第83回大会, 岡山大学 (岡山市), [口頭発表].

芳賀裕樹 (2018年10月8日) 魚群探知機による琵琶湖南湖の沈水植物の長期観測. 日本陸水学会第83回大会, 岡山大学 (岡山市), [口頭発表].

石川可奈子・芳賀裕樹 (2018年11月2日) 琵琶湖の水草大量繁茂、刈取り除去による管理と有効利用の現状と課題. 日本水処理学会第55回大会公開シンポジウム, 日本大学工学部キャンパス (福島県郡山市), [口頭発表 (共同発表者)].

芳賀裕樹 (2018年12月5日) 琵琶湖南湖の沈水植物の変遷. 二国間交流セミナー「日本と韓国における淡水生物の多様性と変遷」(琵琶湖博物館・洛東江生物資源館), 琵琶湖博物館, [口頭発表].

石川可奈子・芳賀裕樹・酒井陽一郎・井上栄壮・アンユングブルト・朴 虎東・山口 晴・高村典子・横井貴大 (2019年3月17日) 藍藻類がもたらす新たな問題～琵琶湖南湖で見られる底生糸状藻類の増加について～. 日本藻類学会第43回京都大会公開シンポジウム, 京都大学 (京都市), [口頭発表 (共同発表者)].

里口保文・林 竜馬・加三千宣・芳賀裕樹 (2018年8月24日) 琵琶湖南湖における泥質堆積物の層相と粒径. 日本第四紀学会2018年大会, 首都大学東京 (東京都), [ポスター発表 (共同発表者)].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖水質の長期変遷に関する資料の所在調査」(2018年度).

琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖南湖において沈水植物の量を適正化するための条件の探索」, 研究代表者(2017年度~2019年度).

琵琶湖環境科学研究センター政策課題研究6「水草管理による生態系再生に向けた研究」(代表者:酒井陽一郎), 研究分担者(2017年度~2019年度).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本緑化工学会誌, 査読, 1件.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 11件.

2018年8月29~31日, ユニバーサルデザインと博物館, 博物館実習, 琵琶湖博物館, 指導.

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年9月11日, 琵琶湖の生き物と水質について. 吹田市人権啓発推進協議会, 琵琶湖博物館, 講師.

2018年11月13日, 琵琶湖の生き物と水質について. 吹田市人権啓発推進協議会, 琵琶湖博物館, 講師.

2019年2月6日, 琵琶湖の生き物と水質について. 吹田市人権啓発推進協議会, 琵琶湖博物館, 講師.

2019年2月20日, 琵琶湖の生き物と水質について. 吹田市人権啓発推進協議会, 琵琶湖博物館, 講師.

2019年3月5日, 琵琶湖の生き物と水質について. 吹田市人権啓発推進協議会, 琵琶湖博物館, 講師.

#### 視察等への対応

2018年4月27日, 琵琶湖および滋賀県の紹介・琵琶湖博物館展示案内, 在大阪ベトナム総領事一行.

2018年5月29日, 琵琶湖および滋賀県の紹介・琵琶湖博物館展示案内, 湖南師範大学研究者代表団.

2018年8月31日, 琵琶湖博物館の運営について・情報交換, リトルワールド.

2019年1月18日, 琵琶湖博物館の運営について・情報交換, 大淀川学習館.

2019年1月29日, 琵琶湖博物館の運営について・情報交換, 韓国嶺南大学産学協力団.

### 【情報整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

中枢システム更新, 全体統括.

音声ガイド原稿修正, 修正データ作成・渉外.

ガイドブック第2版作成・印刷, 原稿作成・渉外.

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

2018年3月27日~4月22日, ギャラリー展示「お茶で琵琶湖を美しく 伊藤園フォトコンテスト写真展2018」, 主担当.

モーニングレクチャー, 講義, 4回.

### 【企画調整活動】

韓国国立洛東江生物資源館招聘, 2018年12月4日~7日, 招待調整・当日対応.

移動博物館, 出展, 2018年8月4・5日, 第3回BIWAKO湖フェス2018, NPO法人琵琶湖ローイングCLUB, 大津市.

共催事業，2018年7月28日，景観づくりチャレンジ隊～対岸景観クルーズ～、びわこ大津草津景観推進協議会，琵琶湖博物館、運営協力。  
共催事業，2018年8月11日，琵琶湖に触れよう～沖島地引網体験、琵琶湖博物館見学～，関西広域連合広域環境保全局，琵琶湖博物館、講師。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

2018年度，滋賀県水草対策チーム。  
2018年度，滋賀県魚たちのにぎわいを復活させるプロジェクト会議。  
2018年度，滋賀県南湖湖底環境改善検討会。

2018年度は、2014年度から始まった滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課生物多様性戦略推進室の兼務が5年目を迎えた。これまでの4年間とは異なり、県庁での兼務は週1日、本務の博物館での勤務が週4日と、従来とは逆に日数が割り当てられ、博物館勤務が主となった。

今年度の研究活動としては、まず、オオクチバス等外来魚に関する研究の成果に関して、主として岡山県苫田ダム貯水池と湖北野田沼での現地取材に基づき、7月からの第3期の担当となっていたC展示室の「研究スタジオ」のコーナーにおいて、「人工産卵装置」という内容での展示を作成し公表した。また、福島県三春ダムにおける研究成果である、オオクチバスの繁殖期に貯水池の水位を段階的に低下させることで産卵床を効果的に干出させる手法の効果について、現地の共同研究者と連名の論文として発表した。同じく外来魚のライギョ（タイワンドジョウ）類に関しては、アメリカ水産学会が開催した国際シンポジウムへの招聘を受け、日本におけるライギョへの対応に関する歴史的経緯について発表する機会を得て、その内容を基にした総説論文を投稿している。滋賀県・琵琶湖における外来種の現状と対策に関しては、2012年に出版され改訂・第2版の出版が準備されている「Lake Biwa: Interactions between Nature and People」の分担執筆箇所の原稿について、著者校閲を終えた。

在来・固有種に関しては、高知大学の三浦収氏、滋賀県立大学の浦部美佐子氏らとともに、琵琶湖産のカワニナ科貝類の種分化様式をDNA分析による系統分岐パターンと地学的な環境変遷と関係づけて論じた成果を、論文として発表した。また、過年度にフランスとスウェーデンの博物館に収蔵された日本産の非海産貝類標本を観覧・分析した成果について、特にスウェーデンでの結果について、学会、研究会および博物館研究セミナーで発表を行い、成果の一部については、上記、琵琶湖の英文総説本に新規内容として投稿された。地元河川の生物・環境調査を行う「湖南企業生きもの応援団」の活動支援は9年目を迎え、10月に茨城県霞ヶ浦で行われた第17回世界湖沼会議において、成果の発表を共同で行った。

事業活動では、今年度から総務部企画調整課への配属となり、主な分担業務として、国際交流への対応、業績目録・要覧の発行、来館者アンケートの実施等を分掌した。また、国際交流担当と関連して、滋賀県海外技術研修員として選抜された長沙環境保護職業技術学院（中華人民共和国・湖南省）教員の樊晶晶さんの受け入れの主担当となり、8月下旬から12月下旬まで約4ヶ月間の研修期間中、約3ヶ月間、琵琶湖博物館で受け入れ、兼務先の自然環境保全課とも連携して、環境政策・環境教育をテーマとした研修対応を行った。

今年度が完成時期となった琵琶湖博物館の第二期リニューアルでは、新規に設置された「おとなのディスカバリー」において、標本類を展示する「しらべる」ゾーンの「陸生貝類」と「両生類・爬虫類」のコーナーを担当し、過年度から検討・準備していた展示用の標本・模型の確保や、資料映像等のソフトウェアの製作等に関わり、7月初旬のオープンを迎えた。

兼務先の滋賀県自然環境保全課では、過年度に引き続き、侵略的外来水生植物のオオバナミズキンバイ・ナガエツルノゲイトウを主な対象とし、防除事業を戦略的に実施することが主要な業務であった。関係者との連携や普及啓発を深めるとともに、「できるだけ残さない除去」と「できるだけ再生させない管理」を基本方針とする対策事業を進めることで、年度末の残存生育面積を3カ年連続で縮減させる結果となった。これらの植物への防除に関して、鹿児島県、千葉県、茨城県、京都府等において、現場対応のあり方についての助言も行い、琵琶湖での取組に関して上記、世界湖沼会議等での発表を行った。国の「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」の改正に伴い内容の変更が必要となった「ふるさと滋賀の野生動植物との共生に関する条例」について、長年の懸案であったいくつかの課題に関しても変更する条例改正に着手し、年度内の改正にこぎつけた。また、本条例の運用のための基礎情報として重要な「滋賀県外来種リスト」の時点修正や、条例の規定する指定外来種等の選定作業にも取り組み始めた。さらに、今年度新規に始まった「生物多様性取組認証制度」の実施や、3年目を迎えた関西広域連合の「関西の活かしたい自然エリアエコツアー」の企画・運営も支援した。

## 印刷物

### 【学術論文】

- Miura, O., Urabe, M., Nishimura, T., Nakai, K. and Chiba, S. (2019) Recent lake expansion triggered the adaptive radiation of freshwater snails in the ancient Lake Biwa. *Evolution Letters*, 3 (1): 43-54.
- 松崎厚史・沖津二郎・浅見和弘・樋口貴哉・鎌田健太郎・大杉奉功・中井克樹・松田裕之・小山幸男 (2019) 階段式水位低下によるダム湖のオオクチバスの繁殖抑制. *応用生態工学*, 21:145-158.

### 【専門分野の著作】

- 中井克樹 (2018) 国外外来魚. 日本魚類学会 (編), *魚類学の百科事典*. 丸善, 東京, 522-523.

### 【一般向けの著作】

- 中井克樹 (2018) 琵琶湖のヨシ群落への脅威? 急速に拡大する新たな外来植物. *ヨシでびわ湖を守るネットワーク通信 (株式会社コクヨ工業滋賀)*, 32:2-3.
- 中井克樹 (2018) 湖岸より 331 第17回世界湖沼会議. *中日新聞*, 11月24日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

- 中井克樹・滝川祐子 (2018年5月26日) 19世紀のスウェーデンの調査船ヴェガ号が採集した日本産陸生貝類. 日本貝類学会平成30年度創立90周年記念大会, 東京海洋大学品川キャンパス (東京都品川区), [口頭発表].
- 中井克樹 (2018年7月15日) 博物館のめぐり〜スウェーデン、三重、びわ湖〜. 阪神貝類談話会2018年7月例会, 西宮浜公民館 (兵庫県西宮市), [口頭発表].
- Nakai, K. (2018年7月19日) How are introduced snakeheads doing in Japan? First International Snakehead Symposium (Virginia Chapter of the American Fisheries Society), The Alexandrian (Alexandria, Virginia, U.S.A.), [招待発表].
- 中井克樹 (2018年8月18日) 最近の外来種対策にみる今後の課題. 日本魚類学会市民公開講座「自然の宝庫, 北海道の河川・湖沼における外来種」, 北海道大学大学院環境科学院大講義室 (札幌市), [招待講演].
- 中井克樹 (2018年8月25日) Vega号が収集した日本産陸生貝類標本. 平成30年度京大生態学研究センター研究集会「スウェーデンVega号採集による日本産標本にもとづく140年前の生物多様性—琵琶湖、神戸、関東、長崎の水生物・陸貝を中心に—」, 大津市ふれあいプラザ (大津市), [口頭発表].
- 中井克樹 (2018年8月28日) 琵琶湖外来水生植物対策協議会及び滋賀県の取組. 水陸両生の侵略的外来植物の管理に関するワークショップ (滋賀県立大学環境科学部水陸両生外来植物管理研究会), 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- 坂本正吾・沖津二郎・中井克樹・中川博樹・片寄 仁 (2018年9月22日) 三春ダムにおけるオオクチバス防除試験でみられた個体の確認状況の変化. 応用生態工学会第22回研究発表会, 東京工業大学大岡山キャンパス (東京都目黒区), [口頭発表].
- 中井克樹 (2018年10月6日) 湖国・滋賀の生きものたちのいま. 第15回日本オオサンショウウオの会長浜市大会, 長浜バイオ大学 (滋賀県長浜市), [基調講演].
- 桂 賢・南 啓次郎・鳥羽茂之・中井克樹・宮城成和 (2018年10月16日) 地域の中小企業連携で進める小規模都市河川での生物多様性保全の取り組み. 第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦2018), つくば国際会議場 (茨城県つくば市). [口頭発表].
- 中井克樹 (2018年10月18日) 急拡大する侵略的外来水生植物オオバナミズキンバイ等への対策: 琵琶湖における取組事例. 第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦2018), つくば国際会議場 (茨城県つくば市). [口頭発表].
- 中井克樹 (2018年11月2日) 湖沼環境のバランスを取り戻すための水生生物対策: 行政施策と主体間連携のあり

- 方. 日本水処理生物学会第 55 回大会 (郡山大会) シンポジウム「湖沼の水生植物と水生生物をめぐる課題と対策」, 日本大学工学部キャンパス 50 周年記念館「ハット NE」(福島県郡山市), [招待講演].
- 中井克樹 (2018 年 11 月 3 日) 最近の外来種について 2 水辺で起きている異変. 自然環境文化推進セミナー「京(みやこ)に迫る外来種の脅威と「和のビオトープ」の試み」((社) 自然環境文化推進機構), 京都御苑閑院宮邸レクチャーホール (京都市), [招待講演].
- 坂本正吾・沖津二郎・中井克樹・大杉奉功・中川博樹・片寄 仁 (2018 年 11 月 10 日) 三春ダムにおけるオオクチバス防除試験でみられた産卵床の干し上げ数および年齢構成の変化. さくら湖自然環境フォーラム 2018/応用生態工学会仙台・東北地域研究発表会, 三春交流館「まほら」まほらホール (福島県三春町), [ポスター発表].
- 大杉奉功・沖津二郎・中井克樹・中川博樹 (2018 年 11 月 10 日) 三春ダムにおけるブルーギルの産卵場特性と防除手法. さくら湖自然環境フォーラム 2018/応用生態工学会仙台・東北地域研究発表会, 三春交流館「まほら」まほらホール (福島県三春町), [ポスター発表].
- 中井克樹 (2018 年 11 月 27 日) 水辺の外来種問題, 最近の話題. 平成 30 年度外来種対策研修会 (愛知県環境部自然環境課), 愛知県庁本庁舎第 7 会議室 (名古屋市中), [講義].
- 中井克樹・滝川祐子 (2018 年 12 月 8 日) 19 世紀に海を渡った琵琶湖の貝: フランスとスウェーデンの博物館調査. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- 中井克樹 (2019 年 1 月 27 日) 琵琶湖の侵略的外来水生植物その後: 気になるバス釣りととの関係. 第 14 回「外来魚情報交換会」(琵琶湖を戻す会), 草津まちづくりセンター (滋賀県草津市), [口頭発表].
- 笹田直樹・白神義章・藤原隆佑・中井克樹 (2019 年 1 月 27 日) 苦田ダムにおけるオオクチバス管理の現状 その 2. 第 14 回「外来魚情報交換会」(琵琶湖を戻す会), 草津まちづくりセンター (滋賀県草津市), [口頭発表].
- 坂本正吾・沖津二郎・中井克樹・大杉奉功・中川博樹・片寄 仁 (2019 年 1 月 27 日) 三春ダムにおけるオオクチバス防除試験でみられた産卵床の干し上げ数および年齢構成の変化. 第 14 回「外来魚情報交換会」(琵琶湖を戻す会), 草津まちづくりセンター (滋賀県草津市), [口頭発表].
- 中井克樹 (2019 年 2 月 21 日) ダム湖における外来魚管理に向けて. 水源地生態研究会・ダム湖生態系研究グループ会議, (一財) 水源地環境センター会議室 (東京都千代田区), [口頭発表].
- 中井克樹 (2019 年 2 月 25 日) 外来魚対策について. 平成 30 年度研究人材活性化対策事業「研究推進支援研修」(神奈川県水産技術センター), 神奈川県水産技術センター内水面試験場 (相模原市), [講演].

#### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

- 2018 年 5 月 11 日, 滋賀県立大学大学院環境科学研究科「地域デザイン論」, 講義「近江の生態的特性」. 滋賀県立大学地域共生センター (彦根市).
- 2018 年 6 月 23 日, 桃山学院大学博物館学実習による現地見学, 収蔵庫空間の案内・解説. 琵琶湖博物館液浸収蔵庫.
- 2019 年 3 月 21 日, 兵庫県立六甲アイランド高等学校科学部, 六甲アイランド池に生息する生物に関する研究の相談, 琵琶湖博物館質問コーナー.

#### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 日本生態学会自然保護専門委員会 外来種問題検討作業部会, 委員, 2001 年 3 月～.
- 日本生態学会自然保護専門委員会, 近畿地区選出委員, 2013 年 1 月～.
- 日本生態学会, 生態学琵琶湖賞選考委員・運営委員, 2016 年 11 月～ (第 19 回～).
- 日本生態学会近畿地区会自然保護専門委員会, 委員, 1998 年～.
- 日本魚類学会自然保護委員会, 委員, 2001 年 2 月～.
- 日本魚類学会自然保護委員会外来魚部会, 部長, 2014 年 1 月～.
- 日本貝類学会, 評議員, 2011 年 1 月～.
- 応用生態工学会普及・連係委員会, 委員, 2009 年 10 月～.
- 滋賀自然環境研究会, 事務局および会誌編集委員, 2016 年 7 月～

阪神貝類同好会，理事，2000年1月～。  
生物多様性ネットワーク新潟，顧問，2004年10月～。  
全国ブラックバス防除市民ネットワーク，理事，2005年11月～。  
ぼてじゃこトラスト イチモンジタナゴ復元放流検討委員会，委員，2017年1月～。  
水資源・環境学会，水資源・環境研究，査読，1件。

#### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「淡水生物等の保全に関する研究」（2018年度）。  
環境省生物多様性保全回復施設整備交付金による滋賀県生物多様性保全回復整備事業，実施担当者（2017年度～）。  
環境省生物多様性保全推進交付金および滋賀県侵略的外来水生植物戦略的防除事業費による琵琶湖外来水生植物対策協議会事業，ならびに環境省生物多様性保全回復施設整備交付金による滋賀県事業、事務局担当者（2014年度～）。

#### 【受賞など】

応用生態工学会仙台・東北地域研究発表会：参加者投票部門・最優秀ポスター発表賞，「坂本正吾・沖津二郎・中井克樹・大杉奉功・中川博樹・片寄 仁：三春ダムにおけるオオクチバス防除試験でみられた産卵床の干し上げ数および年齢構成の変化」に対して。  
応用生態工学会仙台・東北地域研究発表会：審査員部門・優秀ポスター発表賞，「大杉奉功・沖津二郎・中井克樹・中川博樹：三春ダムにおけるブルーギルの産卵場特性と防除手法」に対して。

## 博物館事業に関する業績

#### 【交流・サービス事業】

##### 琵琶湖博物館の活動

質問コーナー・フロアトーク。琵琶湖博物館，8件。  
2018年8月5日，学習会実施における技術支援。環境・ほっと・カフェ「びわ湖大勉強会～学んで考えよう～」(国際ボランティア学生協会共催)，琵琶湖博物館，講師。  
2018年8月8日，講義「悩ましい外来種問題… どうすればいい?」。環境・ほっと・カフェ「びわ湖の外来生物のいま」，琵琶湖博物館，講師。  
2018年9月27日，講義「琵琶湖博物館の紹介」および展示案内。インドネシア訪問団との環境教育ワークショップ(イスラム学校法人ディニヤ・プトリ・パダン・パンジャンおよびNPO法人平和環境もやいネット共催)，琵琶湖博物館，講師(北川多喜・平和環境もやいネット代表、大塚泰介、芳賀裕樹と共同)。  
2018年9月28日，ワークショップ同行・支援。インドネシア訪問団との環境教育ワークショップ(イスラム学校法人ディニヤ・プトリ・パダン・パンジャン、草津市立渋川小学校、およびNPO法人平和環境もやいネット共催)，草津市立渋川小学校(滋賀県)，講師(中村大輔・渋川小学校教諭と共同)。

##### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年4月16日，狼川における生物調査の指導と結果総括。湖南企業いきもの応援団第33回調査会，狼川および草津市南笠東公民館(滋賀県)，講師  
2018年4月27日，侵略的外来水生植物オオバナミズキンバイとその防除対策に関する現場解説。平成30年度滋賀県土木技術職員現場研修(滋賀県建設技術センター)，矢橋中間水路(滋賀県草津市)，講師。  
2018年5月11日，ミシガン州立大学滋賀県訪問団への挨拶および博物館概要説明。琵琶湖博物館研修(ミシガン州立大学)，琵琶湖博物館，講師。  
2018年5月17日，研究発表会に向けての助言・指導。守山市立守山中学校科学部発表会予行演習，琵琶湖博物館，指導・助言者。  
2018年5月19日，講義「琵琶湖の外来生物問題と駆除活動」。「環境問題」学習会(木之本ライオンズクラブ)，琵琶湖博物館，講師。

琵琶湖博物館，講師。

- 2018年5月20日，オオバナミズキンバイ等侵略的外来水生植物の駆除手法に関する指導・実演、知事説明。第1回瀬田川流域クリーン作戦，瀬田川（滋賀県大津市），解説者（自然環境保全課職員と共同）。
- 2018年5月23日，講義「滋賀県におけるイチモンジタナゴの保全活動」。さとうみサロン（福井県里山里海湖研究所），三方青年の家（福井県三方町），講師。
- 2018年5月30日，講義「滋賀県・琵琶湖における侵略的外来水生植物対策」。滋賀県琵琶湖環境部平成30年度新任職員研修，琵琶湖博物館，講師。
- 2018年6月2日，講義「水環境保全：外来水生植物と藻の対策」。守山市環境学習会（守山市環境生活部環境政策課），川田自治会公民館（滋賀県守山市），講師。
- 2018年6月3日，開会時あいさつ。第2回瀬田川流域クリーン作戦，瀬田唐橋東詰（滋賀県大津市），解説者（自然環境保全課職員と共同）。
- 2018年6月3日，現場解説。オオバナミズキンバイの緊急駆除（滋賀県自然環境保全課・草津市環境政策課），浮舟水質浄化施設（滋賀県草津市），講師。
- 2018年6月7日，講演「ナガエツルノゲイトウの生態・発生状況について」。特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」対策会議（滋賀県湖北農業農村振興事務所農産普及課），滋賀県湖北農業農村振興事務所（長浜市），講師。
- 2018年6月9日，オオバナミズキンバイの除去作業支援および活動に関する講評。赤野井湾クリーン作戦（赤野井湾再生プロジェクト），赤野井港湾および周辺の赤野井湾（滋賀県守山市），講師。
- 2018年6月30日，開会時挨拶およびジェットポンプを用いたオオバナミズキンバイの効果的な駆除手法の指導・実演。第3回瀬田川流域クリーン作戦，瀬田川とくに稲津川合流点周辺（大津市），解説者（滋賀県自然環境保全課職員と共同）。
- 2018年7月1日，湖岸の石組み護岸でのオオバナミズキンバイ・ナガエツルノゲイトウの駆除活動の技術支援。外来水生植物駆除作戦（国際ボランティア学生協会），湖岸緑地志那1（滋賀県草津市），解説者（滋賀県自然環境保全課職員と共同）。
- 2018年7月26日，狼川における生物調査の指導と結果総括。湖南企業いきもの応援団第34回調査会，狼川および草津市南笠東公民館（滋賀県草津市），講師。
- 2018年7月27日，研究発表会の内容に関する助言・指導。守山市立守山中学校科学部発表会，琵琶湖博物館，指導・助言者。
- 2018年7月28日，オオバナミズキンバイの生態・影響の解説と駆除の実演。観察会「オオバナミズキンバイの駆除と湖岸の自然」（滋賀県いきものふれあい室），橋爪樋門周辺（滋賀県高島市），講師。
- 2018年8月1日，ナガエツルノゲイトウ駆除作業の技術指導。ナガエツルノゲイトウ駆除作業（滋賀県湖北農業農村振興事務所農産普及課），長浜市内の水田地帯（滋賀県），講師。
- 2018年8月4日，松元ダムのいきものたち、特に外来魚に関する講義。松元ダム自然体験学習・外来魚駆除活動，（水土里ネットまつもと），松元ダム（鹿児島市），講師。
- 2018年8月8日，外来魚解剖の補助。夏期研修会（滋賀県小学校教育研究会環境教育部会），琵琶湖博物館，講師。
- 2018年8月9日，外来水生植物の生育現状の確認と緊急駆除の指導。外来水生植物緊急駆除（滋賀県自然環境保全課・東近江市生活環境課・近江ウエットランド研究会），大淵湖（滋賀県東近江市），指導員。
- 2018年8月15日，講義「滋賀県・琵琶湖における自然環境保全」および展示案内。“滇池学生河長”赴日本学習交流訪問団研修（大象自然教育），琵琶湖博物館，講師。
- 2018年8月22日，琵琶湖博物館の展示案内。びわっこ大使世代間交流プログラム（（公財）国際湖沼環境委員会事務局），琵琶湖博物館，講師。
- 2018年8月23日，プランクトンの採集と観察および外来魚釣り解剖。夏休み宿題応援企画「びわ湖の水といきものたち」（コープしがびわ湖\*たいせつ活動），琵琶湖博物館および琵琶湖岸，講師。
- 2018年9月1日，展示解説。JICA研修「ベトナム・クアンニン省ハロン湾グリーン成長プロジェクト」本邦研修（（公財）国際湖沼環境委員会），琵琶湖博物館，講師。
- 2018年9月8日，開会あいさつ。瀬田川流域クリーン作戦，瀬田唐橋東詰（大津市），指導員。
- 2018年9月8日，琵琶湖と人々の暮らしの関わりに関する展示解説。琵琶湖博物館訪問研修（草津市民の招聘によ

- るアメリカ国際大学バングラデシュ学生), 琵琶湖博物館, 講師.
- 2018年9月18日, オオバナミズキンバイの駆除に関する解説および活動支援. 職員参加オオバナミズキンバイ駆除活動((独)水資源機構琵琶湖開発総合管理所), 新浜ビオトープ(滋賀県草津市), 講師.
- 2018年10月10日, 建設機械によるオオバナミズキンバイ駆除の解説. オオバナミズキンバイ等駆除見学会(滋賀県自然環境保全課), 新浜ビオトープ(滋賀県草津市), 解説員.
- 2018年10月13日, 環境学習講義「琵琶湖の外来植物について」. MS & AD インシユアランスグループ「象徴的な環境取組〜ラムサール条約登録湿地保全活動:『琵琶湖』における外来魚駆除(釣り)」, 大津港(大津市), 講師.
- 2018年10月20日, 湖南企業いきもの応援団「狼川の魚たち」水槽の解説作成. 南笠東学区合同フェスタ, 草津市南笠東公民館(滋賀県), 活動支援協力者.
- 2018年10月21日, ミーティングの司会・進行, 海外の水辺保全に取り組む専門家と交流しよう! 活動交流ミーティング((公財)国際湖沼環境委員会), 草津市立市民交流プラザ中会議室(滋賀県), コーディネーター.
- 2018年10月22日, 狼川における生物調査の指導と結果総括. 湖南企業いきもの応援団第35回調査会, 狼川および草津市南笠東公民館(滋賀県), 講師.
- 2018年10月23日~24日, エコツアーの企画・運営. 関西の活かしたい自然エリア「紀伊半島とその沿岸」和歌山県・徳島県エコツアー体験学習(関西広域連合), 和歌山県立自然博物館・和歌浦干潟・玉津島神社(和歌山市)・吉野川河口干潟(徳島市)・吉野川第十堰(徳島県石井町)・佐藤阿波藍製造所・本藍染矢野工場(同藍住町)・大西陶器(同鳴門市), 主催者.
- 2018年10月27日, 講義「びわ湖の環境問題・外来魚について」. 自然体験イベント「いま、自然を考える:びわ湖の外来魚を釣り上げよう!」(JAF 滋賀支部), 湖岸緑地志那2(滋賀県草津市), 講師.
- 2018年10月28日, 魚類の採集支援および解説. お魚里帰り大作戦2018((独)水資源機構琵琶湖開発総合管理所), 新浜ビオトープ(滋賀県草津市), 講師.
- 2018年11月1日, 琵琶湖博物館における環境教育に関連した展示解説. 平成30年度JICA研修「水資源の持続可能な利用と保全のための総合的湖沼・河川・沿岸流域管理」コース((公財)国際湖沼環境委員会), 琵琶湖博物館, 講師.
- 2018年11月3日, 講義「淡海の生きもの~にぎわいとつながりを未来へ~」. 2018年度「立命館びわこ講座」(立命館大学), 立命館大学びわこ・くさつキャンパスコラーニングハウス(滋賀県草津市), 講師.
- 2018年11月8日, 現地調査、助言および意見交換会. 2018年秋季オオバナミズキンバイ・ナガエツルノゲイトウの繁茂状況確認調査(美しい手賀沼を愛する市民の連合会), 手賀沼(千葉県我孫子市・柏市), 調査員・アドバイザー(農研機構・嶺田拓也氏、千葉中央博・林 紀男氏と共同).
- 2018年11月8日, 現地調査. オオバナミズキンバイ生育状況確認調査(ミュージアムパーク茨城県自然博物館), 手野町地先樋門(茨城県土浦市), 調査員・アドバイザー(茨城自然博・池澤広美氏・伊藤彩乃氏と共同).
- 2018年11月10日, 話題提供「“さくら湖”での外来魚問題への取り組み」およびパネルディスカッション. さくら湖自然環境フォーラム2018 公開シンポジウム「さくら湖ができて20年でわかったこと」, 三春交流館「まほら」まほらホール(福島県三春町), パネリスト.
- 2018年11月14日. 魚のゆりかご水田における魚類の生態に関する解説. 日本農業遺産・世界農業遺産認定評価委員現地視察(滋賀県農政水産部農政課), 須原魚のゆりかご水田(滋賀県野洲市), 解説員.
- 2018年11月18日, 開会あいさつ(世界湖沼会議の紹介). 瀬田川流域クリーン作戦, 瀬田唐橋東詰(大津市), 指導員(滋賀県自然環境保全課職員と共同).
- 2018年11月23日, 講義「琵琶湖博物館の紹介」、収蔵庫および展示案内. 自然環境保全京都府ネットワーク琵琶湖博物館視察, 琵琶湖博物館実習室2・収蔵および展示空間, 講師.
- 2018年11月25日, 開会あいさつおよび駆除作業の助言・指導. 瀬田川流域クリーン作戦, 瀬田唐橋東詰および瀬田川(大津市), 指導員(滋賀県自然環境保全課職員と共同).
- 2018年12月9日, 講義「琵琶湖オオバナミズキンバイの脅威」. 京都環境フェスティバル2018 ワークショップ・侵入特定外来生物マスターズ事業(京都府自然環境保全課), 京都パルスプラザ(京都市), 講師.
- 2018年12月9日, 地域博物館の運営・交流等に関する意見交換. JICA 博物館学コース研修員琵琶湖博物館研修(国立民族学博物館), 琵琶湖博物館, 講師(芦谷美奈子・ロビン J. スミスと共同).

- 2018年12月13日，滋賀県立大学オオバナミズキンバイ学内共同研究の進捗説明。滋賀県琵琶湖環境研究推進機構幹事会議，（一社）環びわ湖大学・地域コンソーシアム（大津市），説明員。
- 2018年12月25日，オオブサモ駆除作業への助言・指導。須原せせらぎの郷外来植物駆除作業，須原魚のゆりかご水田（滋賀県野洲市），助言者。
- 2019年1月16日，水陸両用作業船「浮き丸」によるオオバナミズキンバイ駆除作業の解説。「水陸両用作業船・浮き丸」現地説明会（琵琶湖外来水生植物対策協議会），浜分沼（滋賀県高島市），解説員。
- 2019年1月22日，外来魚駆除事業の評価および今後の課題に関する意見口述。平成30年度オンネトー湯の滝における外来魚駆除対策に係る評価会（環境省釧路自然環境事務所），足寄町役場（北海道足寄町），評価員。
- 2019年1月23日～24日，「琵琶湖システム」プレゼンテーションの助言。平成30年度世界農業遺産への認定申請に係る承認及び日本農業遺産の認定に関する二次審査（琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業推進協議会），農林水産省（東京都千代田区），発表資料作成の支援および口頭発表の助言・列席。
- 2019年1月26日，展示案内。平成30年度さくらサイエンスプラン交流事業招聘湖南省学校教員一行，琵琶湖博物館，講師。
- 2019年2月2日，講義「外来魚の現状と課題」およびパネルディスカッション参加。外来魚調査駆除活動報告会～外来種天国となっているオヶ原池はもとに戻るか～（生きもの会議：箕面生物多様性会議），箕面文化交流センター（大阪府箕面市），講師およびパネリスト。
- 2019年2月8日，多機能浚渫作業船「ウォーターマスター」によるオオバナミズキンバイ駆除作業の解説。多機能浚渫作業船を使ったオオバナミズキンバイ駆除現地説明会（琵琶湖外来水生植物対策協議会），津田江内湖（滋賀県草津市），解説員。
- 2019年2月14日，対策事業に関する質問に対する対応。琵琶湖外来水生植物対策協議会平成30年度第2回総会，（一社）環びわ湖大学・地域コンソーシアム（大津市），担当者。
- 2019年2月16日，話題提供「最近気になるバス釣り関係者の動向：侵略的外来水生植物と「釣り人さん」たち」。2018年度全国ブラックバス防除市民ネットワーク総会，（一財）自然環境研究センター（東京都墨田区），講師。
- 2019年2月27日，講義「Brief Introduction to Lake Biwa and the Lake Biwa Museum」および展示案内。平成30年度国際交流基金「中東・北アフリカグループ招へいプログラム」一行，琵琶湖博物館会議室および展示空間，講師。
- 2019年3月2日，冬季におけるオオバナミズキンバイ駆除作業への協力および助言・指導。第12回赤野井湾・小津袋クリーン作戦（認定NPO法人びわこ豊穰の郷），芦刈園水質浄化施設等（滋賀県守山市），作業協力者（滋賀県自然環境保全課職員と共同）。
- 2019年3月10日，現地指導および作業協力。ヨシ植栽地におけるオオバナミズキンバイ緊急駆除作業（国際学生ボランティア協会・滋賀県自然環境保全課・高島市環境政策課），深溝ヨシ植栽地（高島市），講師。
- 2019年3月20日，講義「Brief Introduction to Lake Biwa and the Lake Biwa Museum」および展示案内。琵琶湖博物館視察団（国立民族学博物館），琵琶湖博物館会議室・展示空間・おとなのディスカバリー，講師。

### 視察等への対応

- 2018年4月2日，オオバナミズキンバイ生育状況の現地案内，鰐淵衆議院議員一行，矢橋中間水路（滋賀県草津市）。
- 2018年4月3日，琵琶湖の外来種対策の紹介および常設展示等の案内，中華民国台北動物園・張東君氏一行，矢橋中間水路（滋賀県草津市）および琵琶湖博物館。
- 2018年4月27日，博物館の概要説明および常設展示等の案内，館長紹介，在大阪ベトナム総領事一行，琵琶湖博物館。
- 2018年5月10日，博物館の概要説明および常設展示の案内，中華人民共和国湖南省政府代表団，琵琶湖博物館。
- 2018年5月17日，挨拶および概要説明。世界農業遺産視察団（滋賀県農政水産部農政課随員），琵琶湖博物館。
- 2018年5月20日，博物館水族展示および屋外実験施設の案内，大阪市立大学理学部・幸田正典教授一行，琵琶湖博物館。
- 2018年7月11日，常設展示の案内，中華人民共和国湖南省視察団（琵琶湖環境保全財団），琵琶湖博物館。

- 2018年7月24日、館長との面談および常設展示の案内、河本晃利・環境省近畿地方環境事務所長一行、琵琶湖博物館。
- 2018年8月21日、オオバナミズキンバイの生育状況解説および琵琶湖博物館展示解説、笹川博義・環境大臣政務官一行、矢橋中間水路（滋賀県草津市）および琵琶湖博物館。
- 2018年8月23日、おとなのディスカバリーの案内、環境省生物多様性センター職員一行、琵琶湖博物館。
- 2018年9月2日、博物館の概要説明および常設展示の案内、中華人民共和国湖南省副省長一行、琵琶湖博物館。
- 2018年9月3日、ナガエツルノゲイトウ・オオバナミズキンバイの分布・生育・対策状況の解説、農業・食品産業技術総合研究機構研究員現地視察、愛西土地改良区・不飲川・新海地区（滋賀県彦根市）・南浜地区（長浜市）・蓮池・入江干拓地（米原市）・志那湖岸・矢橋中間水路（草津市）。
- 2018年9月6日、オオバナミズキンバイの生育状況の解説、総務省職員による補助金実施箇所の現地確認、矢橋中間水路（滋賀県草津市）。
- 2018年9月7日、オオバナミズキンバイの機械駆除解説および琵琶湖博物館展示解説、琵琶湖保全再生検討会、矢橋中間水路（滋賀県草津市）および琵琶湖博物館。
- 2018年9月15日、常設展示の解説、中華人民共和国中国科学院視察団、琵琶湖博物館。
- 2018年10月8日、常設展示の解説、インドネシアライオンズクラブ滋賀県視察団、琵琶湖博物館。
- 2018年12月13日、博物館展示・樹冠トレイルの案内、(独)国立科学博物館運営・施設整備調査一行、琵琶湖博物館。
- 2019年2月12日、多機能作業船ウォーターマスターの作業状況の解説、駒井千代滋賀県議会議員、津田江内湖（滋賀県草津市）。
- 2019年2月18日、オオバナミズキンバイの機械駆除作業の解説および琵琶湖博物館展示案内、参議院議員視察団、矢橋中間水路（滋賀県草津市）および琵琶湖博物館。
- 2019年2月27日、オオバナミズキンバイの生育場所の案内と対策事業の解説、環境省自然環境局生物多様性主流化室一行、琵琶湖南湖東岸各地（滋賀県草津市・守山市）。
- 2019年3月12日、収蔵庫等の案内、薩摩川内市甕ミュージアム恐竜化石等準備室職員、琵琶湖博物館（鈴木隆仁と共同）。

### メディアへの協力

- 2018年4月20日、NHKワールドJAPAN - News Line「Live from KANSAI: Shiga」、琵琶湖の外来魚対策の経緯・現状・課題に関する紹介・解説、琵琶湖博物館から生中継。
- 2018年4月20日、NHKワールドJAPAN - News Room Tokyo「Welcome to Lake Biwa, an Ecological Paradise」、琵琶湖のオオバナミズキンバイに関する解説、現地取材（3月31日：守山市赤野井湾岸）。
- 2018年5月22日、京都新聞「平成の県政 6・24 滋賀県知事選④ 国松善次知事(1998～2006)／反発越え「固有種を守る」、レジャー条例による外来魚リリース禁止の評価コメント、対面取材。
- 2018年7月16日、京都新聞「現場から：外来魚再放流依然多く／禁止知りつつ、「かわいそう」「回収手間」／琵琶湖で条例施行15年／県、掲示で地道なPR「特効薬ない」、レジャー条例による外来魚リリース禁止の評価コメント、対面取材。
- 2018年7月21日（配信記事解禁）、共同通信「平成をあるく20 外来生物法：バス駆除果てしなく／琵琶湖在来種に危機」、琵琶湖におけるブラックバス対策の経緯と現状およびオオバナミズキンバイ対策に関する現場案内と解説（7月21日東奥日報、秋田さきがけ、河北新報、福島民報、7月22日北日本新聞、佐賀新聞、7月24日デーリー東北、7月25日高知新聞、7月26日山梨日日新聞、7月27日北國新聞、7月28日中部経済新聞、徳島新聞、宮崎日日新聞、7月31日山形新聞、茨城新聞、8月1日隈本日日新聞、8月3日神奈川新聞、8月5日静岡新聞、8月6日新潟日報、8月19日山陰中央新報、8月20日山陽新聞、8月22日毎日新聞高知版、8月24日埼玉新聞、9月2日埼玉新聞、9月3日京都新聞、9月24日大分合同新聞、10月1日長崎新聞、10月17日大阪日日新聞、10月17日日本海新聞）、現地取材（6月21日：赤野井湾および瀬田浦クリーク）。
- 2018年9月18日、産経新聞（夕刊）「琵琶湖の外来魚ブルーギル謎の半減／環境異変起きた？成魚減っただけ？／県、実態調査へ予算案」、琵琶湖におけるブルーギルの駆除量減少に関するコメント、電話取材。

- 2018年10月2日, 京都新聞「オオサンショウウオ保護議論／6日から長浜で研究者や愛好家ら集い全国大会／木之本での活動報告」, 日本オオサンショウウオの会長浜大会での基調講演通知.
- 2018年10月6日, CBCラジオ「北野誠のズバリサタデー：今週のここ掘れニュース『琵琶湖でブルーギル激減』, 琵琶湖におけるブルーギル捕獲量の減少傾向に関するコメント, 生放送電話インタビュー.
- 2018年10月19日, 中日新聞滋賀版「高い侵略性「早く手を」／県内研究者琵琶湖の事例紹介」, 世界湖沼会議における琵琶湖のオオバナミズキンバイ対策の発表, 発表時現地取材.
- 2018年10月19日, 茨城新聞「2018世界湖沼会議：分科会終了 専門的視点、意見交わす」, 霞ヶ浦でのオオバナミズキンバイ早期対策呼びかけ, 発表時現地取材.
- 2018年10月25日, 読売新聞滋賀版「湖沼会議2018：オオバナ駆除現状議論」, 世界湖沼会議における霞ヶ浦でのオオバナミズキンバイ対策関係者のポスター発表での情報交換, 発表時現地取材.
- 2018年10月31日, 読売新聞「外来魚 どこへ行った？／4～7月 駆除量 昨年の半分以下／県、原因 緊急調査へ」, 琵琶湖におけるブルーギルの駆除量減少に関するコメント.
- 2018年11月2日, 京都新聞「恵みを守る 世界湖沼会議・茨城から ④つながる湖：外来魚や水草対策 共有」, 世界湖沼会議におけるオオバナミズキンバイ対策に関する発表および解説.
- 2018年11月20日, 読売新聞（夕刊）「湖から消えたか外来魚」, 琵琶湖におけるブルーギルの駆除量減少に関するコメント.
- 2018年12月22日, 中日新聞「よみがえれ琵琶湖・世界湖沼会議を振り返って5：湖魚のゆりかごを守れ／農業水路埋め尽くす「外敵」」, 須原魚のゆりかご水田に繁茂するオオフサモ対策に関するコメント, 現地取材.
- 2019年1月13日, 京都新聞「現場から：琵琶湖で大量繁茂 オオバナミズキンバイ／外来水草 地道に監視／わずかな再生の芽 警戒／巡回・駆除作業 同行」琵琶湖外来水生植物対策協議会による対策事業における巡回・監視の重要性を解説, 取材支援.
- 2019年1月16日, びわ湖放送「キラりん滋賀ニュース：水陸両用「浮き丸」：オオバナミズキンバイを駆除」. 浜分沼における水陸両用作業船を導入したオオバナミズキンバイ駆除に関するコメント, 現地取材.
- 2019年1月17日, 中日新聞「湖国の生態系を守れ／外来植物駆除の「新兵器」？／高島 水陸両用船が初投入」, 浜分沼におけるオオバナミズキンバイ駆除への水陸両用船の投入の目的に関するコメント, 現地取材.
- 2019年2月10日, 中日新聞「泥深い浅瀬の駆除OK／草津 外来植物作業船の見学会」, 津田江内湖におけるオオバナミズキンバイ駆除への作業船の投入の評価に関するコメント, 現地取材.
- 2019年2月21日, 朝日新聞科学面「外来魚の駆除 「地」と「知」の利／熱帯魚すむ「湯の滝」 沢水と雪投入／ダム段階放水、卵を日干しに／フェロモン仕掛け一網打尽」, 湯の滝での外来魚根絶の状況解説と全国的な外来種対策の解説, 電話取材.
- 2019年2月27日, びわ湖放送「キラりん滋賀ニュース：北アフリカの研究者が環境学ぶ」. 国際交流基金研修団一行への対応を取材, 取材協力.

#### 【情報整備活動】

##### 他の博物館・機関等の活動

張 東君 著「青蛙巫婆歷件險記：石頭變變變。」（小魯文化，台北，2018）へのタンガニーカ湖産カワスズメ *Lepidolamprologus attenuatus* の卵保護写真の提供.

#### 【資料整備活動】

##### 琵琶湖博物館の活動

液浸収蔵庫（魚類、貝類、両生類・爬虫類）、および動物収蔵庫（貝類），担当.

資料データベース 両生類・爬虫類，標本担当.

生きものふれあい室（滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課）廃止に伴う生物標本（哺乳類剥製、魚類液浸、昆虫乾燥等）・図書資料類，受け取り.

京都大学大学院理学研究科生物学教室生態学研究室（堀 道雄・前教授）から提供された魚類骨格標本，受け入れ、燻蒸.

非海産貝類標本の受け入れ，5件.

## 【展示活動】

### 琵琶湖博物館の活動

研究スタジアム分担コーナー「人工産卵装置」の製作・公開（2018年7月10日～）。

おとなのディスカバリーにおける「両生・爬虫類」および「陸生貝類」に関する展示コーナーの製作・公開（2018年7月6日オープン）。

モーニングレクチャー、講義、4回。

## 【企画調整課活動】

来館者アンケート、実施（2018年8月10日～12日、2019年3月23日～25日）。

国際交流関係の対応、担当。

琵琶湖博物館業績目録第22号および2018年度琵琶湖博物館年報、編集・発行担当。

滋賀県国際技術研修員（樊晶晶氏）の受け入れ、主担当者（2018年8月30日～12月22日）。

主な参加・体験・見学の対象として、琵琶湖南湖岸台風影響調査（9月5日）、総務省滋賀県視察（9月6日）、国際ボランティア学生協会琵琶湖外来植物除去大作戦（9月7日～9日）、琵琶湖保全再生検討会琵琶湖視察（9月7日）、高島市希少野生植物生育調査（9月8日）、琵琶湖博物館田んぼ体験・琵琶湖を戻す会外来魚釣り大会（9月9日）、生物多様性取組認証キックオフミーティング（9月14日）、フィールドレポーター定例会議（9月15日）、びわっ子大使家棟川体験活動（9月16日）、浜分沼外来水生植物緊急調査（9月17日）、はしかけ登録講座（9月23日）、滋賀県立大学外来水生植物処理用試料提供（9月26日）、インドネシア環境教育団共同ワークショップ（9月27日・28日）、新浜ビオトープ外来水生植物駆除見学会（10月10日）、水陸両用作業船業者高島市現地視察（10月12日）、第17回世界湖沼会議・霞ヶ浦（10月14日～19日）、東京大学博物館・環境省皇居外苑外来魚駆除事業（10月19日）、南笠東秋フェスタ（10月20日）、湖沼環境保全国際ミーティング（10月21日）、関西広域連合関西の残したい自然エリア（和歌山県・徳島県）エコツアー体験学習（10月23日・24日）、JAF 滋賀外来魚釣り大会（10月27日）、水資源機構お魚里帰り大作戦（10月28日）、琵琶湖博物館樹冠トレイルオープニングセレモニー（11月3日）、野洲市希少淡水貝生息確認（11月7日）、淡海湖水抜き補修現場・山門湿原保護区（11月11日）、須原魚のゆりかご水田世界農業遺産視察対応（11月14日）、瀬田川流域クリーン作戦・大阪自然史フェスティバル（11月18日）、平成30年度第11回「里湖づくり」湖底耕耘（11月19日）、琵琶湖環境科学研究センター琵琶湖定例調査（11月22日）、嘉田由紀子前滋賀県知事宅（11月23日）、南部下水処理センター・淡海環境プラザ・滋賀県立大学（11月30日）、守山漁協アユ漁解禁日出漁（12月1日）、米原市外来水生植物駆除新技術公開（12月3日）、草津市クリーンセンター（12月8日）、成果発表会・修業式（12月17日）、針江生水の郷（12月21日）など。

新任職員等研修、C展示室生きものコレクション「陸生貝類」「両生・爬虫類」「外来生物」の解説、2018年4月25日、琵琶湖博物館。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課生物多様性戦略推進室主幹を兼務（2014年4月～）

### 【海外渡航】

2018年7月16日～21日、The Alexandrian（アメリカ合衆国ヴァージニア州アレクサンドリア市）、「First International Symposium on Snakeheads」（アメリカ水産学会ヴァージニアチャプター主催）への参加および招待発表。

### 【館外の活動】

1997年度～、滋賀県生きもの総合調査委員会魚貝類部会 専門委員。

2003年5月～、滋賀県野生動植物との共生に関する検討会 外来種問題検討委員及び水生生態系部会員。

2016年度～2018年度，京都府外来種実態調査専門委員会 陸淡水産貝類担当委員。  
2018年1月～，京都府希少野生生物保全推進員。  
1997年度～，環境省希少野生動植物種保存推進員。  
2004年度～，環境省特定外来生物分類群専門家グループ（無脊椎動物）委員。  
2014年1月～，環境省特定外来生物分類群専門家グループ（魚類）委員。  
2015年度～2018年度，環境省アカミミガメ対策検討ワーキンググループ 委員。  
2014年度～，農林水産省東海農政局外来貝類被害防止対策検討調査連絡会 座長。  
2004年8月～2018年度，国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所河川保全利用委員会 委員。  
2012年度～，国土交通省東北地方整備局三春ダム管理所三春ダム外来魚研究会 座長。  
1999年2月～，（公財）リバーフロント研究所「河川水辺の国勢調査スクリーニング委員会底生動物スクリーニング・グループ 貝類担当委員。  
1999年10月～，（一財）水源地環境センター「河川水辺の国勢調査（ダム湖版）スクリーニング委員会底生動物スクリーニング・グループ 貝類担当委員。

水生双翅類昆虫の水辺環境への適応がどのように進化し、地理的に広がっていったのかについて、時間軸が導入できる分子系統学的手法と伝統的な比較形態学的手法を用いて解析し、その系統進化過程を解明することを目標として研究を行っている。この系統発生像に生物地理学的観点をも含めて考察し、世界の中での琵琶湖の成立過程や固有性を明らかにしようと考えている。

研究面では、外部研究資金である文部科学省の科学研究費補助金(科研費)を獲得した。当館が科研費を申請できる機関となった2002年に若手(B)が採択され、その後も研究代表者としての採択は通算5回目となり当館の学芸員のなかでは最多採択回数となった。今回採択された研究「アフリカ大陸における海洋性双翅目昆虫の分散と進化」の研究代表者として、2018年11月27日にナミビアの首都ウイントフックで開催された第9回国際双翅目会議にて口頭発表をした。また2018年11月17日から12月7日の間、ナミビアにおいて野外調査を行った。これらの地域に固有な種(未記載を含む)を多数採集できた。この他、日本各地で多数の水生双翅類標本が収集され、現在、標本作製やDNAの解析を行っている。水生昆虫の図鑑の執筆や洋書の蠅の本の監修を行い、専門家にとどまらず市民に向けて昆虫学の理解をすすめる活動を行った。

事業面では、展示係長として今まで開館以来の懸案であった問題を強いリーダーシップを発揮し館内をまとめ、本庁との協議も行い解決した。具体的には、第2期リニューアルがオープンした2018年7月6日から、総合受付とは別に新たにチケットブースが3台設置され、これより先のアトリウムが有料空間となった。ただし、ショップ、レストラン、質問コーナーの利用は、別途手続きにより無料利用できるように配慮した。これに伴い、「ディスカバリールーム」と新設された「おとのディスカバリー」が有料空間となり、常設展示に位置付けられ、それぞれD展示室、E展示室となった。この有料化問題は長年の懸案事項であり誰も手をつけられない問題であったが、展示係長として、また第2期リニューアルの総括として責任をもって完遂した。さらに展示交流員の配置ポストや仕事の効率化を計った。具体的には、8月4日から車イスとベビーカーの貸出手続きは、交流員が直接行っていたが、利用者のセルフサービスに変更した。10月13日からエスカレーター下の交流員のポストを廃止した。文字で見ると簡単なことと思えるが、長年続いてきた慣行を変更することには抵抗があり、これも館内での議論をまとめるのに苦労した課題であるが、リーダーシップを発揮し完遂させた。その後の状況は想定通りにスムーズに進み、展示交流員に喜ばれていることは何よりである。

第2期リニューアルでは総括として、全体を取りまとめ、2018年7月6日に「ディスカバリールーム」と「おとなのディスカバリー」を、11月3日には「樹冠トレイル」をオープンさせた。おとなのディスカバリーは、2002年にオーストラリアのシドニーの博物館で見た展示室に感銘を受け、ぜひ当館にも作りたいと考えたものが16年後に実現することができた。樹冠トレイルは、文部科学省の平成23年度学芸員等在外派遣研修の研修生に選ばれ、ロンドンにある大英自然史博物館(The Natural History Museum)に3ヶ月ほど滞在した際に、キューガーデン(Kew Gardens)で、Treetop walkwayを体感し、ぜひ当館でも作りたいと考え、館内の議論でリニューアルに必要な施設と位置づけ、2013年にまとめた新琵琶湖博物館創造ビジョンにそのアイデアを入れることができた。着想から6年後に樹冠トレイルとして実現させ、その人気も上々である。来館者に屋外展示を見学してもらうこと、そして琵琶湖湖岸を散策していただくことを当初より目指していたが、樹冠トレイルによりこれらがともに成功したことはなにより嬉しかった。また、樹冠トレイルから館内に再入館する際にはレストランが目前にあることで、レストランの利用者が増えることも狙いであったが、これも見事に的中し、レストランの利用が樹冠トレイルのオープン後に増加した。第2期リニューアルは、他の常設展示のリニューアルではなく、交流空間のリニューアルということで、専門家ではなく大変苦労したが、日本国内のみならず海外の博物館を数多く見学し、勉強した経験をもとに、館内をまとめ上げ、第2期リニューアルを完成させることができた。結果として第2期リニューアルはたいへん好評であり、博物館が賑わうこととなり、来館者数も第1期リニューアルを超える成果をあげることができた。

## 印刷物

### 【学術論文】

Masunaga, K. (2018) Taxonomic study of rocky shore flies of the genus *Cemocarus* Meuffels & Grootaert (Dolichopodidae) from South Africa. *9th International Congress of Dipterology (Windhoek, Namibia) - Abstract Volume*, 175.

### 【一般向けの著作】

柗永一宏 (2018) アシナガバエ科 Dolichopodidae. 河合禎次・谷田一三 (編), *日本産水生昆虫 科・属・種への検索 第二版*. 東海大学出版, 東京, 1557-1564.

柗永一宏 (2018) 湖岸より 318 おとなのディスカバリー. *中日新聞*, 6月9日.

エリカ・マカリスト (著)・柗永一宏 (監修)・鴨志田 恵 (翻訳) (2018) *蠅たちの隠された生活 (大英自然史博物館シリーズ)*. エクスナレッジ, 東京, 343p.

柗永一宏 (2018) びわ博 こだわり展示の裏話 28 「おとなのディスカバリー」誕生 構想から16年 思い形に. *毎日新聞*, 8月7日.

柗永一宏 (2018) ミュージアムクリップ おとなが楽しむ新しい展示室「おとなのディスカバリー」. *博物館研究*, 53(10) : 55.

柗永一宏 (2019) びわ博 こだわり展示の裏話 39 おとなのディスカバリーで広がる昆虫の世界, *毎日新聞*, 3月12日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

Masunaga, K. (2018年11月27日) Taxonomic study of rocky shore flies of the genus *Cemocarus* Meuffels & Grootaert (Dolichopodidae) from South Africa. 9th International Congress of Dipterology, ナミビア・ウイントフック, [口頭発表].

柗永一宏 (2019年1月24日) 研究と実社会のつなぎ方 ～博物館の取り組み. 九州大学大学院地球社会統合科学府リーディングプログラム授業, 理系OBの話を聞く会, 九州大学伊都キャンパス (福岡市), [口頭発表].

柗永一宏 (2019年2月15日) 南アフリカの岩礁海岸に生息するアシナガバエ科 *Cemocarus* 属について. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

科学研究費助成事業 (基盤 C) 「アフリカ大陸における海洋性双翅目昆虫の分散と進化」, 研究代表者 (2018～2020年度).

琵琶湖博物館専門研究「水生双翅目昆虫アシナガバエ科の分類学的研究」(2018年度).

### 【学会等の役職・運営, 論文の査読など】

日本昆虫学会, 電子化推進委員.

Zootaxa, 査読, 1件.

Zoosystematica Rossica, 査読, 1件.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，12件。

2018年8月27日，博物館での展示について，博物館実習，琵琶湖博物館，講師。

2018年8月27日，おとなのディスカバリーについて，博物館実習，琵琶湖博物館，講師。

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年6月2日，ホテルの生態について，環境講座「ホテルの鑑賞会」（栗東市教育委員会生涯学習課），林公民館（滋賀県栗東市），講師。

#### 視察対応

2018年9月16日，第2期リニューアルの視察，エデュネット。

2018年10月17日，常設展示等の視察，茨城県立歴史館。

#### メディアへの協力

2018年8月10日，大阪テレビ「やさしいニュース」，親子で楽しめる自由研究スポット，生放送インタビュー。

2018年8月21日，京都テレビ「おやかまっさん」，リニューアルした琵琶湖博物館，生放送インタビュー。

2018年12月8日，びわ湖放送「テレビ滋賀プラス1」，リニューアルで魅力がUP！～滋賀県立琵琶湖博物館～おとなのディスカバリー案内，（2018年11月7日取材対応）。

2019年3月8日，サンライズ出版「情報誌 Duet 131号」，特集「第2期リニューアルについて」，取材インタビュー。

### 【情報整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

昆虫液浸標本データベース，維持管理。

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

液浸収蔵庫維持管理，担当。

日本産の昆虫の収集・整理（液浸，乾燥とも），500件。

クエリーの質問対応，昆虫に関する質問への回答。

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

2018年度，C展示室「これからの琵琶湖」コーナー，展示更新と維持管理。

2018年度，E展示室「おとなのディスカバリー」，維持管理。

2018年度，研究最前線更新，2回。

モーニングレクチャー，講義，4回。

### 【企画調整活動】

新任職員等研修，展示事業について，講師，2018年4月18日，琵琶湖博物館。

新任職員等研修，C展示室これからの琵琶湖，講師，2018年4月25日，琵琶湖博物館。

交流員研修，おとなのディスカバリー，講師，2018年7月3日，琵琶湖博物館。

#### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

第2期リニューアル 展示交流空間リニューアル, 総括.  
第2期リニューアル おとなのディスカバリー, 主担当.  
第2期リニューアル 受付アトリウム, 主担当.

#### 【広報営業活動】

資料提供, 2件.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

#### 【海外渡航】

2018年11月17日～12月7日, ナミビア野外調査, 科研費(研究課題: アフリカ大陸における海洋性双翅目昆虫の分散と進化(研究代表者: 榎永一宏)).

#### 【館外の活動】

2003年4月～, 滋賀県生きもの総合調査委員会昆虫類部会, 専門委員.  
2014年8月～, International Congresses of Dipterology, Members of the Council.

2018年度は、以下の研究を行った。ベルギーとルクセンブルクの研究者と共同で行っている非海洋性カイミジンコのグローバルチェックリストを完成させ、*European Journal of Taxonomy* 雑誌で出版した。日本の水田に生息する *Ilyocypris* 属 (シカクカイミジンコ属) の分類に関する研究を完成させ発表した。日本の水田に生息する Cyprinotinae 属 (コブカイミジンコ亜科) の分類に関する研究を開始した。アイスランドの研究者と共同で行っていたアイスランドの淡水カイミジンコに関する研究を完成させた。North American Neotoma Paleocology データベースの一環として、国際カイミジンコデータベースイニシアチブに参加した。チェコ (2ヶ月) と中国 (1年、現在進行中) から訪れている2人の大学生を指導した。

## 印刷物

### 【学術論文】

Meisch, C., Smith, R. J. and Martens, K. (2019) A subjective global checklist of the extant non-marine Ostracoda (Crustacea). *European Journal of Taxonomy*, 492: 1-135.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

Smith, R. J., Meisch, C. and Martens, K. (2018年8月8日) A subjective global checklist of the Recent non-marine Ostracoda (Crustacea). アジアカイミジンコ会議, 金沢大学 (金沢市), [口頭発表].

スミス, ロビン ジェームス (2018年10月19日) 世界の現存している淡水カイミジンコ (甲殻類) のチェックリストについて. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

スミス, ロビン ジェームス (2019年1月15日) NEOTOMA Ostracode Focus Group セミナーに参加 (オンラインテレビ会議を通じて).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

Zootaxa, 編集者.

Zootaxa, 査読, 1件.

Paleontological Research, 査読, 1件.

琵琶湖博物館学芸員の書いた論文等の英文添削, 数件.

カイミジンコの国際リサーチグループのコミュニケーションオフィスに選ばれた, 2017年8月28日～.

第3回アジアカイミジンコ会議, ホームページのデザインと作成, 2018年8月開催.

第3回アジアカイミジンコ会議, 運営, 2018年8月開催.

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「東アジアの田んぼに生息するカイミジンコの分類学的分析」(2018年度).

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2018年9月13日～2018年11月10日, カイミジンコの分類学, 講義・フィールドワーク.

2018年11月14日～2019年11月13日, カイミジンコの分類学, 講義・大学院生の指導.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### *琵琶湖博物館の主催行事*

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，12 件.

#### *視察等への対応*

2018 年 6 月 29 日，講義，高校生.

2018 年 11 月 1 日，講義，研修員.

2018 年 11 月 2 日，講義，研修員.

2018 年 12 月 9 日，展示案内，研究者.

### 【情報整備活動】

#### *琵琶湖博物館の活動*

英語版ホームページの更新，多数.

英語版ガイドブックの更新，1 件.

### 【資料整備活動】

#### *琵琶湖博物館の活動*

グループ会議など，係長，48 件.

設備の管理（維持，掃除など），係長，多数.

文書管理（掲載など），係長，多数.

マイクロアクアリウム の展示コーナー，清掃・管理，毎日.

### 【展示活動】

#### *琵琶湖博物館の活動*

モーニングレクチャー，講義，4 回.

共同研究においては、滋賀県の湖岸部にかつて存在したクリーク状の水田地帯の調査を行った。滋賀県の湖岸部は、琵琶湖総合開発事業による埋立や湖岸道路の整備、ほ場整備などによる開発が進んで現在に至るが、かつては複雑な入江をなし、琵琶湖から湖岸の水田まで縦横に水路が通じているクリーク状の水田地帯を構成していた。このようなクリーク状の湖岸水田が、いつ頃から、どのような動機で開発されてきたのかを明らかにすることを目的に調査を行った。

まず、中世から現在までの滋賀県の耕地面積の推移を示し、江戸時代前までに概ね耕地開発が進展、中世後期以降は、残り少ない余地である湖岸部に開発が及んだと考えられた。次に、滋賀県約1,500村（内湖岸約200村）の石高の変遷をデータベース化し、明治期の行政調査の結果と比較検討した結果、クリーク水田は中世に起源を持つが、近世の開発が過半を占め、その内半数程度が主要河川河口部の村に集中することがわかった。

クリーク水田の開発動機は、舟運、漁獲、肥料としての泥藻採取などに利するためと考えられるが、農業用水・排水の観点からは、治水目的と利水目的に分けて検討する必要がある。この手段として、明治初期に調査された滋賀県物産誌の村々の状況をデータベース化、地図化することで、滋賀県1,500村の江戸時代の水害・旱害の状況を可視化することとした。この結果と、明治大正時代の行政調査データ、郷土史、地元集落の聞き取り調査等を検討したところ、クリーク水田は治水よりもむしろ利水を重視し、村内で、比較的治水に有利な内陸の水田とのバランスを取り、干ばつ時の安全網の役割を期待したのではないかと仮説を得るに至った。

専門研究においては、逆水灌漑システムの持続可能性について、資料収集や聞き取り調査を実施し、現在も調査検討を継続している。主に、再生可能エネルギーの導入、畑作への転換、更なる節水の取り組み等について、その可能性を検討し、行政施策へ反映できる研究となるよう進めている。

事業活動では交流担当として、はしかけ制度全般の運営を担当した。工房を中心に田んぼ体験教室を9回企画し、延べ221名の参加者に水稲作と暮らしに関する体験、田んぼの生きものに触れる機会を提供し、参加者との交流を深めることができた。地域連携では、館内において、1件の講演・講師等を行った。新琵琶湖博物館創造室では、主にリニューアル展示工事の積算業務を担当した。

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

下松孝秀（2018）湖岸より 330 博物館フェス2018. *中日新聞*, 11月10日.

下松孝秀（2018）魚のゆりかご水田の取り組みについて. *ヨシでびわ湖を守るネットワーク通信*（株式会社コクヨ工業滋賀）, 31:1-2.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

下松孝秀（2018年6月3日）琵琶湖逆水灌漑の成立過程について. 琵琶湖博物館研究報告会, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

下松孝秀（2018年10月14日）琵琶湖逆水灌漑の成立過程について. 第68回地域農林経済学会大会, 東京農業大学世田谷キャンパス（東京都世田谷区）, [口頭発表].

下松孝秀（2018年12月21日）クリーク状の湖岸水田の発達過程について. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクトへの参加】

琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖逆水かんがいの歴史の変遷と持続可能性に関する調査」(2018年度).  
琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖南湖において沈水植物の量を適正化するための条件探索」(研究代表者:芳賀裕樹),  
共同研究者(2018年度).

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 10件.

はしかけ制度運営総括, 琵琶湖博物館, 担当.

2018年4月～2019年3月, 体験教室 田んぼ体験, 琵琶湖博物館, 担当, 6件, (中川 優と共同).

2018年11月17日・18日, びわ博フェス2018, 琵琶湖博物館, 担当.

#### 他の博物館・機関等主催行事

2018年9月28日・10月5日, 滋賀県の農業・農政について, 龍谷大学農学部学生, 琵琶湖博物館, 講師, 2件.

#### 視察等への対応

2019年3月29日, 世界農業遺産申請関係展示案内, 国連大学研究員他.

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

生活実験工房, 田畑の維持管理.

モーニングレクチャー, 講義, 4回.

### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

第3期リニューアル 展示委託業務積算作成, 担当.

第3期リニューアル 展示工事積算作成, 担当.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2018年度, 滋賀県農政水産部耕地課企画・技術管理担当, 主幹を兼務.

専門研究は、琵琶湖のアユの初期成長とその間の琵琶湖環境の関係をテーマとして行っている。アプローチとしては、耳石を用いた成長解析から日間成長量や成長パターンを算出し、それらをプランクトン量や水理状況、気象状況などと対比させることから両者の関係を見出す手法をとっている。

耳石情報から魚類の成長解析を行う場合、耳石径と体長の関係式が必要である。しかし、アユについては耳石径と体長の関係式やその精度、耳石径の計測部位などについて十分に検討されていない。

今年度は、耳石と体長の関係式を検討したのち、それを用いて、これまでに収集した耳石サンプル（1997～2005年）から体長を推定する作業を行った。

事業では、広報営業係として取材対応などを行った。交流サービス事業として、琵琶湖の水産業についての講師を務めた。水族展示業務として展示魚類等の手配、運搬を行った。また、水族展示に係る飼養許可や動物採集許可の手続き等を行った。

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

片岡佳孝（2018）琵琶湖の魚たち アユは「耳石」で誕生日を特定. *産経新聞*, 11月10日.

片岡佳孝（2018）琵琶湖の魚たち エラに特徴 ゲンゴロウブナ. *産経新聞*, 12月9日.

片岡佳孝（2019）琵琶湖の魚たち おいしいホンモロコ 努力実り資源回復中. *産経新聞*, 3月24日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

片岡佳孝（2018年10月19日）琵琶湖におけるアユの耳石を用いた成長解析. 琵琶湖博物館セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖におけるアユの耳石を用いた成長解析」（2018年度）.

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2018年10月17日・24日, 龍谷大学, 「びわ湖・滋賀学（滋賀の水産）」.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 12件.

2018年6月10日, みんなで湖魚料理をつくろう! (コアユ・シジミ編), 博物館で楽しもう!, 琵琶湖博物館, 講師.

2018年7月28日, 初心者のためのふなずし作り体験, 博物館で楽しもう! 琵琶湖博物館, 講師.

2018年11月4日, みんなで湖魚料理をつくろう! (秋のプレミアム編), 博物館で楽しもう!, 朝日漁業協同組合

集会所（滋賀県長浜市），講師.

**他の博物館・機関等の主催行事**

2018年11月10日，守山市湖岸清掃運動. 出前講座（滋賀県・守山市環境生活部環境政策課），赤野井湖岸（滋賀県守山市），講師.

**視察等への対応**

2018年12月6日，フィールドトリップ，韓国国立洛東江生物資源館研究者，滋賀県水産試験場.

**【資料整備活動】**

**琵琶湖博物館の活動**

水族展示維持管理，担当.

魚類の病気や水質維持，担当.

**【展示活動】**

**琵琶湖博物館の活動**

水族展示維持管理，担当.

モーニングレクチャー，講義，4回.

展示交流員と話そう，内容指導.

研究のテーマは、少花粉ヒノキのミニチュア採種園維持管理方法の確立と耐雪性スギの品種開発。スギ・ヒノキ等の林木育種は、林業種苗法により行政機関が担っている。滋賀県では、スギのミニチュア採種園による少花粉品種の種を採取して増やす方法が実用化されているが、ヒノキについては未だ管理方法が確立されておらず、試験段階となっている。本研究では、ミニチュア採種園の維持管理には欠かせない強剪定に耐えうる手法を確立するための試験を行った。ミニチュア採種園は、圃場を4区画に分け、1年ごとに、剪定、植物ホルモン接種、採種、養生と4年で1周するサイクルで育成を行う。今回の試験では、全面剪定と部分剪定の2種類の方法を実施し、懐枝の発生と実生の収穫量について比較を行う。

また、昨年度のテーマであった森林環境学習「やまのこ」事業における学習プログラムについての検討についても、引き続き研究を続けており、今年度については児童の感動文を用いた事業評価の試行研究を行った。

事業としては、野洲市大篠原の里山周辺で体験教室を四季を通じて4回企画運営した。また、展示交流員の現地研修を実施した。また、ディスカバリールームの植物の香り展示の展示物作成、大人ディスカバリーの植物展示の展示補助などを行った。

担当している、はしかけ里山の会では、里山体験教室の開催しない月に独自活動を実施しており、この活動に支援をしてきた。

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

山本綾美 (2018) 森林環境学習「やまのこ」事業指導者研修会. 普及センターだより (滋賀県森林政策課), 1:2.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

山本綾美 (2018年12月21日) 森林環境学習「やまのこ」事業における学習プログラムの検討. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

山本綾美 (2019年3月8日) 森林環境学習「やまのこ」事業における学習プログラムの検討. 滋賀県森林政策課, 滋賀県林業普及センター(野洲市). [口頭発表].

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 3件.

はしかけ運営「里山の会」, 担当, 7件.

はしかけ登録講座, 運営.

2018年4月22日, 里山の春を楽しむ, 里山体験教室, 野洲市大篠原, 企画運営, (はしかけ里山の会共同).

2018年7月16日, 里山の夏を楽しむ, 里山体験教室, 野洲市大篠原, 企画運営, (はしかけ里山の会共同).

2018年10月14日, 里山の秋を楽しむ, 里山体験教室, 野洲市大篠原, 企画運営, (はしかけ里山の会共同).

2018年1月20日, 里山の冬を楽しむ, 里山体験教室, 野洲市大篠原, 企画運営, (はしかけ里山の会共同).

### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年6月17日、森から考える人の暮らしのいまむかし、三井寺オーガニックマーケット実行委員会、三井寺境内野外ステージ（大津市），講義.

2018年9月16日、森から考える人の暮らしのいまむかしその2、三井寺オーガニックマーケット実行委員会、三井寺野外特設ステージ（大津市），講義.

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

いきものコレクション「植物分野」，展示補助.

2018年5月22日、森の歴史と恵みを学ぶ，展示交流員現地研修，野洲市北桜および野洲市.

### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

第2期リニューアル ディスカバリールーム「におってみよう、さわってみよう」，展示物製作.

第3期リニューアル B展示室 森ゾーン，準備.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2018年度、滋賀県琵琶湖環境部森林政策課（林業普及センター），兼務.

### 【館外の活動】

2018年4月～2019年3月，甲賀愛林クラブ役員，女性部部长.

2018年4月～2019年3月，甲賀木の駅運営委員会，役員・事務局.

2018年4月～2019年3月，くでじゅう甲賀，役員.

2018年4月～2019年3月，くぬぎの森自然遊び広場&山の学校，代表.

琵琶湖とその集水域に生息するプランクトンやベントス、付着生物をはじめとした微小生物の生態、分類、分布に関する研究を行っている。目に見えないほど小さなこれらの生物は琵琶湖の生態系の根幹を成す生物相を形成しており、琵琶湖の生物多様性を語るうえで欠かせない存在である。

今年度は、専門研究として「微小生物の効率的、安定的な維持、培養条件を探る」を行った。琵琶湖博物館ではマイクロアクアリウムで微小生物の展示を行っている他、研究室においても実験用に繊毛虫やミジンコをはじめとした微小生物を多数飼育している。しかしながら、主に琵琶湖に見られる大型ミジンコであるノロや、琵琶湖で記載された特殊なツリガネムシなど、展示に耐えるレベルで培養、飼育ができていない種は多くない。

また、微小生物においては、急激に培養状況が不安定になることがあり、より安定的に飼育する手法の確立が求められている。

特にミジンコ類に関しては夏場には水槽の酸欠により、冬場は水温の低下により長期飼育が著しく困難であった。夏場は水の常時冷却が困難であったため、保冷剤による一時的な冷却装置を作成し、冬場はパネルヒーターによる保温を行うことで、特に夏場は数日に入れ替えを行う必要のあったものが、一年を通じて入れ替え無しで展示することに成功した。ミジンコの寿命を考慮すると厚さ 1cm の水槽内で、オカメミジンコの継代飼育に成功したと言える。

共同研究「微小な生物をもちいた交流プログラムの開発」では実際にマイクロバーにて来館者にプランクトンを探してもらった「プランクトンビンゴ」、および「プランクトン探し」を行い、一般の方に微小生物に興味を持ってもらい、自発的に探して見てもらうためにはどのような手法が効果的かの検討を行った。

事業では、プランクトン実習を主に行い、イベントとして、「プランクトンでビンゴ」や「マイナス 80 度からよみがえった微小生物を観察しよう」を行い、微小生物の耐久性と、それを利用した分散について広く発信した。マイクロアクアリウムでは、夏のマミズクラゲ展示を行った。

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

鈴木隆仁 (2018) びわ博 こだわり展示の裏話 23 マイクロバー 湖水“カクテル”でミジンコ観察. *毎日新聞*, 5月15日.

鈴木隆仁 (2018) 湖岸より 323 小さな生きものたちの日常をのぞいてみよう. *中日新聞*, 8月11日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

鈴木隆仁 (2018年8月17日) 湿地帯のイタチムシ. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「微小生物の効率的、安定的な維持、培養条件を探る」(2018年度).

琵琶湖博物館共同研究「微小な生物をもちいた交流プログラムの開発」(研究代表者: 松田征也), 副代表者 (2016年度~2018年度).

科学研究費助成事業 (基盤 C) 「淡水棲マミズクラゲの性決定の謎を追う」(研究代表者: 小林千余子), 研究分担者 (2016年~2019年)

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，10件。

はしかけ運営「田んぼの生きもの調査グループ」，担当。

はしかけ運営「琵琶湖の小さな生きものを観察する会」，副担当。

2018年6月9日，プランクトンを見よう，わくわく探検隊，琵琶湖博物館，講師。

2018年7月31日，プランクトン班，自然調査ゼミナール，琵琶湖博物館，指導。

2018年8月25日，マイナス80度から生還した微小生物，博物館で楽しもう！琵琶湖博物館，実習担当。

2018年9月29日，プランクトンでビンゴ，博物館で楽しもう！琵琶湖博物館，実習担当。

2018年12月15日，プランクトンでビンゴ，琵琶湖博物館マイクロアクアリウム，担当。

2019年3月3日，プランクトンでビンゴ，琵琶湖博物館マイクロアクアリウム，担当。

2019年3月9日，プランクトンをみつけてみよう，琵琶湖博物館マイクロアクアリウム，担当。

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年4月21日，琵琶湖博物館について。大阪大学フレッシュマンリトリート，琵琶湖博物館，講師。

2018年4月26日，イカ解剖実習。豊中高校SSH，大阪府立豊中高等学校（豊中市），講師。

2018年5月12日，ロケット教室。くさつ未来プロジェクト，琵琶湖博物館，対応担当。

2018年6月23日，プランクトン実習。桃山学院大学博物館実習，琵琶湖博物館，講師。

2018年6月24日，プランクトン実習。京都女子大学博物館実習，琵琶湖博物館，対応担当。

2018年7月15日，びわこまるっと親子セミナー（ILEC 近畿ろうきん），琵琶湖博物館，対応担当。

2018年7月25日，ロケット教室。くさつ未来プロジェクト，琵琶湖博物館，対応担当。

2018年7月30日，プランクトン実習。大阪府立三国ヶ丘高校，琵琶湖博物館，実習担当。

2018年8月18・19日，原生生物学会若手の会ワークショップ。原生生物学会若手の会，琵琶湖博物館，講師。

2018年9月8日，ロケット教室。くさつ未来プロジェクト，琵琶湖博物館，対応担当。

2018年10月17日，プランクトン実習。滋賀県立河瀬中学校，琵琶湖博物館，実習担当。

2018年11月11日，プランクトン実習。自然大学，琵琶湖博物館，実習担当。

2018年11月25日，プランクトン実習。豊中高校SSH，大阪府立豊中高等学校，琵琶湖博物館，講師。

2018年11月25日，プランクトン実習。関西大学博物館実習，琵琶湖博物館，実習担当。

2019年1月25日，プランクトン実習。JICA 研修一行，琵琶湖博物館，実習担当。

2019年3月17日，高校生による地域に根差した課題研究。琵琶湖博物館，コメンテーター。

#### メディアへの協力

2019年3月31日，びわ湖放送「なるほどミュージアム滋賀」，目に見えないイタチがいた，（2018年3月11日取材対応）。

### 【情報整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

学芸員個人ページ 更新。

新空間ページ 更新。

PC リース 更新

情報機器更新 補助

新規ホームページ作成 副担当

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

標本の貸し出し期間更新 2件.

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

モーニングレクチャー, 講義, 4回.

2018年度水族展示マイクロアクアリウム, 展示更新.

### 【企画調整活動】

新任研修, 主担当.

平成30年度博物館実習, 主担当.

移動博物館, 主担当.

移動博物館, 2018年7月7日, 地方とつながる出会いの場! (滋賀県市町振興課), 東京, 貸出.

移動博物館, 2018年7月11日~9月3日, 鵜と鮎のひみつ (JNF うかいミュージアム), 長良川うかいミュージアム貸出.

移動博物館, 2018年8月4日~5日, BIWAKO湖フェス2018 (日本財団), サンシャインビーチ, 対応担当.

移動博物館, 2018年9月19日, 博物館夏祭り (博物館夏祭り実行委員会), Viva City彦根, 対応担当.

移動博物館, 2018年11月11日~12日, 滋賀県・湖南省友好提携35周年記念事業 平和堂物産観光フェア (滋賀県観光交流局), 平和堂中国一号店(中国湖南省), 貸出.

移動博物館, 2019年1月16日~2月17日, トンボ100大作戦 ~滋賀のトンボを救え~ (琵琶湖博物館), 琵琶湖博物館, 利用.

移動博物館, 2019年2月9日, つながる滋賀 移住・交流フェア2019 in 大阪 (滋賀県市町振興課), 難波御堂筋ホール, 貸出.

移動博物館, 2019年2月17日, 第4回いいね! 地方の暮らしフェア (滋賀県市町振興課), 池袋サンシャインシティ, 貸出.

移動博物館, 2019年3月16日 SDGs 学生大会 (琵琶湖博物館), 滋賀県立大学, 対応担当.

### 【研究部関連事業】

日韓合同セミナー, レセプション担当, 2018年12月4日~7日, 琵琶湖博物館.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

2018年4月~2019年3月, 大阪大学大学院理学研究科, 招聘研究員.

2018年度, ミュージアムショップおいでや 商品監修, パネル作成.

今年度は、第2期リニューアルの柱の1つであるおとなのディスカバリーの植物セクション担当として、展示棚をデザインした。季節ごとに植物の展示を変えることで、来館者が何度来館しても新しい発見ができるようにした。その際に、はしかけや博物館スタッフの力を借りて、幅広い植物展示を行った。また、企画展「化石林」とリニューアルした展示を合わせることで、より深い学びに誘えるように工夫をした。現在はしかけ・フィールドレポーターのメンバーの活動を展示に取り込めるように準備を進めている。

生態学領域の研究としては、琵琶湖岸に生育する海浜植物の保全と中でも絶滅危惧種に指定されている植物の種子更新の研究を行った。残念ながら、今年度は種子更新に関与すると考えていた昆虫の出現頻度が低く、十分な研究はできなかった。しかし、他の絶滅危惧種において、種子更新に関与する可能性のある動植物を発見することができた。本研究を通じて、多様な植生を維持する機構を考察する上での基礎情報を提供することが、博物館と研究を繋ぐことになると考えている。また、若手研究の予算で研究環境を整えるとともに、研究部関連事業として、新琵琶湖学セミナーを担当として、全3回とも参加定員の9割以上（そのうち1回は100%）を動員した。また、研究交流の一環として、二国間交流事業共同研究・セミナーにおいて、国立洛東江生物資源館との研究交流に奔走し、具体的な共同研究の足掛かりを作ることができた。

事業部交流係ではフィールドレポーターを担当した。今年は調査結果のレポートを国際的な場で発表するサポートをすることで、博物館活動の発信に貢献することができた。また、フィールドレポーターの試みについて講演することも増え、琵琶湖博物館の交流機能の増進に努めた。はしかけについては、新はしかけ琵琶湖梁山泊の種担当として、研鑽会を運営した。また、中高生の研究に助言をすることで、彼らの研究成果を出すことに貢献した。さらに、新はしかけを結成する準備を行い、来年度より琵琶湖岸に生育する海浜植物の保全を主としたはしかけの種担当として、研究と保全を実践していく予定である。

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

- 大槻達郎 (2018) 好奇心をもって自然や文化を眺めみると、必ず何か発見があります。発見を共有しましょう。琵琶湖博物館フィールドレポーター掲示板, 91 : 1.
- 大槻達郎 (2018) 第2期リニューアル、企画展、アキアカネ調査、やっぱり夏は面白い企画が盛りだくさんでした！琵琶湖博物館フィールドレポーター掲示板, 92 : 1.
- 大槻達郎 (2018) 湖岸より 328 太古の気候変動刻む化石林の記憶. *中日新聞*, 10月13日.
- 大槻達郎 (2018) びわ博 こだわり展示の裏話 31 植物で感じる季節感. *毎日新聞*, 10月16日.
- 松村順子・大槻達郎・大塚泰介 (編) (2018) びわはく 2. 琵琶湖博物館, 10p.
- 大槻達郎 (2018) 新年が始まります。今年も「フィールドへ出て発見を共有する」ことを積極的に進めていきましょう！琵琶湖博物館フィールドレポーター掲示板, 93 : 1.
- 大槻達郎 (2019) びわ博 こだわり展示の裏話 38 おとなのディスカバリーで学芸員も発見. *毎日新聞*, 2月26日.
- 大槻達郎 (2019) フィールドへ出て発見を共有する. 琵琶湖博物館フィールドレポーター掲示板, 94 : 1.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

- 大槻達郎 (2018年8月17日) 琵琶湖湖岸に生育する海浜植物の塩ストレスに対する生理応答. 琵琶湖博物館研究セミ

ナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

大槻達郎 (2018年9月4日) Isolated history of the coastal plant *Lathyrus japonicus* (Fabaceae) in Lake Biwa, an ancient freshwater lake. 二国間交流事業共同研究・セミナー, 国立洛東江生物資源館, (Gyeongsangbuk-do, Republic of Korea), [口頭発表].

Ohtsuki, T. (2018年12月5日) Recent colonization by a coastal plant of inland habitats at an ancient freshwater lake, Lake Biwa: multilocus sequencing and a demographic history of *Lathyrus japonicus* (Fabaceae). 二国間交流事業共同研究・セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

大槻達郎 (2019年3月8日) 海浜植物の種子に寄生するマメゾウムシの寄生率の変動. 日本植物分類学会第18回大会, 首都大学東京南大沢キャンパス (東京都八王子市), [ポスター発表].

大槻達郎 (2019年3月18日) Physiological differentiation inferred from germination rate between coastal and freshwater populations of the beach pea. 第66回日本生態学会大会, 神戸国際展示場 (神戸市), [ポスター発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館申請専門研究「琵琶湖湖岸に生育する絶滅危惧植物の種子更新の解明」(2018年度).

科学研究費助成事業(若手)「マメ科植物の地域適応に関与する根粒菌のゲノム進化-共生関係の創出維持機構の解明-」, 研究代表者(2018年度~2020年度).

科学研究費助成事業(基盤B)「東アジアの古代湖「琵琶湖」の固有種成立過程の解明のための総合的研究」研究者代表者:高橋啓一, 研究協力者(2018年度か~2023年度).

日本学術振興会二国間交流事業共同研究・セミナー「Freshwater Biodiversity and the Changes in Korea and Japan」(代表:亀田佳代子), 日本側参加者(2018年度).

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 8件.

フィールドレポーター, 主担当.

フィールドレポーター定例会, 27件.

フィールドレポーター掲示板, 4件.

フィールドレポーター便り, 2件.

はしかけ運営「緑のくすり箱」・「琵琶湖梁山泊」, 担当.

はしかけ運営「森人」・「植物観察の会」, 副担当.

はしかけ登録講座, 運営, 2件.

フィールドレポーター2018年度第1回調査「オオキンケイギクを調べよう」, 担当.

フィールドレポーター2018年度第2回調査「集まれ! モミジ(カエデ)の仲間たち」, 担当.

2018年5月19日, フィールドレポーター交流会, 琵琶湖博物館, 運営.

2018年11月17・18日, びわ博フェス2018, 担当.

2018年7月31日, 植物につく虫の種類, 自然調査ゼミナール, 琵琶湖博物館, 講師.

2018年11月10日, 秋の色探しをしよう! わくわく探検隊! 琵琶湖博物館, 講師.

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年5月12日, 博物館の仕事-交流活動を中心に-. 龍谷大学文学部博物館実習, 琵琶湖博物館, 講師.

2018年5月14日, 琵琶湖岸に生育する海浜植物の来歴とその保全. けやき教養塾 自然 びわ湖テラスから望むびわ湖(仰木の里公民館), 大津市木戸市民センター(滋賀県), 講師.

2018年7月29日, 滋賀県の植物, 博物館の学芸員に必要なスキル, キャンパスメンバーズを利用した博物館見学.

滋賀県立大学, 琵琶湖博物館, 講師.

2018年12月6日, 琵琶湖岸に生育する海浜植物の来歴とその保全. 平成30年度尾西北区生物地学研究会, 琵琶湖博物館, 講師.

2019年2月2日, 西の湖ヨシ刈り(ヨシでびわ湖を守るネットワーク・安土町商工会・東近江水環境自治協議会), 西の湖(滋賀県近江八幡市), 参加.

#### メディアへの協力

2018年8月10日, ZTV, 企画展「化石林」, 取材対応, (2018年8月13, 14, 15日).

#### 【資料整備活動】

##### 琵琶湖博物館の活動

植物標本整備, 収蔵庫維持管理, 担当.

植物収蔵庫清掃, 10回.

大掃除(C展示室), 実施.

植物さく葉標本寄贈受入, 1件.

防虫トラップ調査, 2回.

#### 【展示活動】

##### 琵琶湖博物館の活動

2018年度, 第26回企画展示「化石林ーねむる太古の森ー」, 副担当.

いきものコレクション「植物分野」, 主担当.

モーニングレクチャー, 講義, 4回.

おとなのディスカバリー展示入れ替え, 植物標本展示 2件, 植物細密画 2件, 植物写真パネル 5件, 植物写真(モニター) 3件, ハンズオン 2件, 季節の植物 10件, 植物交流棚 5件.

#### 【新琵琶湖博物館創造室活動】

第2期リニューアル ディスカバリールーム「にあってみよう・さわってみよう」, 副担当.

第2期リニューアル おとなのディスカバリー「植物分野」, 主担当.

#### 【研究部関連事業】

韓国国立洛東江生物資源館, 資料採集および共同研究うち合わせ対応, 2018年7月23日~27日, 琵琶湖博物館.

2018年度新博物館学セミナー「森と水辺の物語ー新しい歴史展示をつくるー」, 運営・実施, 主担当, 3回.

二国間交流事業 セミナー「日本と韓国における淡水生物の多様性と変遷」, 運営・実施, 副担当.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

#### 【館内の人事】

2018年度, びわはく, 編集委員.

#### 【海外渡航】

2018年9月3日~9月6日, 韓国 国立洛東江生物資源館, 二国間交流事業共同研究・セミナー「日本と韓国における淡水生物の多様性と変遷」の打ち合わせおよび研究交流.

#### 【館外の活動】

2018年6月10日~7月10日, 滋賀県に生育する絶滅危惧種(海浜植物)の種子の保存.

化石珪藻研究の分野で論文デビューをした。まず、千葉崇氏 (海上災害防止センター) の分類同定に協力する形で 2017 年から取り組んできた、北海道の当縁川河口域の過去 1,000 年間の湿原堆積物に含まれる研究成果が、共著論文として出版された。次に、小滝篤夫氏 (京都府立大学) から依頼を受けて研究していた京丹後市久美浜町蒲井の更新統の珪藻化石群集が、古海水準の指標となる *Pseudopodosira kosugii* を優占種として含んでいたことを偶然に発見したので、これも論文 (短報) として報告した。さらに富小由紀氏 (たんさいぼうの会) への同定指導の形で進めていた多賀町の蒲生層群の化石珪藻群集の研究も、第一報が受理され、現在、印刷中である。

その他の研究・交流活動も化石珪藻関連のものが多かった。日本珪藻学会研究集会では、東海層群・古琵琶湖層群・大阪層群の化石珪藻に関するシンポジウムを企画者の一人として開催し、東海層群と古琵琶湖層群のこれまでの珪藻研究をレビューして、琵琶湖博物館所蔵のサンプルに基づく新知見を加えて紹介した。また、米原高校地学部の生徒たちが、はしかけグループ「琵琶湖梁山泊」の活動の一環として、縄文時代の姉川に存在した堰止湖「小泉湖」の古環境研究に取り組んだので、その研究への助言指導も行った。

事業関連では、主として地域連携事業の連絡調整と、情報誌「びわはく」の編集を行った。今年度の地域連携事業の実績は約 100 件に達し、年度当初に想定していた目標とおおむね一致する件数となった。ただし私自身は、目安としての上限である月平均 1 件ぎりぎりの計 12 件 (大学の講義を含む) を担当することになったことが反省点である。「びわはく」は第 2 号から各号のテーマ性を押し出し、特集に紙面を割く構成とした。第 2 号は「琵琶湖の珪藻」特集として、特集記事の主著者を琵琶湖の固有種「スズキケイソウ」の新種記載者である辻彰洋氏 (国立科学博物館) に依頼して、自らも化石に関する記述を担当して共著者となった。また、2018 年に新種記載した「オウミノシズクケイソウ」の発見史を紹介する記事を書いた。第 3 号は「ビワマス」特集として、すでに全ての原稿を受領し、2019 年 6 月の出版に向けて出版準備を進めている。

「改訂版 田んぼの生き物全種リスト」をデータベースに移植し、2020 年までに増補更新をして公表する「田んぼの生き物全種リスト補完計画」を進めている。2019 年 3 月時点で、約 6,000 種までデータを増補するとともに、公開画面の準備を進めている。

今年も、琵琶湖地域で田んぼの生きものを研究している人たちを集めて、金尾滋史・鈴木隆仁らとともに「第 9 回 琵琶湖地域の水田生物研究会」を開催した。ポスター発表も含めて 36 題の発表、155 名の参加があった。

## 印刷物

### 【学術論文】

- Ohtsuka, T., Kitano, D. and Nakai, D. (2018) *Gomphosphenia biwaensis*, a new diatom from Lake Biwa, Japan: description and morphometric comparison with similar species using an arc constitutive model. *Diatom Research*, 33: 105-116. (オンライン版は前年度に報告済)
- Chiba, T., Nishimura, Y. and Ohtsuka, T. (2018) Fossil diatom assemblages during the last millennium in the Toberi River mouth area, Hokkaido, Japan. *Diatom (Japanese Society of Diatomology)*, 34: 8-29.
- Ohtsuka, T. (2018) LM and SEM observation of *Kurtkrammeria spicula* (Hust.) comb. nov. *Diatom (Japanese Society of Diatomology)*, 34: 49-50.
- 大塚泰介・芝崎美世子・富小由紀・小滝篤夫・高原光・林竜馬・安野敏勝 (2019) 京都府京丹後市の更新統の堆積環境の推定および日本海側更新統からの珪藻種 *Pseudopodosira kosugii* の初産出. *第四紀研究 (The Quaternary Research)*, 58: 57-63.

### 【一般向けの著作】

- 大塚泰介 (2018) 湖岸より 317 15 年越しの新種報告. *中日新聞*, 5 月 26 日.

- 大塚泰介 (2018) 生物多様性と3つの危機. 水の守り人マップ新聞, 海と日本プロジェクト in 滋賀県実行委員会, 11月.
- 辻 彰洋・大塚泰介 (2018) 琵琶湖の固有種スズキケイソウの進化の謎に迫る. びわはく, 2:1-4.
- 大塚泰介 (2018) はしかけさんが琵琶湖から見つけた珪藻が新種記載されるまで. びわはく, 2:5-6.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

- 佐藤晋也・大塚泰介 (2018年5月19日) ポスター発表. 日本珪藻学会第39回大会, 日本歯科大学新潟歯学部 (新潟市), [座長].
- 山本真里子・大塚泰介 (2018年5月20日) 干潟堆積物に生息する珪藻の植生一染色法と常法を用いて. 日本珪藻学会第39回大会, 日本歯科大学新潟歯学部 (新潟市), [口頭発表].
- 辻 彰洋・服部圭治・大塚泰介 (2018年5月20日) 固有種は世界汎布種の起源か?—スズキケイソウの起源. 日本珪藻学会第39回大会, 日本歯科大学新潟歯学部 (新潟市), [口頭発表].
- 大塚泰介・芝崎美世子・富 小由紀・小滝篤夫・高原 光・安野敏勝 (2018年5月20日) 本州日本海側の更新統から *Pseudopodosira kosugii* の初産出. 日本珪藻学会第39回大会, 日本歯科大学新潟歯学部 (新潟市), [ポスター発表].
- Tuji, A. and Ohtsuka, T. (25-30 June, 2018) Are endemic diatoms the origin of cosmopolitan diatoms? 25th International Diatom Symposium (International Society of Diatom Research), Seminaris & Botanical Garden (Berlin, Deutsch), [ポスター発表].
- 大塚泰介・北野大輔・中井大介 (2018年7月20日) はしかけさんが琵琶湖から見つけた珪藻が新種記載されるまで. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- 大塚泰介 (2018年10月19日) 生物分類学へのMT法の応用: 試論. 滋賀県試験研究機関研究発表会2018, 長浜バイオ大学ドーム (長浜市), [口頭発表].
- 根来 健・大塚泰介 (2018年10月27日) 琵琶湖産 *Fragilaria crotonensis* の群体のねじれについて. 日本珪藻学会第38回研究集会, 近畿大学医学部 (大阪府大阪狭山市), [口頭発表].
- 廣瀬孝太郎・大塚泰介 (2018年10月27日) ポスター発表. 日本珪藻学会第38回研究集会, 近畿大学医学部 (大阪府大阪狭山市), [座長].
- 後藤敏一・辻 彰洋・大塚泰介・廣瀬孝太郎 (2018年10月28日) 日本珪藻学会第38回研究集会シンポジウム「大阪層群・古琵琶湖層群・東海層群—珪藻から見えてくること」, 近畿大学医学部 (大阪府大阪狭山市), [企画運営].
- 辻 彰洋・服部圭治・大塚泰介 (2018年10月28日) 琵琶湖の固有種の紹介と分子系統解析から見た分岐年代. 日本珪藻学会第38回研究集会シンポジウム, 近畿大学医学部 (大阪府大阪狭山市), [口頭発表].
- 大塚泰介・服部圭治・富 小由紀 (2018年10月28日) 古琵琶湖層群と東海層群の珪藻化石. 日本珪藻学会第38回研究集会シンポジウム, 近畿大学医学部 (大阪府大阪狭山市), [口頭発表].
- 根来 健・大塚泰介 (2018年11月3日) ろ過閉塞原因生物 *Synedra* の再検討. 日本水処理生物学会第55回大会, 日本大学工学部 (福島県郡山市), [口頭発表].
- 大塚泰介 (2018年12月5日) 微生物の多様性と水田環境の多様性. 日韓合同セミナー「日本と韓国における淡水生物の多様性と変遷」(琵琶湖博物館・韓国国立洛東江生物資源館), 琵琶湖博物館, [コメンテーター].
- 大塚泰介・金尾滋史・鈴木隆仁 (2018年12月16日) 第9回琵琶湖地域の水田生物研究会 (琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態学会近畿地区会), 琵琶湖博物館, [企画運営].
- 掛橋竜祐・大塚泰介・倉林 敦 (2018年12月16日) 琵琶湖周辺の水田に現れた背中線をもつヌマガエルの遺伝的解析. 第9回琵琶湖地域の水田生物研究会 (琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態学会近畿地区会), 琵琶湖博物館, [ポスター発表].
- 大塚泰介・北野大輔 (2018年12月16日) 「田んぼの生き物全種リスト」補完計画の進行状況について (続報). 第9回琵琶湖地域の水田生物研究会 (琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態

学会近畿地区会), 琵琶湖博物館, [ポスター発表].

大塚泰介 (2019年3月16日) MT法 (Mahalanobis-Taguchi法) の珪藻同定への応用の試み. 日本藻類学会第43回大会, 京都大学 (京都市), [ポスター発表].

今井一郎・大塚泰介・宮下英明 (2019年3月17日) 日本藻類学会第43回大会シンポジウム「琵琶湖における藍藻類ブルームの現状と問題点, 対策と展望.」, 京都大学 (京都市), [企画運営].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「滋賀県におけるハッタミミズの分布地図・ポテンシャルマップの更新」(2018年度).

琵琶湖博物館共同研究『田んぼの生きもの全種リスト』の増補更新と公開システムの構築, 研究代表者 (2017年度~2020年度).

総合地球環境学研究所機関連携プロジェクトフルリサーチ「生物多様性が駆動する栄養循環と流域圏社会-生態システムの健全性」(研究代表者: 奥田 昇), 研究協力者 (2015年度~).

科学研究費助成事業 (基盤 B) 「鉍質土壌湿原の成立条件と生物群集の解明」, 研究代表者 (2015年度~2018年度).

科学研究費助成事業 (基盤 C) 「*Microcystis* の群体集積によるアオコ発生メカニズムの解明」(研究代表者: 朱 偉), 研究分担者 (2015年度~2018年度).

科学研究費助成事業 (基盤 C) 「付着藻類群集構造の色素分析による定量化とその変動要因の解明」(研究代表者: 吉山浩平), 研究分担者 (2017年度~2019年度).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本珪藻学会, Diatom, 編集委員, 2003年1月~.

日本珪藻学会, 運営委員, 2017年1月~.

関西自然保護機構, 運営委員, 2014年1月~.

日本藻類学会, Phycological Research. 査読, 1件.

日本水処理生物学会, 日本水処理生物学会誌, 査読, 1件.

日本プランクトン学会・日本ベントス学会, Plankton & Benthos Research, 査読, 1件.

Magnolia press, Phytotaxa, 査読, 1件.

The Association of Systematic Biologists of the Philippines, The Philippine Journal of Systematic Biology, 査読, 1件.

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2018年9月27日・28日, 京都府立大学, 「環境微生物学」(藤田裕子・石川可奈子・楠岡 泰と共同).

2018年4月~2019年3月, 芝崎美世子 (大阪市立大学理学研究科博士課程), 研究指導・助言.

2018年4月~2019年3月, 山本真里子 (名古屋大学環境学研究科博士課程), 研究指導・助言.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

地域連携事業調整, 担当.

情報誌「びわはく」, 担当 (松村順子と共同).

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 11件.

はしかけ運営「たんさいぼうの会」, 担当.

はしかけ運営「琵琶湖の小さな生き物を観察する会」, 担当 (鈴木隆仁と共同).

はしかけ運営「琵琶湖梁山泊」, 担当 (大槻達郎と共同).

2018年9月27日, インドネシア-日本環境教育ワークショップ, 琵琶湖博物館, コーディネーター (NPO法人平和環境もやいネットと共催; 北田多喜, 芳賀裕樹, 中井克樹と共同).

2018年9月27日，琵琶湖の富栄養化と対策・交流活動が生み出す双方向的な学びとイノベーション，インドネシア  
ー日本環境教育ワークショップ，琵琶湖博物館，講師。

### **他の博物館・機関等の主催行事**

2018年6月10日，観察会・講義．魚のゆりかご水田生き物観察会（栗見出在家町魚のゆりかご水田協議会），栗見出  
在家町浜公園・明寿苑（東近江市），講師。

2018年6月19日，講義「アオコの生態と現状」．レイカ大学OBセイカ32会，琵琶湖博物館，講師。

2018年7月18日，講義・プランクトン観察．滋賀県立彦根東高校SSH，琵琶湖博物館，講師（鈴木隆仁、奥野知之と  
共同）。

2018年7月21日，講義「琵琶湖博物館の概要と魚のゆりかご水田について」．びわこ成蹊スポーツ大学，琵琶湖博物  
館，講師。

2018年7月27日，講義「琵琶湖の環境変化に関する最近の話題」．自主防災防犯研究会，琵琶湖博物館，講師。

2018年8月10日，「水の守り人マップ」壁新聞製作へのアドバイス．ワークショップ（海と日本プロジェクト in 滋  
賀県実行委員会），大阪府立青少年海洋センター（大阪府岬町），講師。

2018年8月19日，生きもの調査の指導および解説．日本国際民間協力会（NICCO）観察会，みのり農園・道の駅あい  
とうマーガレットステーション（東近江市），講師。

2018年9月2日，はしかけ制度・フィールドレポーターについて．文教大学国際学部山田ゼミナール，琵琶湖博物館，  
講師。

2018年10月10日，珪藻化石の観察．滋賀県立米原高等学校理数科，琵琶湖博物館，講師。

2018年10月30日，講義「琵琶湖の水質対策と生態系の危機」．福岡県立修猷館高等学校，琵琶湖博物館，講師。

2018年11月11日，琵琶湖のプランクトン検鏡観察．NPO法人自然と緑，琵琶湖博物館，講師（鈴木隆仁・井上晴絵と  
共同）。

2018年12月6日，講義「子供との関わりとボランティア活動の支援（はしかけ）の現場の声」．龍谷大学社会学部，  
琵琶湖博物館，講師。

2019年2月24日，報告「みんなで研究する田んぼの生きもの」．ラムサール・ネットワーク日本，TKP東京駅八重洲  
カンファレンスセンター（東京都中央区），講師。

2019年3月13日，琵琶湖のプランクトン観察と講義．滋賀県レイカディア大学草津校，琵琶湖博物館，講師。

### **視察等への対応**

2018年5月17日，C展示「田んぼへ」の紹介，農林水産省（中井克樹と共同）。

2018年11月9日，交流活動に関する意見交換，台湾国立博物館（中井克樹・高橋啓一・松田征也・楊平と共同）。

2018年11月23日，琵琶湖博物館の交流活動の紹介，自然環境保全京都府ネットワーク（中井克樹と共同）。

### **【資料整備活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

微小生物試料の収集・整理・監督，指示。

ナゴヤダルマガエル，採集・飼育。

ハッタミミズ，採集・飼育。

### **【展示活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

C展示室「田んぼへ」，主担当。

マイクロアクアリウム，副担当。

モーニングレクチャー，講義，4回。

### **【研究部関連事業】**

滋賀県試験研究機関連絡会議，幹事。

琵琶湖環境研究推進機構，調査員.

琵琶湖博物館特別研究員（朱 偉、柏尾珠紀、廣石伸互、今井一郎、根来 健），受け入れ担当.

琵琶湖地域の水田生物研究会，主催（金尾滋史・鈴木隆仁と共同）.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

2001年4月～，島根大学汽水域研究センター，協力研究員.

琵琶湖博物館のような自然史系博物館の性格が強い博物館における科学館的内容の取り扱いに関する課題についての検討を進めているが、残念ながら研究プロジェクトが採択に至っていない。この課題を進めるには、琵琶湖の物理現象、陸水海洋物理学一般についてのアウトリーチ、科学教育学のうち抽象的概念の伝え方に関わる部分、科学博物館の活動展開の方法論など、多様な分野に興味を持つ研究者と議論を深めることが欠かせないため、その手がかりとなる研究発表を引き続いて進めた。

また、昨年度から受入を担当することになった、この課題に密接な関係を有する研究分野を専門とする特別研究員との議論を進める中で、はしかけ制度の活用を試してみることになった。具体的には、はしかけグループ「サロン de 湖流」を6月に正式発足させたところ、熱心なメンバー6名に集まっていただくことができた。まだ活動方針を模索している段階であるが、課題の進展に有益な成果が期待される。

研究以外の事業の面では、2年連続で所属する係が変わり、そのたびに各係で抱えている新たな問題を担当する形になっている。今年度はリニューアルによって運営方法が変更となる部分や新たに整備される設備の運用のうち、展示運営に関わる共通部分を担当した。具体的には、ディスカバリールーム更新やおとなのディスカバリー・樹冠トレイルの運用開始に連動して来館者動線が変わるアトリウムやエントランスの管理体制再構築や、そこで運用しているデジタルサイネージが広告料収入確保に関連して増設されたことや、来年度のリニューアルでさらに増設される予定であることを踏まえた運用方法の検討を進めた。

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

- 戸田 孝 (2018年6月15日) 「自然史系博物館」で「抽象的科学概念」を伝えるには、琵琶湖博物館研究セミナー、琵琶湖博物館, [口頭発表].
- 戸田 孝 (2018年6月25日) 地域博物館で「科学館」的な内容を扱う場合の問題点. 全日本博物館学会第44回研究大会, 明治大学 (東京都千代田区), [口頭発表].
- 戸田 孝 (2018年8月19日) 自然史博物館の手法で抽象的科学概念を扱うには. 日本科学教育学会第41回年会, 信州大学教育学部 (長野市), [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「地球物理学からの博物館学の展開～科学館の在り方からのアプローチ」(2018年度).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

陸水物理研究会, 運営委員, 期間の定めなし.  
日本陸水学会, 広報情報幹事, 2017年1月～2018年12月.

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2019年1月9日, 滋賀県立大学博物館資料保存論, 「資料保存環境を支える設備」.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### *琵琶湖博物館の主催行事*

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，11件。  
はしかけ運営「サロン de 湖流」，担当。

#### *他の博物館・機関等の主催行事*

2018年8月3日，草津市および福島県伊達市の小学生に対する講演，2018 未来 KIDS にぎわい交流事業（草津市都市再生課まちなか再生係），琵琶湖博物館，講師。

### 【資料整備活動】

#### *琵琶湖博物館の活動*

館内気象観測データ記録システム，維持管理およびデータ公開。

### 【展示活動】

#### *琵琶湖博物館の活動*

2018年度，エントランスおよびアトリウムの利用調整および管理，主担当。  
2018年度，電子機器の利用を含むユニバーサルデザイン対応，主担当。  
2018年度，企画展示室の利用調整および管理，副担当。  
2018年度，蜃気楼に関する展示の維持管理，主担当。  
2018年度，研究スタジアムの維持管理，副担当（7月まで）。  
モーニングレクチャー，講義，4回。

### 【研究部関連事業】

研究設備および研究備品の利用に関する全体調整，主担当。

## 主査

本年度は、昨年から継続した取り組みもあり「学習内容に合わせた博物館の活用Ⅱ」というテーマで、研究をスタートさせた。研究の柱としては、学習内容に合った来館・フローティングスクールとの連携・教員向け研修会の3つを設定し、これらを考える上で必要となる事例の研究に取り組んだ。

学習内容に合った来館では、屋外展示を活かした体験的な取り組みについての実践を行った。現在学校団体向けに提供している昔の暮らし体験は、3年生の社会科の学習内容と上手くかみ合っている。さらに、展示室ともつながりがあるため、より内容理解が深まることで、毎年人気がある。その視点で、来館数の少ない低学年が学習する生活科に目を向け、「秋の色を探してみよう」というテーマ設定で、実際に来館した学校に体験を行っていただきその成果・課題についての検証を行った。フローティングスクールとの連携では、昨年の通信が博物館側からのみの一方向になったため、今年度は双方向でのやり取りがどのくらい効果的に行えるかについての実践を重ねた。通信の不具合等の課題が残る結果となったため、今後どのような形で取り組みを継続するか引き続き検証する必要がある。教員向け研修会では、教員向けガイドやサポートシートについての研修を行い、教員自身がどのような目的を持って博物館を訪れるべきかを考えていけるように進めた。

事業においては、別館の運用が始まってからは、福祉団体の対応や昼食場所を希望する団体への対応が増加した。これまでからあったニーズに多く応えられるようになり、今まで以上に安心して来館いただける環境作りが行えた。今後もよりよい利用のために利用方法について検討を重ねていく。7月のディスカバリールームリニューアルオープンまでの間については、展示についての準備やその後の運営についての方向を検討した。また、来館する学校団体がスムーズに利用するための規則についても考え、学校団体へ周知していただくよう努めた。併せて、樹冠トレイルについても安全面を意識した規則を設定した。

1年を通して、リニューアルによる博物館の利用方法が大きく変化してきている。そこで、下見などの機会を活用しながら、来館へのニーズに応えながらも学校団体のマナー向上も伝えていきたい。博物館が、一般客にも学校団体にも等しく利用していただけるように努めていきたい。

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

奥野知之（2019年2月15日）学習内容に合わせた博物館の活用Ⅱ．琵琶湖博物館研究セミナー，琵琶湖博物館，  
[口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「学習内容に合わせた博物館の活用Ⅱ」（2018年度）.

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2018年12月～2019年3月，滋賀の教師塾塾生，団体向け体験プログラム実習・交流事業研修受け入れ，（小林偉真と共同）.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

はしかけ運営「びわたん」、担当。

2018年4月～2019年3月、「ドキ土器！おしゃれもようを楽しもう！」等10講座、「琵琶湖博物館わくわく探検隊」事業、琵琶湖博物館、企画運営、10件、（はしかけグループ「びわたん」「近江はたおり探検隊」「ほねほねクラブ」「森人」、滋賀県立近代美術館と共催・小林偉真と共同）。

2018年7月～2018年11月、琵琶湖学習2018、立命館守山中学校、ミュージアムスクール、琵琶湖博物館、コーディネーター・講師、3件、（小林偉真と共同）。

2018年7月～2018年11月、自然調査ゼミナール、琵琶湖博物館、企画運営・講師、4件、（滋賀県中学校教育研究会理科部会と共催・小林偉真と共同）。

2018年8月31日、団体向け体験学習プログラム実習・学校連携事業について、博物館実習、琵琶湖博物館、実習・講義、（小林偉真と共同）。

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年4月～2019年3月、学校団体向け体験学習。県内県外小中高等特別支援学校大学、琵琶湖博物館、講師、108件、（小林偉真と共同）。

2018年5月15日、プランクトン観察実習。甲賀市立甲南第三小学校、甲賀市立甲南第三小学校（滋賀県）、講師。

2018年6月22日、プランクトン観察実習。甲賀市立伴谷小学校、甲賀市立伴谷小学校（滋賀県）、講師。

2018年7月20日、フローティングスクールとの連携（テレビ会議）①。滋賀県立琵琶湖フローティングスクール、琵琶湖博物館、講師。

2018年8月3日、学校における博物館の有効活用。平成30年度しが環境教育研修会（滋賀県教育委員会幼小中教育課）、琵琶湖博物館、講師、（小林偉真と共同）。

2018年8月8日、一般団体向け体験学習。久御山町保全再生課、琵琶湖博物館、講師、（小林偉真と共同）。

2018年8月8日、琵琶湖の外來魚についての講義・外來魚解剖実習。滋賀県小学校教育研究会環境教育部会夏期研修会、琵琶湖博物館、講師。

2018年8月9日、滋賀県立琵琶湖博物館についての講義。近畿地区小学校理科教育研究協議会研修、琵琶湖博物館、講師

2018年8月20日、体験学習プログラム「化石のレプリカづくり」。科学ヘジャンプ・イン・滋賀2018（近畿盲学校教育研究会教科指導部会）、琵琶湖博物館、講師、（小林偉真と共同）。

2018年9月27日、フローティングスクールとの連携（テレビ会議）②。滋賀県立琵琶湖フローティングスクール、琵琶湖博物館、講師。

2018年10月22日、びわ湖学習（FS）。甲賀市立甲南第三小学校、甲賀市立甲南第三小学校（滋賀県）、講師。

2018年11月5日、びわ湖学習（FS）。甲賀市立大野小学校、甲賀市立大野小学校（滋賀県）、講師。

2018年11月6日～15日、琵琶湖博物館を活用した学習の在り方（実習）。滋賀県総合教育センター初任者研修、琵琶湖博物館、講師、4件、（小林偉真と共同）。

2018年12月11日、フローティングスクールとの連携（乗船）③。滋賀県立琵琶湖フローティングスクール、学習船「うみのこ」、講師。

2019年2月14日、フローティングスクールとの連携（テレビ会議）④。滋賀県立琵琶湖フローティングスクール、琵琶湖博物館、講師。

#### 視察等への対応

2018年9月8日、施設ボランティアと「わくわく探検隊」について、公益財団法人ホシザキグリーン財団、（小林偉真と共同）。

**【情報整備活動】**

*琵琶湖博物館の活動*

博物館高度利用に関わる事前打ち合わせ・コーディネート，担当，13件（小林偉真と共同）.

**【資料整備活動】**

*琵琶湖博物館の活動*

2018年4月～2019年3月，学校等標本貸出事業，担当，20件.

**【展示活動】**

*琵琶湖博物館の活動*

モーニングレクチャー，講義，4回.

**【企画調整活動】**

矢橋帰帆島スプリングフェス，よし笛づくりのワークショップ，講師，2018年6月1日，矢橋帰帆島（滋賀県草津市）（小林偉真と共同）.

**【新琵琶湖博物館創造室活動】**

第2期リニューアル ディスカバリールームに関すること，副担当.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

**【館外の活動】**

2018年7月～2019年2月，「湖の子」新体験学習作成プロジェクト会議.

研究テーマとして、引き続きイバラモの繁殖生態に関する研究課題に取り組み、現地調査などを実施した。それとは別に、琵琶湖固有種の沈水植物であるサンネンモについて、その親種を特定する論文を、神戸大学の方々との共著で発表した。独立行政法人水資源機構によるいくつかの事業について、琵琶湖沿岸域環境調査の沈水植物調査の調査前の検討および調査後に得られたデータの検討に協力した。環境省の第5次レッドリストの滋賀県調査には調査員として協力し、その先にある『滋賀県植物誌』(1968)の改訂について関係者と検討を行った。また、2018年度より博物館学研究領域に異動したので、その分野での研究プロジェクト立ち上げの相談を行った。館内の共同研究「微小な生物を用いた交流プログラムの開発」に、プログラム評価の分野で協力した。

博物館の事業では、資料活用係の業務としての資料の受け入れおよび燻蒸などを担当した。燻蒸については、リニューアルおよび企画展資料の館外からの搬入や終了後の処置、滋賀県立近代美術館との共催ギャラリー展の資料関連で、例年よりも多く燻蒸作業を行い、一方で燻蒸庫の不調のための対処(気化器清掃やマニュアルでの温度管理など)を行った。植物資料に関しては、以前預かった多賀左京氏の標本の手続きをご遺族と相談しながら進めるなど、様々な段取りを行い、植物担当として寄贈手続きを終えることができた。また2018年に逝去された村長昭義氏の標本の寄贈について、多賀町立博物館と様々な調整を行い、一部当館へ搬入をした。今後手続きをしていく予定である。

なお、2018年度の年度半ばに健康上の理由で休むことになり、一部計画していた研究申請やプロジェクト立ち上げなどが遂行できなくなったことを、記録のために書いておく。

## 印刷物

### 【学術論文】

Iida, S., Ashiya, M. and Kadono, Y. (2018) The hybrid origin of *Potamogeton biwaensis*, an endemic submerged plant in Lake Biwa, Japan. *Aquatic Botany*, 150: 23-26.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

芦谷美奈子(2018年4月20日)雌雄異株の沈水植物イバラモ *Najas marina* L. の繁殖生態～雌雄の分布とフェノロジー～. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館共同研究「微小な生物を用いた交流プログラムの開発」(研究代表者: 松田征也), 研究協力者(2018年12月～2019年3月).

琵琶湖博物館専門研究「イバラモの繁殖生態学的研究」(2018年度).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

応用生態工学会, 応用生態工学, 査読, 1件.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，12件。

はしかけ運営「植物観察の会」，担当。

はしかけ運営「タンポポ調査はしかけ」，担当。

2018年6月20日，里山探検 田んぼの生きもの見つけ隊，観察会，朽木生杉（滋賀県高島市），担当者。

#### メディアへの協力

2019年3月15日，読売新聞 しが県民情報，身近な環境に関心を タンポポ調査，（2月27日、3月2日取材対応）。

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

植物さく葉標本，寄贈受け入れ，副担当者。

二酸化炭素燻蒸（燻蒸庫），担当者，6件。

エキヒューム燻蒸（テント式），担当者，4件。

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

モーニングレクチャー，講義，4回。

展示交流員と話そう，内容指導。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

2000年4月～，木浜地区保全整備地域協議会，委員。

2010年4月～，滋賀県植物研究会，幹事。

2015年6月～，琵琶湖湖南地域ヨシ群落自然再生協議会，アドバイザー。

2016年1月～，独立行政法人水資源機構 琵琶湖開発総合管理所 琵琶湖沿岸域環境調査，アドバイザー。

2016年11月～，環境省モニタリングサイト1000 陸水域調査 琵琶湖サイト水生植物調査，アドバイザー。

2017年4月～，環境省 第5次レッドリスト（植物），滋賀県調査員。

2018年11月～，琵琶湖環境科学研究センター 滋賀県生きものデータバンク（仮），委員。

2018年11月～，「タンポポ調査・西日本2020」滋賀県実行委員会，委員。

専門研究のテーマである「琵琶湖周辺の水田地帯に出現する魚類リストの作成」では、滋賀県における水田利用魚類の出現状況について整理を行い、日本魚類学会にてポスター発表を行った。また、降雨時にフナ類やナマズが侵入可能な水田についての調査を行い、過去の記録との比較を実施している。さらに、水田と比較するかたちで、琵琶湖湖岸域の水位上昇時における魚類の挙動について、コイ科魚類やナマズ科魚類の産卵と稚魚の成長、水位との関連性について調査を行った。これらの成果の一部は研究会で発表し、論文としても投稿する予定である。このほか水田地帯に定着している外来魚について解説論文を共同執筆したほか、県内に定着した国外外来魚タウナギについて追跡調査を行い、その現状と予測される被害について論文を投稿した。これらの研究成果は、共同研究『『田んぼの生きもの全種リスト』の増補更新と公開システムの構築』においても基礎資料として活用される予定である。

このほか、希少淡水魚であるハリヨについて滋賀県内における生息状況を 10 年前の記録と比較するための調査を開始した。状況としては減少の一途を辿っている一方で、人為的に移植された水域での確認が目立つようになっており、遺伝的攪乱の観点からも、きちんとした系統保全の仕組みを確立させる予定である。ハリヨに加えて、カワバタモロコ、オヤニラミの生息域外保全に関わる活動として、企業や地域と連携した系統保存の取り組みを行っており、順調に繁殖するなど一定の成果を上げることができている。地域や企業と協働したハリヨの保全の取り組みに関しては、福島県で開催された第 10 回世界水族館会議において発表を行い、様々な連携が生み出す野生生物保全のあり方として評価を得た。このような知見は単に繁殖生態や成長などに関する魚類学的な知見の集積のみならず、今後の希少淡水魚保全活動のあり方について、その手法論についても論文化する作業を進めている。

博物館学研究領域にかかわる研究としては、地域の自然史情報集約の場としての博物館の機能を探るため、自然観察会、博物館への質問、写真による生物記録をまとめ、このような情報が科学的な価値をもつのか、またそれらの集約にはどのようなプラットフォームが必要なのか、その手法論について検討している。これらについては共同研究を立ち上げる予定であり、博物館のもつ自然史情報収集の機能論について追っていきたい。

広報営業課では広報の主担当として、資料提供や各種メディア対応、各種イベントの開催や出展を行った。資料提供は 70 件行ない、テレビ番組や新聞、雑誌へのメディア掲載情報は 600 件を上回った。今年度は第 2 期リニューアルということもあり、メディアへの積極的なアプローチなども行ったことで、掲載件数の上昇につながったと考えている。また、昨年度より始まった毎日新聞滋賀版において「びわ博 こだわり展示の裏話」の連載についても取りまとめを行った。このほか、当館の広報に関わる各種行事の企画、SNS への投稿を行い、博物館ファンを増やすための取り組みを展開した。

## 印刷物

### 【学術論文】

中田和義・金尾滋史・伊藤健二（2018）農業農村整備のための生態系配慮の基礎知識（7）－水田・水利施設の外来生物とその対策－. *水土の知（農業農村工学会）*, 86(7) : 619-624.

### 【専門分野の著作】

金尾滋史（2018）魚類にとっての水田・水路・ため池の役割とその保全. *第 4 回ミュージアム連携ワークショップ in 大阪 公開講座：「農地がもつ自然環境機能の活かし方を考える」資料集*, 応用生態工学大阪, 45-50.

金尾滋史（2018）図書紹介『はじめての魚類学』. *日本動物園水族館教育研究会誌*, 25 : 135-136.

### 【一般向けの著作】

金尾滋史（2018）びわ博 こだわり展示の裏話 21 工事中の展示室はどんな風景？ *毎日新聞*, 4月10日.

金尾滋史（2018）びわ博 こだわり展示の裏話 22 トンネル水槽の水が抜けたとき. *毎日新聞*, 4月24日.

- 金尾滋史 (2018) びわ博 こだわり展示の裏話 24 湖魚料理のレプリカは本物の料理から. *毎日新聞*, 5月29日.
- 金尾滋史 (2018) びわ博 こだわり展示の裏話 26 工事期間中、魚はどこにいたの? *毎日新聞*, 7月3日.
- 金尾滋史 (2018) びわ博 こだわり展示の裏話 27 バイカル湖からの生中継. *毎日新聞*, 7月24日.
- 金尾滋史 (2018) 琵琶湖の魚たち 謎だらけの「主」ピワコオオナマズ. *産経新聞*, 8月2日.
- 金尾滋史 (2018) 琵琶湖の魚たち 人間に関わりが深いナマズ. *産経新聞*, 10月13日.
- 金尾滋史 (2018) びわ博 こだわり展示の裏話 33 おとなのディスカバリーに引き継がれた機能. *毎日新聞*, 11月20日.
- 金尾滋史 (2019) びわ博 こだわり展示の裏話 37 樹冠トレイルから見る琵琶湖. *毎日新聞*, 2月5日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

- 金尾滋史 (2018年9月1日) 魚類にとっての水田・水路・ため池の役割とその保全. ミュージアム連携ワークショップ「農地がもつ自然環境機能の活かし方を考える」(応用生態工学会近畿), 大阪市立自然史博物館(大阪市), [口頭発表].
- 内海孝雄・前根豊克・川久保素尚・大西公平・金尾滋史・片渕正志 (2018年9月6日) 水田地域における淡水魚保全のための生息条件－. 2018年度農業農村工学会大会講演会, 京都大学(京都市), [口頭発表].
- 金尾滋史 (2018年9月8日) 2018年7月の琵琶湖水位上昇時に観察された魚類の挙動. 第67回魚類自然史研究会, 摂南大学(大阪府寝屋川市), [口頭発表].
- 金尾滋史 (2018年9月23日) 滋賀県東部のため池群における魚類相とその特徴. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- 金尾滋史・阿部 司 (2018年10月7日) 滋賀県における水田利用魚類の整理～「田んぼの生きもの全種リスト・改訂版」にむけて～. 2018年度日本魚類学会年会(50周年記念大会), 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区), [ポスター発表].
- Kanao, S. (2018年11月9日) Conservation activities of endanger freshwater fishes cooperated by museums, regions and companies. 10th International Aquarium Congress 2018 Fukushima Japan, International Aquarium Congress, Aquamarine Fukushima (Iwaki City, Fukushima Pref.), [Oral presentation].
- 金尾滋史 (2018年12月9日) Zoo 教研の過去の発表からみるESDとの関わり. 第59回日本動物園水族館教育研究会出雲大会, サンレイク出雲(島根県出雲市), [口頭発表].
- 大塚泰介・金尾滋史・鈴木隆仁 (2018年12月16日) 第9回琵琶湖地域の水田生物研究会(琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会), 琵琶湖博物館, [企画運営].
- 金尾滋史 (2018年12月16日) ミニシンポジウム 田んぼに生き物をよび戻す小技集. 第9回琵琶湖地域の水田生物研究会(琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会), 琵琶湖博物館, [パネラー].
- 金尾滋史 (2018年12月16日) 田んぼで見つけた小さな自然再生のヒントと課題. 第9回琵琶湖地域の水田生物研究会(琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会), 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- 金尾滋史 (2019年3月10日) 完成間近!? 日本産淡水魚変換ツール ver. 2.0. 第68回魚類自然史研究会, 手柄山交流ステーション(兵庫県姫路市), [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖周辺域における水田利用魚類リストの作成」(2018年度).
- 琵琶湖博物館共同研究『「田んぼの生きもの全種リスト」の増補更新と公開システムの構築」(研究代表者: 大塚泰介), 研究副代表者(2017～2020年度).
- 琵琶湖博物館共同研究「幼児の博物館体験と野外体験の効果」(研究代表者: 中村久美子), 共同研究者(2018～2020年度).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本魚類学会，自然保護委員会希少淡水魚問題検討部会，委員。  
日本貝類学会，研究連絡誌「ちりぼたん」，編集委員。  
農業農村工学会，農村生態工学研究部会，代表幹事。  
日本動物園水族館教育研究会，運営委員。  
日本動物園水族館教育研究会，日本動物園水族館教育研究会誌，編集長。  
魚類自然史研究会，幹事。  
日本動物園水族館協会，生物多様性委員会魚類作業部会種別調整者（ニッポンバラタナゴ）。  
日本貝類学会，ちりぼたん，査読，2件。  
日本魚類学会，2018年度日本魚類学会年会，ポスター賞審査員。  
日本動物園水族館教育研究会，日本動物園水族館教育研究会誌，査読，6件。  
日本動物園水族館教育研究会，第59回日本動物園水族館教育研究会出雲大会，ポスター賞審査員。

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2018年5月31日，滋賀県立大学，「環境フィールドワーク III」。  
2019年1月6日，びわこ学院大学，「滋賀の環境」。  
2019年1月9日，大阪ECO動物海洋専門学校，「海洋生物調査」。  
2019年1月10日，滋賀県立大学，「博物館資料保存論」。

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク，琵琶湖博物館，12件。  
はしかけ運営「温故写新」，担当。  
2018年6月10日，みんなで湖魚料理を作ろう！<コアユ・シジミ編>，博物館で楽しもう，琵琶湖博物館，講義・実習，（片岡佳孝と共同）。  
2018年11月4日，みんなで湖魚料理を作ろう！<フナ・ビワマス編>，博物館で楽しもう，朝日漁協集会所（滋賀県長浜市），講義・実習，（片岡佳孝と共同）。  
2019年1月12日，わくわく探検隊，お魚モビールを作ろう！ 琵琶湖博物館，講師。

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年4月7日，琵琶湖博物館の理念と展示内容。琵琶湖フィールド実習（大阪芸術大学建築学科），琵琶湖博物館，講師。  
2018年7月15日，かつべ水フェスタ 水辺の生き物観察会（勝部自治会），エルセンター（滋賀県守山市），講師。  
2018年7月25日，犬上川の生きものについて。彦根市南地区公民館，琵琶湖博物館，講師。  
2018年7月29日，仰木や琵琶湖の生きもの。大津市立仰木の里公民館，琵琶湖博物館，講師。  
2018年8月7日，犬上川の生きもの観察会（快適環境づくりをすすめる会・彦根市生活環境課），犬上川（滋賀県彦根市），講師。  
2018年8月18日，下物ビオトープ観察会（滋賀県琵琶湖保全再生課），琵琶湖博物館・下物ビオトープ（滋賀県草津市），講師。  
2018年10月25日，第62回滋賀県学生科学賞県展 中学生の部，湖東体育館（滋賀県東近江市），審査員。  
2018年11月6日，湖の生き物と私たちとの関わりをさぐる～水辺の生態系保全にむけて～。猪苗代湖・裏磐梯山湖沼水環境フォーラム（猪苗代湖・裏磐梯山湖沼水環境保全対策推進協議会），猪苗代町体験交流館学びいな（福島県），講師。  
2019年1月13日，琵琶湖博物館勉強会・見学会（NACS-J自然観察指導員兵庫連絡会），琵琶湖博物館，講師。

- 2019年2月4日, 第11回淡海の川づくりフォーラム, 滋賀県危機管理センター(大津市), グループ選考員・テーブルコーディネーター.
- 2019年2月9日, 琵琶湖の魚について. たいひがワタカクラブ, 琵琶湖博物館, 講師.

### 視察等への対応

- 2018年10月8日, 水族展示視察, インドネシアライオンズクラブ.
- 2018年10月9日, 水族展示視察, 奈良中央卸市場.
- 2018年11月29日, おとなのディスカバリー・水族展示視察, 滋賀県住環境デベロッパー協会.

### メディアへの協力

- 2018年4月13日, 朝日新聞, バイカルヨコエビの一種幼体飼育に成功, 取材・コメント, (2018年4月2日取材).
- 2018年4月20日, NHK WORLD-JAPAN「NEWS LINE」, 取材対応, (2018年4月20日生放送).
- 2018年4月20日, NHK WORLD-JAPAN「NEWSROOM TOKYO」, 取材・出演, (2018年4月20日生放送).
- 2018年5月10日, 朝日新聞, 豊かな魚泳ぐ未来に, 取材・コメント, (2018年4月26日取材).
- 2018年5月14日, 放送大学, 博物館資料保存論, 保護増殖センターの取り組み, 出演, (2019年度より放送).
- 2018年7月1日, 月刊アクアライフ, 淡水魚水族館, 取材・対応, (2018年5月18日).
- 2018年7月8日, 滋賀民報, 琵琶湖博物館の舞台裏 その1 川魚屋もある水族展示室, 取材・コメント, (2018年6月28日取材).
- 2018年7月16日, BBCびわ湖放送「キラりん滋賀 BBC ニュース」, オスとメスの特徴をもつカブトムシ, 取材・出演, (2018年7月16日取材).
- 2018年7月16日, ラジオ大阪「青木和雄の昼までええやん!」, おとなのディスカバリー紹介, 出演, (2018年7月16日生放送).
- 2018年7月23日, NHK 大津放送局「おうみ発645」, 雌雄モザイクのカブトムシ, コメント, (2018年7月23日取材).
- 2018年7月23日, NHK ラジオ「関西ラジオワイド」, 第2期リニューアル紹介, 出演, (2018年7月23日生放送).
- 2018年7月26日, 読売新聞, 黄色いオタマジャクシ!?, 取材・コメント, (2018年7月25日取材).
- 2018年7月29日, BBCびわ湖放送「BBC ニュース」, 水族企画展琵琶湖の固有種の起源, 出演, (2018年7月29日取材).
- 2018年7月29日, 滋賀民報, 琵琶湖博物館の舞台裏 その2 「古代湖の世界」展示コーナー, 取材・コメント, (2018年6月28日取材).
- 2018年8月3日, KBS 京都テレビ「news フェイス」, ディスカバリールーム・おとなのディスカバリー紹介, 取材・出演, (2018年8月1日取材).
- 2018年8月3日, 読売新聞しが県民情報, 種を後世に 希少な動植物を守る, 取材・コメント, (2018年7月20日取材).
- 2018年8月8日, サンテレビ「サンぷん」, ディスカバリールーム・おとなのディスカバリー紹介, 取材・出演, (2018年8月1日取材).
- 2018年8月10日, テレビ大阪「やさしいニュース」, おとなもハマる!? 体験型博物館生中継, 取材・出演, (2018年8月10日生放送).
- 2018年8月15日, 読売新聞, ゴリの稚魚ご飯に合う, 取材・コメント, (2018年8月1日取材).
- 2018年8月21日, KBS 京都テレビ「おやかまっさん」, ディスカバリールーム・おとなのディスカバリー紹介, 取材・出演, (2018年8月21日生放送).
- 2018年8月25日, RCC 中国放送ラジオ「一文字弥太郎の週末ナチュラルリスト 朝ナマ!」, 天職を探せシリーズ第5弾 学芸員への道, 出演, (2018年8月25日生放送).
- 2018年9月13日, テレビ朝日「木曜ミステリー「遺留捜査」」, ロケ対応・脚本コメント, (2018年8月20日取材).
- 2018年9月22日, 日本テレビ「満点☆青空レストラン」, ビワマス, 写真提供, (2018年9月20日対応).
- 2018年9月23日, 日本テレビ「ザ!鉄腕DASH!」, マゴイ, 写真提供, (2018年9月20日対応).
- 2018年9月30日, BBCびわ湖放送「なるほどミュージアム滋賀」, あなたの知らない美味しい魚の世界, 出演, (2018

年9月18日取材).

- 2018年11月2日, 姫路シティ FM ゲンキ「はりままるごと探検隊」, 樹冠トレイルオープン, 出演, (2018年11月2日生放送).
- 2018年11月21日, テレビ東京「昼めし旅」, 琵琶湖博物館の紹介, 出演, (2018年10月30日取材).
- 2018年11月21日, BS-TBS「タビブック+VR」, 滋賀県の旅, 出演, (2018年10月3日取材).
- 2018年11月22日, ABC朝日放送「おはようコールABC」, 琵琶湖博物館の紹介, 出演, (2018年11月15日取材).
- 2018年11月24日, NHK 大津放送局, カメの公開身体測定, 出演, (2018年11月24日取材).
- 2018年11月24日, BBCびわ湖放送, カメの公開身体測定, 出演, (2018年11月24日取材).
- 2018年11月25日, 産経新聞, 子供ら、カメの公開測定, 取材・コメント, (2018年11月24日取材).
- 2018年11月25日, 読売新聞, カメ大きくなったかな 琵琶博で身体測定, 取材・コメント, (2018年11月24日取材).
- 2018年11月25日, 毎日新聞, カメの重さ測ってみたよ, 取材・コメント, (2018年11月24日取材).
- 2018年11月28日, CBCラジオ「多田しげおの気分爽快〜朝からP.O.N.」, 琵琶湖博物館の紹介, 出演, (2018年11月28日生放送).
- 2018年11月29日, KBS 京都ラジオ「森谷威夫のお世話になります」, 樹冠トレイル、おとなのディスカバリー紹介, (2018年11月29日生放送).
- 2018年11月30日, 読売新聞しが県民情報, 「びわ博」に新たな学びの場, 取材・コメント, (2018年11月18日取材).
- 2018年12月16日, BBCびわ湖放送「BBC ニュース」, トンネル水槽のサンタ登場, 出演, (2018年12月16日取材).
- 2018年12月24日, NHK 大津放送局「おうみ発 645」, トンネル水槽のサンタ登場, 出演, (2018年12月24日取材).
- 2019年1月15日, ドクター敬子のYES!マップ, 琵琶湖博物館の紹介, 出演, (2018年11月22日取材).
- 2019年2月13日, ABC朝日放送「CAST」, 琵琶湖博物館の紹介, 出演, (2019年2月5日取材).
- 2019年3月2日, ABC朝日放送「おはよう朝日土曜日です」, 琵琶湖博物館の紹介, 出演, (2019年2月25日取材).
- 2019年3月3日, 滋賀民報, 琵琶湖博物館の舞台裏 その6 空中遊歩道「樹冠トレイル」, 取材・コメント, (2019年2月22日取材).
- 2019年3月8日, しがトコ, びわ博のマニアックすぎる学芸員さんに会いに行ってみました!, 取材・コメント, (2019年2月27日取材).
- 2019年3月8日, READING LIFE ふなずしをめぐる冒険, ニゴロブナの正体を知りたいなら「ふな寿司の匂いをかげる場所」で学べ!?, 取材・コメント, (2018年11月30日取材).
- 2019年3月13日, BBCびわ湖放送「知ったかぶりカイツブリにゅーす」, 水族展示の魚屋さん, 出演, (2019年2月27日撮影).
- 2019年3月31日, BBCびわ湖放送「なるほどミュージアム滋賀」, 琵琶湖にすむイタチを探せ, 対応・出演, (2019年3月11日取材).

#### 【情報整備活動】

##### 琵琶湖博物館の活動

- 電話・窓口・メールによる質問対応, 300件.  
窓口・メールによる生物の同定依頼, 30件(60点).

#### 【資料整備活動】

##### 琵琶湖博物館の活動

- 貝類標本, 主担当.  
水族資料収集, 担当.  
水族資料維持管理, 担当.  
水族資料特別観覧対応, 2件.

貝類資料提供受入, 25 件 (淡水貝類).

魚類資料収集, 50 件 (淡水魚).

#### 【展示活動】

##### 琵琶湖博物館の活動

水族展示維持管理, 担当.

モーニングレクチャー, 講義, 4 回.

展示交流員と話そう, 内容指導, 2 件.

##### 他の博物館・機関等の活動

サケのふるさと千歳水族館, 2018 年 4 月 28 日～5 月 31 日, 2018 特別展 ニュルッと登場ドジョウ展, 魚類・パネル・写真提供.

#### 【企画調整活動】

新任職員等研修, 水族展示案内, 2018 年 4 月 25 日, 琵琶湖博物館.

日本動物園水族館協会, 総会出席, 2018 年 5 月 17 日～18 日, 城山ホテル鹿児島・かごしま水族館.

#### 【広報営業活動】

広報、資料提供、有料広告, 担当.

資料提供, 70 件.

雑誌への掲載, 100 件.

イナズマロックフェス出展ブース, 展示解説, 2018 年 9 月 16 日・9 月 17 日, からすま半島広場 (草津市).

計量の日関連イベント「カメの公開身体測定」, 2018 年 11 月 25 日, 琵琶湖博物館, 講師.

水族展示「トンネル水槽にサンタがやってくる」, 2018 年 12 月 15 日, 12 月 16 日, 12 月 23 日, 12 月 24 日, 12 月 25 日, 琵琶湖博物館, 担当.

びわ湖レイクサイドマラソン出展ブース, 展示解説, 2019 年 2 月 24 日, からすま半島広場 (草津市).

企業の生物多様性保全活動などに関する相談対応, 8 件.

徳島県オヤニラミ再生プロジェクト, 2018 年 6 月 12 日・13 日, 日亜化学工業株式会社 (徳島県), 活動協力.

琵琶湖博物館公式 Facebook, 担当, 150 件.

毎日新聞「びわ博 こだわり展示の裏話」連載担当.

#### 【研究部関連事業】

琵琶湖地域の水田生物研究会, 主催 (大塚泰介・鈴木隆仁と共同).

二国間セミナー「日本と韓国における淡水生物の多様性と変遷」, 通訳対応.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

#### 【館外の活動】

2006 年 8 月～, 滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課, 滋賀県生きもの総合調査委員会魚貝類部会, 委員.

2010 年 7 月～, 環境省自然環境局, 希少野生動植物種保存推進員.

2010 年 4 月～, 滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課, 滋賀県希少野生動植物調査監視指導員.

2011 年 11 月～, 滋賀県農政水産部農村振興課, 豊かな生き物を育む水田づくり懇話会, 委員.

2012 年 2 月～, NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク, 標本救済ネット, ケースワーカー.

2019 年 2 月 13 日, 環境省生物多様性センター, 絶滅危惧種分布重要地域抽出のための環境 DNA 分析技術を用いた淡水魚類調査手法の標準化・一般化に関する検討会, 委員.

研究部では、平成30年度から共同研究「幼児の博物館体験と野外体験の効果」を開始した。屋外展示と展示室を使って幼児を対象としたプログラム活動を毎月1回実施し、屋外での自然の実体験と展示室での博物館体験について、子どもの発話から学びの効果を検証することを目的としている。毎月1回のプログラムは、「ちっちゃな子どもと自然あそび(ちこあそ)」のはしかけ活動として実施され、はしかけグループ代表は共同研究者でもある特別研究員の池田勝氏である。さらに、神戸大人間発達科学部大野朋子准教授も共同研究者に加わっていただき、学生とともに研究を行った。活動中の子どもたちの発話をボイスレコーダーで記録し、それらをテキストマイニングで分析した。中間報告として、2018年日本造園学会関西支部大会にて連名で発表した。また、第26回全科協研究発表大会においては今大会の博物館活動におけるイノベーションというテーマに沿って、本活動の主目的である幼児のための自然活動ということ以外に、「ちこあそ」の場が保護者同士のコミュニケーションの時間となり結果的に幼児の自然体験の機会の幅を広げるきっかけとして機能している実態について発表を行った。来年度も引き続きデータを精査し、発話の傾向や活動場所、活動回数などによる関連性について分析を進める予定である。その他、滋賀県博物館協議会の記念事業委員、日本環境動物昆虫学会環境アセスメント運営委員、日本生態学会の専門委員会のひとつである生態学教育専門委員となった。また、全国カヤネズミ・ネットワークのカヤネズミの北限調査に参加し、過去の北限生息地を更新して、「カヤネズミの新北限産地」を畠佐代子氏らと連名で発表した。

総務部新琵琶湖博物館創造室では、第2期リニューアルのディスカバリールーム担当として、展示制作及び運営体制についての整備を行った。7月6日にオープン後は、改善対応と展示室運営を行った。事業部では、リニューアル後、継続して展示係のディスカバリールームを担当した。リニューアル後の新しい展示コーナーの運営改善と展示交流員への研修を行った。交流活動では、ザ!ディスカバはしかけとちこあそを2つを担当した。ザ!ディスカバはしかけでは、リニューアル中から主体的な活動の支援をし、今年度は2件の新規イベントが実施された。ちこあそは年11回と琵琶博フェスでの1回が実施された。資料整理業務(哺乳類担当)では、今年度からは乳類の資料整理員が一部確保され、第2期リニューアルで新規作成された標本について登録作業を行うことができた。また館外からの希少な標本類の積極的な受け入れを行った。陸域生体の飼育業務では、第1期リニューアル後からのカヤネズミの飼育・繁殖が順調に進み、目標飼育数の40頭を達成した。さらにはアクアトトぎふへ10頭譲渡することができた。来年度からは繁殖計画をたてて、維持することを目標とする。その他には、日本展示学会「展示論講座博物館の展示」や「現場に生かす活動の評価 こどもワークショップの質を考える研究会」に参加し、展示や交流活動のプログラム構成の考え方について学習した。今後、担当業務の中でこのような知識を活かしていきたい。

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

- 阿部勇治・河瀬直幹・小西省吾・澤邊久美子(2018) 甲賀市のほ乳類. *甲賀市レッドリスト2017*, 甲賀市レッドリスト2017策定委員会, 甲賀, <http://www.city.koka.lg.jp/secure/19187/>◆甲賀市レッドリスト2017哺乳類の概要.pdf
- 畠佐代子・新野聡・富樫悦夫・上野山雅子・澤邊久美子(2018) カヤネズミの新北限産地. *伊豆沼・内沼研究報告*, 12: 53-62.
- 澤邊久美子(2019) 小規模半自然草地におけるカヤネズミの冬季の営巣環境. *保全生態学研究*, 24: 31-38.

### 【一般向けの著作】

- 中村久美子(2018) 湖岸より 319 親子で楽しむ博物館の入り口. *中日新聞*, 6月23日.
- 中村久美子(2018) びわ博 こだわり展示の裏話 29 みんなでつくったディスカバリールーム. *毎日新聞*, 8月28日.

日.

中村久美子 (2018) びわ博 こだわり展示の裏話 34 毛を持つ動物たち. *毎日新聞*, 12月4日.

中村久美子 (2018) ディスカバリールームで見つけてみよう!. *びわはく*, 2:11.

中村久美子 (2019) 湖岸より 337 幼児を育てる自然あそび. *中日新聞*, 2月23日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

中村久美子 (2018年8月4日) 新たな草地利用—耕作放棄地の活用事例—カヤネズミに適した草地の管理から. 総合研究「自然観」研究会, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

中村久美子・水谷彩香・池田 勝・金尾滋史・大野朋子 (2018年9月15日) 幼児の博物館体験と野外体験の効果(中間報告). 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

松岡由子・中村久美子・高橋啓一・三島弘幸・岡本 実 (2018年9月19日) 飼育下カヤネズミにおける歯の年齢査定を試み. 平成30年度近畿ブロック動物園水族館臨床研究会, 城崎マリワールド(兵庫県城崎市), [口頭発表].

中村久美子 (2018年10月9日) 幼児の博物館体験と野外体験の効果. 琵琶湖博物館2018年度研究審査会, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

水谷早彩香・中村久美子・池田 勝・大野朋子 (2018年10月28日) 博物館における自然体験が幼児教育に与える影響. 平成30年度日本造園学会関西支部大会, 奈良県立大学(奈良市), [口頭発表].

中村久美子 (2019年2月15日) 幼児の博物館活動「ちこあそ」が繋げる新しい輪. 第26回全科協研究発表大会, 豊橋市自然史博物館(愛知県), [ポスター発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館共同研究「幼児の博物館体験と野外体験の効果」, 研究代表者(2018年度~2020年度).

琵琶湖博物館総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」(研究代表者:橋本道範), 研究分担者(2014年度~2018年度).

滋賀県立大学共同研究「カヤネズミの食性を決定する要因および糞中DNA分析手法に関する研究」(研究代表者:高倉耕一), 研究協力者(2017年度~2018年度).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本環境動物昆虫学会, 環境アセスメント動物調査手法研究部会, 運営委員, 2017年1月~.

日本生態学会, 生態学教育専門委員, 2018年4月~.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

質問コーナー・フロアトーク, 琵琶湖博物館, 11件.

はしかけ運営「ザ! ディスカバはしかけ」, 担当.

はしかけ運営「ちこあそ」, 担当.

2018年4月21日, 虹色びわこいのぼりをつくろう! 琵琶博×近美たいけんびじゅつかん, ディスカバリールームイベント, 琵琶湖博物館, 運営.

2018年6月23日, 虹色傘づくり, 琵琶湖博物館, 運営補助(ザ! ディスカバはしかけ).

2018年7月10日~8月31日, みんなで「カイコ絵日記」をつくろう! 琵琶湖博物館, 運営補助.

2018年7月31日, ほ乳類班, 自然調査ゼミナール, 琵琶湖博物館, 講師.

2018年8月19日, ヨシ灯りをつくろう! 琵琶湖博物館, 運営.  
2018年8月27日, ディスカバリールームについて, 博物館実習, 琵琶湖博物館, 講師.  
2018年10月23日~10月31日, かぼちゃを探そう! ディスカバリールームイベント, 琵琶湖博物館, 運営補助.  
2018年11月17日, 博物館の森を探検しよう, 琵琶湖博物館, 運営補助 (はしかけちっちなこどものしぜんあそび).  
2018年11月24日, 森の宝物探し, ディスカバリールームイベント, 琵琶湖博物館, 運営補助.  
2018年12月22日, はたきをつくろう! ディスカバリールームイベント, 琵琶湖博物館, 運営補助.  
2019年1月2日~1月14日, 2019年展示で干支めぐり, ディスカバリールームイベント, 琵琶湖博物館, 運営補助.  
2018年1月6日, お手玉をつくろう, 琵琶湖博物館, 運営補助(ザ! ディスカバはしかけ).  
2018年2月11日, ふろしきで遊ぼう! 琵琶湖博物館, 運営補助(ザ! ディスカバはしかけ).

### **他の博物館・機関等の主催行事**

2018年5月20日, ヨシ原の生き物について. びわこガイドフィッシングスクール in 琵琶博 (琵琶湖遊漁船業協会), 琵琶湖博物館, 講師.  
2018年8月4日, びわ湖の生きものを知ろう. 夏休み環境学習 in びわ博 (ダイハツ工業株式会社), 琵琶湖博物館, 講師.  
2018年9月1日, ミュージアムキッズ全国フェアひかりプロジェクト, みやこメッセ (京都市), 運営.  
2018年9月17日, ヨシ原の生きものに関する講義. 平成30年度びわこ大津草津景観推進協議会連携事業景観づくりチャレンジ隊~対岸景観クルーズ~, 琵琶湖博物館, 講師.  
2018年10月12日, 草地生態系について. 滋賀県高等学校理科教育研究会生物部会(動物研究部門)「草地の生きものたちと人の関わり」, 琵琶湖博物館, 講師.  
2018年11月11日, 博物館の仕事に関する講義. 中高生向けプロフェッショナルセミナー~プロの仕事や生き方をのぞいてみよう~ (滋賀の縁創造実践センター), 大津市科学館 (大津市), 講師.  
2018年12月1日, カヤネズミに関する現地調査. カヤネズミ調査隊 (TANAKAMI こども環境クラブ), 桂川 (京都市), 講師.  
2018年12月9日, 学芸員のしごとについて. 環境職業説明会 (大阪府立大学里環境の会 OPU), 大阪府立大学 (大阪府堺市), 講師.

### **視察等への対応**

2018年12月11日, ディスカバリールームの展示について, 島根県立三瓶自然館.

### **【資料整備活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

収蔵庫見学, 2件  
哺乳類標本の特別観覧, 13件.  
哺乳類標本の寄贈受け, 2件.  
ほ乳類標本の製作, 2件.  
ほ乳類標本の登録, 9件.  
カヤネズミ飼育個体の譲渡, 1件 (10個体)

### **【展示活動】**

#### **琵琶湖博物館の活動**

ディスカバリールーム展示物修繕・展示更新, 主担当.  
ディスカバリールームミーティング, 12回.  
モーニングレクチャー, 講義, 8件.  
交流員と話そう, 内容指導, 2件.

**【企画調整活動】**

新任研修，ディスカバリールームについての解説，講師，2018年4月25日，琵琶湖博物館.

**【新琵琶湖博物館創造室活動】**

第2期リニューアル ディスカバリールーム，主担当.

**館内の人事・館外活動等に関すること**

**【館内の人事】**

2018年4月～2019年3月，滋賀県博物館協議会記念事業，委員.

**【館外の活動】**

2018年10月28日，滋賀県博物館協議会，記念事業委員シンポジウム運営.

2018年9月6～8日，日本展示学会，展示論講座受講.

2018年6月13日，ヤンマーミュージアム屋上ビオトープ維持管理会議出席.

本年度は、「学校と博物館それぞれの特色を活かした利用法」というテーマで、博物館利用時の利用目的や利用方法が明確にできるような要素（教員向け展示見学ガイドや展示サポートシートなど）について、特に中学校や高等学校の利用状況を調べながら研究を進めた。中学校や高等学校は小学校とは異なり、総合的な学習の時間を利用して環境学習の一環で利用することが多いことがわかっている。したがって、各学校で行っている環境教育において、博物館の展示見学や体験学習プログラムの有効活用を目的とし、各学校の博物館の利用目的が明確になるような連携のあり方を模索した。

4月～9月の上半期は、学校団体や他の機関等との利用受付や相談、実施業務に従事した。特に、学校団体については、体験学習プログラムを併せた利用について、教員と相談・打合せを行った。遠足・校外学習以外にも、SSHや生物科学部、中高一貫教育での新規高度利用打合せも多かった。また、滋賀県教育委員会や滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課などの他機関と連携した事業の打合せも行った。連携事業に関しては、館内の職員・学芸員との連携も密にしながら当日の運営を行った。10月～3月の下半期は、上半期同様の業務に加え、10月、11月は別館の運営を本格的に行った。主に昼食時間帯の運営ではあるが、昨年度作成した別館の利用規約等に基づきながら運営した。運営していく中で、利用時間や利用方法などに修正を加えた。学校団体や介助を要する団体に対して、昼食休憩スペースとして別館を運営できた。

1年間を通して学校団体の受け入れ業務を行う中で、博物館の有効活用に向けた取り組みも実施することができた。教員向け研修会（初任者研修、環境教育研究協議会、各郡市理科部会研修など）では、教員向け展示見学ガイドやサポートシート、高度利用法を提案し、博物館での学習を充実させるための手段を考えてもらった。特に、教員向けガイドやサポートシートを活用した利用法を提案した教員研修会では、教員から良い評価を得ることができた。今後、特別支援学校を含めた学校団体の博物館有効活用について、幅広く提案していきたい。

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

小林偉真（2018）湖岸より 324 交流空間の充実、*中日新聞*、8月25日。

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

小林偉真（2019年1月18日）学校と博物館それぞれの特色を活かした利用法、琵琶湖博物館研究セミナー、琵琶湖博物館、[口頭発表]。

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「学校と博物館それぞれの特色を活かした利用法」（2018年度）。

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2018年12月～2019年3月、滋賀の教師塾塾生、団体向け体験プログラム実習・交流事業研修受け入れ、（奥野知之和共同）。

2018年12月12日、大阪ECO動物海洋専門学校、「団体向け体験学習プログラム」。

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

はしかけ運営「びわたん」、担当。

2018年4月～2019年3月、「ドキ土器！おしゃれもようを楽しもう！」等10講座。「琵琶湖博物館わくわく探検隊」事業、琵琶湖博物館、企画運営、10件（はしかけグループ「びわたん」「近江はたおり探検隊」「ほねほねクラブ」「森人」、滋賀県立近代美術館と共催・奥野知之と共同）。

2018年7月～2018年11月、琵琶湖学習2018（立命館守山中学校）、ミュージアムスクール、琵琶湖博物館、コーディネーター・講師、3件（奥野知之と共同）。

2018年7月～2018年11月、自然調査ゼミナール、琵琶湖博物館、企画運営・講師、4件（滋賀県中学校教育研究会理科部会と共催・奥野知之と共同）。

2018年8月31日、団体向け体験学習プログラム実習・学校連携事業について。博物館実習、琵琶湖博物館、実習・講義（奥野知之と共同）。

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年4月～2019年3月、学校団体向け体験学習（県内県外小中高等特別支援学校大学）、琵琶湖博物館、講師、108件（奥野知之と共同）。

2018年6月16日、体験学習プログラム（よし笛作り）研修（滋賀県立盲学校教職員）、琵琶湖博物館、講師。

2018年7月10日、琵琶湖について。水環境学習（高島市立湖西中学校）、高島市立湖西中学校（滋賀県）、講師。

2018年7月25日、体験学習プログラム（化石レプリカ作り）研修（交野支援学校教職員）、琵琶湖博物館、講師。

2018年8月3日、学校における博物館の有効活用。平成30年度しが環境教育研修会（滋賀県教育委員会幼小中教育課）、琵琶湖博物館、講師（奥野知之と共同）。

2018年8月8日、一般団体向け体験学習。久御山町保全再生課、琵琶湖博物館、講師（奥野知之と共同）。

2018年8月10日、琵琶湖の概要と滋賀県立琵琶湖博物館についての講義。甲賀市中学校理科部会実技講習会、琵琶湖博物館、講師。

2018年8月20日、体験学習プログラム「化石のレプリカづくり」。科学ヘジャンプ・イン・滋賀2018（近畿盲学校教育研究会教科指導部会）、琵琶湖博物館、講師（奥野知之と共同）。

2018年10月15日、琵琶湖環境学習。高島市立青柳小学校、高島市立青柳小学校（滋賀県）、講師。

2018年10月21日、指導技術の蓄積と伝達。滋賀県中学校教育研究会理科部会第5回環境教育委員会研修会、琵琶湖博物館、講師。

2018年11月6日～15日、琵琶湖博物館を活用した学習の在り方（実習）。初任者研修（滋賀県総合教育センター）、琵琶湖博物館、講師、4件（奥野知之と共同）。

2018年11月16日、琵琶湖環境学習「安曇小学校リバーウォッチング活動『達人の日』」（高島市立安曇小学校）、高島市立安曇小学校（滋賀県高島市）、講師。

2019年2月23日、博学連携における業務と研究についての講演。滋賀大学教育学部化学研究室理科教育研究会総会・研修会、滋賀大学大津サテライトプラザ（大津市）、講師。

#### 視察等への対応

2018年9月8日、施設ボランティアと「わくわく探検隊」について、公益財団法人ホシザキグリーン財団、（奥野知之と共同）。

2018年12月21日、博物館学校地域連携教育支援事業について、山口県立山口博物館。

2019年2月22日、展示室見学用ワークシートの作成方法について、大阪府島本町立第二中学校。

**【情報整備活動】**

*琵琶湖博物館の活動*

博物館高度利用に関わる事前打ち合わせ・コーディネート，担当，13件（奥野知之と共同）.

**【資料整備活動】**

*琵琶湖博物館の活動*

2018年4月～2019年3月，学校等標本貸出事業，担当，20件.

**【展示活動】**

*琵琶湖博物館の活動*

モーニングレクチャー，講義，8回.

**【企画調整活動】**

草津帰帆島スプリングフェス，よし笛づくりのワークショップ，講師，2018年6月1日，矢橋帰帆島（滋賀県草津市），（奥野知之と共同）.

**【新琵琶湖博物館創造室活動】**

第2期リニューアル 大人のディスカバリーに関すること，副担当.

2018年度は育児休暇から復帰し、4月から育児短時間勤務を利用し育児と仕事の両立を初めて行う一年であった。勤務時間が短い中で、各チーム内の人々の協力を得ながら、可能な限りの業務を行った。

博物館事業としては、IPMに関する事業の主担当として従事した。生物環境調査と合わせ、虫の侵入が懸念される箇所における防虫対策の強化として、特別清掃の計画や劣化した防虫ブラシの取り換え等を行い、カビの発生が懸念されている箇所における一斉清掃を実施するなど、長年の博物館運営で問題となっていた箇所における改善を行った。

水族管理担当業務としては、飼育事業者との調整を行うと共に、設備管理・修繕の調整に従事した。多くの来館者を楽しんでいただいているバイカルアザラシの餌やりタイムでは、施設の構造上、見学者が多い日には見えにくいなどの意見をいただくため、館内整理ならびに、より見やすい給餌時間となるよう来館者の立ち位置を誘導する案内を行うなどの改善を行った。

研究としては、2017年度から着手している、バイカルアザラシの摂取栄養に関する基礎的研究を継続的に行い、中間報告を行った。また、他の飼育施設との比較も進め、バイカル湖におけるバイカルアザラシの研究者との情報交換も行っている。さらに、報告例のないアザラシの皮膚炎研究についても継続的に調査を進めている。

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

佐々木 梢・松岡由子・浅川満彦 (2019) 琵琶湖における地域漁業対象魚類等の寄生虫保有状況 (予報). *酪農学園大学紀要*, 2 (43) : 111-115.

### 【一般向けの著作】

松岡由子 (2018) びわ博 こだわり展示の裏話 25 アザラシ専用トンネル!? 開放しました. *毎日新聞*, 6月12日.

松岡由子 (2019) 琵琶湖の魚たち 毎晩 湖底から浮かび上がる「イサザ」. *産経新聞*, 2月23日.

松岡由子 (2019) 湖岸より 338 アザラシも暁を覚えず? *中日新聞*, 3月9日.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

松岡由子 (2018年6月13日) バイカルアザラシの餌料分析. 第84回近畿ブロック水族館飼育係研修会, 海遊館 (大阪市), [口頭発表].

松岡由子 (2018年9月2日) *Mycobacterium chelonae* による肉芽腫性皮膚炎を患っていた飼育下バイカルアザラシ (*Phoca sibirica*) の生前検査と死亡時の比較. 第24回日本野生動物物医学会大会, 大阪府立大学りんくうキャンパス (大阪府泉佐野市), [口頭発表].

松岡由子・中村久美子・高橋啓一・三島弘幸・岡本 実 (2018年9月19日) 飼育下カヤネズミにおける歯の年齢査定を試み. 平成30年度近畿ブロック動物園水族館臨床研究会, ホテル金波楼 (兵庫県豊岡市), [口頭発表].

松岡由子 (2019年3月15日) バイカルアザラシの研究—餌料分析—. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「飼育下バイカルアザラシの摂取カロリーに関する研究 2」(2018年度).

**【学会等の役職・運営、論文の査読など】**

日本野生動物医学会，学術・教育委員会委員，2016～2021 年度.

## 博物館事業に関する業績

**【交流・サービス事業】**

*琵琶湖博物館の主催行事*

はしかけ運営「ほねほねくらぶ」，担当.

**【資料整備活動】**

*琵琶湖博物館の活動*

防虫防黴対策，生物環境調査，主担当，3 件.

収蔵庫温湿度管理，副担当.

バイカルアザラシの安定的飼育，飼育指導と動物状態管理，一日 1 回給餌立ち会い.

バイカルアザラシの健康診断，作業管理および血液・細菌検査，12 件.

展示両生類の健康管理，飼育指導および細菌検査と治療，7 件.

その他水族飼育・管理.

株式会社海の中道海洋生態科学館，バイカルアザラシ骨格標本 1 体，受贈.

**【研究部関連事業】**

研究最前線揭示，主担当.

薬品在庫管理，主担当.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

はしかけ「温故写新」、オブザーバー。

2019年3月11日～14日、からすま半島のほ乳類調査、琵琶湖博物館、実施補助。

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年11月10日、集まれ！愛岐の里山たいけん隊～秋の里山にいこう！～（「なごや環境大学」実行委員会）、  
名古屋市愛岐処分場（岐阜県多治見市）、運営補助。

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

Photo CDのフィルム対応リスト，作成。

大橋コレクション，登録準備。

画像データベース，資料データの修正，35件。

映像資料，特別観覧対応，17件（151点）。

映像資料，館内利用対応，19件（223点）。

寄贈資料，受け入れ対応。

フィルム写真のデジタルデータ化，9件（約910枚）。

動画収集・仮登録，103点。

動画の媒体変換，1件（3点）。

資料撮影，5回。

映像収蔵庫・写場の維持管理。

定期清掃（映像収蔵庫），24回。

定期清掃（写場），12回。

定期清掃（映像資料整理室），12回。

定期清掃（収蔵庫廊下），6回。

特別清掃（民俗収蔵庫1・環境収蔵庫）。

特別清掃（動物標本製作室）。

特別清掃（前室）。

生物環境調査，トラップ設置・回収，3回。

生物環境調査報告書作成・報告，2回。

シバンムシトラップ設置・回収，2回。

標本害虫の同定，2回。

収蔵庫空間の害虫進入対策。

Ph測定（7箇所）。

乳剤散布。

蔵書点検。

**【展示活動】**

*琵琶湖博物館の活動*

2018年7月6日～12月24日，おとなのディスカバリー植物コーナー「植物と文化」，展示.

2019年3月23日～5月6日，ギャラリー展示「琵琶湖漁具図鑑―魚つかみの道具のヒミツ」，展示準備.

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

渡部圭一・三樹友梨香 (2019) 比良山麓の「石屋」用具調査. *地域の歴史から学ぶ災害対応 比良山麓の伝統知・地域知*. 総合地球環境学研究所, 京都, 38-41.

### 【一般向けの著作】

三樹友梨香 (2018) おうみ漁具図鑑 8 ミスクイー奥深い歴史を秘める. *京都新聞*, 7月12日.

三樹友梨香 (2019) おうみ漁具図鑑 22 ドンジョバサミードジョウ「きゅっと」捕獲. *京都新聞*, 2月7日.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

2018年8月28日, 民俗収蔵庫の見学. 博物館実習, 琵琶湖博物館, 案内.

2019年3月23日, 教科書にでてくるムラ 今堀. 新琵琶湖学セミナー, 琵琶湖博物館, 運営補助.

#### 視察等への対応

2018年5月19日, 民俗収蔵庫の見学, 京都造形芸術大学, 琵琶湖博物館.

2018年6月24日, 民俗収蔵庫の見学, 京都文教大学, 琵琶湖博物館.

2018年8月1日, 民俗収蔵庫の見学, 仏教大学通信教育課程, 琵琶湖博物館.

2018年11月4日, 民俗収蔵庫の見学, 京都造形芸術大学, 琵琶湖博物館.

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

寄贈資料, 受入対応, 7件.

環境収蔵庫資料, 特別観覧対応.

民俗収蔵庫資料, 特別観覧対応, 2件.

無形民俗文化財調査・聞き取り, 調査・記録, 5件.

有形民俗文化財調査・聞き取り, 調査・記録, 13件.

考古収蔵庫資料, 貸出対応補助.

定期清掃 (収蔵庫廊下), 5回.

定期清掃 (B展示室), 17回.

民俗資料クリーニング業務対応.

B展示室大掃除.

産業廃棄物処理作業.

生物環境調査, トラップ設置回収 (民俗収蔵庫1・民俗収蔵庫2・環境収蔵庫), 3回.

**【展示活動】**

**琵琶湖博物館の活動**

2018年3月23日～2019年5月6日，ギャラリー展示「琵琶湖 漁具図鑑―魚つかみの道具のヒミツ」，担当.

名誉学芸員

特別研究員 (研究テーマ: 博物館における生物と文化の多様性に関する研究・展示・普及)

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

川那部浩哉 (2019) 2018 年読書アンケート. *みすず (みすず書房)*, 61(1/2): 14-15.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会への参加】

川那部浩哉 (2018 年 5 月 12 日) 柿田川生態系研究会富士山視察会・研究会, 夏狩湧水群・富士山科学研究所 (山梨県富士吉田市)・御殿場高原ホテル (静岡県御殿場市).

川那部浩哉 (2019 年 1 月 22 日) 河川生態学術研究会運営委員会, リバーフロント研究所 (東京都中央区).

川那部浩哉 (2019 年 3 月 17 日~19 日) 第 66 回日本生態学会大会, 神戸国際会議場 (神戸市).

### 【学会等の役職】

生き物文化誌学会, 評議員.

International Journal of Ecology and Environmental Biology, 編集顧問.

Environmental Biology of Fishes, 編集顧問.

京の川の恵みを活かす会, 顧問.

応用生態工学会, 名誉会員.

DIVERSITAS (生物多様性科学国際共同計画) 科学委員会, 顧問.

日本生態学会, 名誉会員.

Hydrobiologia, 編集顧問.

Brasilian Journal of Biology, 編集顧問.

リバーフロント研究所 河川・海岸環境機能等検討委員会 (河川生態学術研究会・河川生態学術研究運営委員会・柿田川生態系研究会), 委員.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018 年 4 月 19 日, 山村振興調査会講演会, 東海大学校友会館 (東京都千代田区), 講演.

2018 年 4 月 24 日, 京の川の恵みを活かす会総会, 職員会館かもがわ (京都市), 提言.

2018 年 5 月 14 日, 自然保護助成基金理事会, 渋谷区文化総合センター大和田 (東京都), 提言.

2018 年 5 月 25 日, 京都新聞社会福祉事業団理事会, 京都新聞社 (京都市), 提言.

2018 年 6 月 6 日, 世界自然保護基金ジャパン理事会, 世界自然保護基金ジャパン (東京都港区), 提言.

2018 年 6 月 9 日, 反原発と環境問題の会, コープ京都 (京都市), 提言.

2018 年 6 月 12 日, 京都新聞社会福祉事業団理事会, 京都新聞社 (京都市), 提言.

2018 年 9 月 5 日, 世界自然保護基金ジャパン理事会, 世界自然保護基金ジャパン (東京都港区), 提言.

2018 年 10 月 11~12 日, 硫黄山・藻琴山・摩周湖・野付半島秋季水鳥類観察会および川湯温泉・屈斜路湖・仁伏温

泉見学会（中標津青い鳥動物病院），中標津青い鳥動物病院（北海道中標津町）ほか，提言。  
2018年11月19日，国際生物学賞国際生物学賞授賞式，日本学士院（東京都台東区），コメント。  
2018年11月23日，自然環境保全京都府ネットワーク講演会，琵琶湖博物館，講演。  
2018年12月1日，自然保護助成基金助成成果発表会・理事会，アーバンネット神田カンファレンス（東京都千代田区），提言・コメント。  
2018年12月9日，自然と緑，自然大学：水域生態系－水と生きる，近畿中国森林管理局（大阪市），講演。  
2019年1月26日，寺田武彦法律事務所新年会，島津メディカルプラザ（京都市），提言。  
2018年2月25日，日本自然保護協会参与会，日本自然保護協会（東京都中央区），提言。  
2019年3月10～12日，商船三井船舶，にっぽん丸クルーズ，にっぽん丸（東京都島嶼部），視察。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2018年度，琵琶湖博物館名誉学芸員。  
2018年度，琵琶湖博物館特別研究員。

### 【海外渡航】

2018年4月9日～16日，バスク地方の自然と文化に関する調査研究。  
2019年2月12日～22日，リスボンとアルガルヴェ地方の自然と文化に関する調査研究。

### 【館外の活動】

朝日 21 関西スクエア，会員。  
石垣島白保に空港を作らせない会，会員。  
環境問題研究会，会員。  
九条科学者の会，会員。  
京都新聞社会福祉事業団，理事。  
京都創成百人委員会，委員。  
京都文化芸術会議，委員。  
京の川の恵みを活かす会，顧問。  
魚類自然史研究会，会員。  
黒潮実感センター，会員。  
国際生物学賞委員会，委員。  
子どもと川とまちのフォーラム，顧問。  
自然と緑「自然大学」，教授。  
自然保護助成基金，理事。  
政治に冷静な理性を取り戻す会，会員。  
世界自然保護基金ジャパン，理事。  
地球環境関西フォーラム企画委員会，委員。  
地球環境関西フォーラム生物多様性部会，委員。  
地球環境関西フォーラム100人委員会，委員。  
長良川河口堰に反対する会，会員。  
長良川市民学習会，会員。  
日本魚類学会，会員。  
日本自然保護協会，参与。  
日本陸水学会，会員。  
水俣病センター相思社，会員。

水俣フォーラム, 会員.

八重山白保の海を守る会, 会員.

名誉学芸員

特別研究員 (研究テーマ: 住民による公立博物館への期待とその社会的役割についての研究)

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

- 布谷知夫 (2018) やりたいことを、やりましょう. ミュージアムパートナー通信 (三重県総合博物館), 41 : 1.
- 布谷知夫 (2018) 自然観察のテーマ 118 樹木の生長と樹皮. *じねんじょレターズ* (NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会), 122 : 1-3.
- 布谷知夫・神田・石川 (2018) 大阪城公園の自然観察会. *じねんじょレターズ* (NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会), 122 : 4-6.
- 布谷知夫 (2018) 何を指して進みはじめるのか. ミュージアムパートナー通信 (三重県総合博物館), 43 : 1.
- 布谷知夫 (2018) 食卓の植物学. *都市と自然* (大阪自然環境保全協会), 503 : 8.
- 布谷知夫 (2018) 自然観察のテーマ 119 気にかかって調べたこと. *じねんじょレターズ* (NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会), 123 : 1-3.
- 布谷知夫 (2018) 自然観察のテーマ 120 アオギリの観察. *じねんじょレターズ* (NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会), 124 : 1-3.
- 布谷知夫 (2018) 自然観察のテーマ 121 ヤツデとケヤキの観察. *じねんじょレターズ* (NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会), 125 : 1-3.
- 布谷知夫・稲原 香 (2019) あたらしい発想で「文化」を発信. *聖教新聞*, 1月20日.
- 布谷知夫 (2019) 「第1回博物館教育研究会」報告 三重県総合博物館の展示の工夫・三重県総合博物館の来館者用語分析から. *学会ニュース* (全日本博物館学会), 127 : 5-6.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

- 布谷知夫 (2018年12月1日) 展示で何を伝えることができるのか. 全日本博物館学会 2018年度博物館第1回教育研究会「展示で伝えられること」, 三重県総合博物館 (津市), [口頭発表].

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 全日本博物館学会, 会長, 2018年4月~2019年3月.  
博物館学雑誌, 査読, 3件.

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

- 2018年4月~9月, 三重大学生物科学部, 「博物館資料論」.  
2018年4月1日~2019年3月31日, 放送大学, 「博物館概論」.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

- 2018年11月24日, 樹冠トレイルウォーク, 植物観察はしかけ野外展示での植物観察, 琵琶湖博物館, 指導.

### 他の博物館・機関等の主催行事

- 2018年4月8日, 日本の博物館は何を目指したのか. 平成30年度三重県総合博物館ミュージアムパートナー総会, 三重県総合博物館(津市), 講演.
- 2018年5月8日, 中期活動計画について. 香川県立ミュージアム, 香川県立ミュージアム(高松市), 講師.
- 2018年9月6日, 子ども対象の展示とワークショップ(東北歴史博物館), 東北歴史博物館(宮城県多賀城市), シンポジウムコメンテーター.
- 2018年9月19日, 博物館とエドゥケーター. 第8回文化庁エドゥケーター研修(文化庁), 東京都美術館(東京都台東区), 講師.
- 2018年9月19日~21日, 第8回文化庁エドゥケーター研修(文化庁), 東京都美術館(東京都台東区), 全体コーディネーター.
- 2018年9月23日, JT生命誌研究館見学. 三重県総合博物館ミュージアムパートナー, JT生命誌研究館(大阪府高槻市), 案内.
- 2018年10月17日, 博物館の地域社会との関係. JICA博物館とコミュニティー開発コース(JICA・国立民族学博物館), 国立民族学博物館(大阪府吹田市), 講師.
- 2018年10月7日, 答志島でアサギマダラの観察と採検. 三重県総合博物館・ミュージアムパートナー, 答志島(三重県鳥羽市), 講師.
- 2018年11月13日, 三重県総合博物館の展示と運営. JICA博物館とコミュニティー開発コース(JICA・国立民族学博物館), 三重県総合博物館(津市), 講師.
- 2018年11月30日, 博物館施設の理念とリニューアルの話し合い(横浜美術館教育普及チーム), 横浜美術館(横浜市), 講師.
- 2018年12月24日, 博物館教育の在り方とエドゥケーターの役割. 横浜美術館教育普及担当係職員研修会, 横浜美術館(横浜市), 講師.
- 2019年1月27日, シンポジウム挨拶. 緊急シンポジウム「スポーツ博物館の未来を考える」(全日本博物館学会・日本展示学会・日本ミュージアムマネジメント学会), 東京都美術館(東京都台東区), 挨拶.
- 2019年2月7日, 博物館の社会的役割. 第8回文化庁マネジメント研修(文化庁企画調整課), 東京国立博物館黒田記念館(東京都台東区), 講師.
- 2019年2月7日~8日, 第8回文化庁マネジメント研修(文化庁企画調整課), 東京国立博物館黒田記念館(東京都台東区), 全体コーディネーター.
- 2019年3月2日, まとめと今後の方向. 平成30年度シンポジウム・これからの博物館制度のあるべき姿~博物館法見直しの方向性をさぐる~(日本博物館協会), 東京文化財研究所(東京都台東区), 講演.
- 2019年3月7日, 博物館の社会的役割と展示. 講演会・博物館リニューアル・先進事例に学ぶ(千葉中央博物館), 千葉県立千葉中央博物館(千葉市), 講演.
- 2019年3月21日, パネルディスカッション. プナシンポジウム「和泉葛城山のブナを語る」(岸和田市教育委員会・貝塚市教育委員会・大阪緑のトラスト協会), 岸和田だんじり会館(大阪府), パネリスト.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

- 2018年4月1日~2019年3月31日, 琵琶湖博物館名誉学芸員.
- 2018年4月1日~2019年3月31日, 琵琶湖博物館特別研究員.

### 【館外の活動】

- 2018年4月1日~2019年3月31日, 三重県総合博物館ミュージアムパートナー, 会長.
- 2018年4月1日~2019年3月31日, 京都府希少野生生物保全推進員.
- 2018年4月1日~2019年3月31日, 文化庁研修企画運営委員会, 座長.
- 2018年4月1日~2019年3月31日, 和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会, 会長.

2018年4月1日～2019年3月31日, タカラフオールディング助成評価委員会, 委員.  
2018年4月1日～2019年3月31日, 守山市下之郷保存整備活用基本計画検討部会, 委員.  
2018年4月1日～2019年3月31日, 日本ヨシ笛協会, 顧問.  
2018年4月1日～2019年3月31日, 関西自然保護機構, 監事.  
2018年4月1日～2019年11月31日, 鶺鴒ヨシ原の環境保全に関する検討会, 委員.  
2018年12月1日～2019年3月31日, 鶺鴒ヨシ原の筆築用ヨシに関するモニタリングワーキンググループ, 委員.  
2018年4月1日～2019年3月31日, NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会, 顧問.  
2018年4月1日～2019年3月31日, 自然観察指導員三重県連絡会, 顧問.  
2018年4月1日～2019年3月31日, 特定非営利法人西日本自然史系博物館ネットワーク, 監事.  
2018年9月1日～2019年12月31日, 文部省委員.  
2018年4月1日～2019年3月31日, 香川県立ミュージアム展示アドバイザー.

名誉学芸員

特別研究員 (研究テーマ: コイ科魚類の咽頭歯からみた湖と人の関わりについての研究)

---

## 印刷物

### 【学術論文】

中島経夫・廣田大輔・瀧 弘明・北林栄一 (2018) 大分県安心院盆地の鮮新統津房川層から産出した咽頭骨・咽頭歯化石. *琵琶湖博物館研究調査報告書「安心院動物化石群2」*, 31 : 18-27.

中島経夫 (2018) コイ科魚類の咽頭歯. *季刊考古学*, 144 : 59-62.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

Nakajima, T. (2018年11月29日) Pharyngeal tooth remains from the prehistoric archeological sites in Japan and China. Neolithisation from the Seas of Japan across the North Eurasian Greenbelt: International Workshop on developing an interdisciplinary perspective merging archaeology, geography, linguistics, anthropology, genetics and biology, Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures (Norwich, England), [口頭発表].

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2018年度, 琵琶湖博物館名誉学芸員.

2018年度, 琵琶湖博物館特別研究員.

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

前畑政善 (2019) *ビフコオオナマズの秘密を探る*. 琵琶湖博物館ブックレット⑨, サンライズ出版, 彦根, 128p.

## 研究活動に関する業績

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本魚類学会自然保護委員会, 希少淡水魚問題検討部会長, 2014年6月~2019年9月.

神戸学院大学人文学会, 委員.

人間と文化 (H & S), 査読, 1件.

### 【受賞など】

Zoological Science Award (論文賞), 2018年4月23日, Zoological Science 34(4) に掲載された論文「Laterality is universal among fishes but increasingly cryptic among derived groups」においてさまざまな魚類分類群における左右性を網羅的に解析し、系統樹にマッピングして進化プロセスを解析することで、魚類における左右性の普遍性を示した成果に対する受賞 (受賞者: Horii M, Nakajima M, Hata H, Yasugi M, Takahashi S, Nakae M, Yamaoka K, Kohda M, Kitamura JI, Maehata M, Tanaka H, Okada N, Takeuchi Y.).

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2018年度, 琵琶湖博物館名誉学芸員.

2018年度, 琵琶湖博物館特別研究員.

### 【館外の活動】

2018年6月~2020年5月, 滋賀県環境審議会, 自然環境部会, 部会長.

2018年2月~2019年3月, 京都市文化財保護課, 外来種中国産オオサンショウウオ対策検討会, 委員.

2016年6月~2020年3月, 京都府建設交通部河川課, 畑川ダム環境保全検討委員会, 委員.

2018年11月~2019年11月, (独) 水資源機構, 近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会, 委員.

2018年5月~2019年4月, (独) 水資源機構 (関西・吉野川支社), 平成30年度河川水辺の国勢調査 (ダム湖編), アドバイザー.

2018年7月~2021年6月, 環境省自然環境局, 希少野生動植物種保存推進員.

2018年9月~2019年3月, 環境省, 琵琶湖における底層溶存酸素量類型指定検討会, 委員.

2011年4月~2021年3月, 神戸学院大学人文学部, 教授.

## 印刷物

### 【学術論文】

用田政晴（2018）首長墓の墳丘外区画一和邇大塚山古墳の再々検討一. *淡海文化財論叢*, 10 : 42-45.

### 【専門分野の著作】

用田政晴（2019）日本の新しい博物館像と重なる伊吹山文化資料館. *伊吹山文化資料館年報*, 20 : 50-53.

用田政晴（2019）はじめに. *学校収蔵民具の再発見事業 II*, 学校収蔵民具の再発見事業実行委員会, 1.

## 研究活動に関する業績

### 【研究プロジェクト等への参加】

文化庁文化遺産総合活用推進事業（文化芸術振興費補助金）「学校収蔵民具の再発見事業」, 研究代表者（2018年度）.  
アジア考古学研究機構「アジアの考古と民俗」, 研究代表者（2018年度）.

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

アジア考古学研究機構, 代表.

日本民具学会, 評議員.

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

同志社大学政策学部, 嘱託講師.

立命館大学文学部, 授業担当講師.

京都造形芸術大学芸術学部, 非常勤講師.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年12月9日, 日本の新しい博物館像と重なる伊吹山文化資料館. 米原市伊吹山文化資料館20周年企画講演会・シンポジウム, 伊吹山文化資料館（滋賀県米原市）, [基調講演].

2019年3月9日, 大吉寺と湖北の山岳寺院. 長浜市歴史講演会4, あざいカルチャー&スポーツビレッジ（滋賀県長浜市）, [基調講演].

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2018年度, 琵琶湖博物館名誉学芸員.

2018年度, 琵琶湖博物館特別研究員.

**【海外渡航】**

2018年8月19日～8月22日，韓国濟州島，博物館資料・遺跡調査.

**【館外の活動】**

稲部遺跡群調査検討委員会，委員長.

文化庁文化遺産総合活用推進事業，学校収蔵民具の再発見事業実行委員会，委員長.

名勝青岸寺庭園調査，指導委員会，委員.

## 印刷物

## 【学術論文】

- Grygier, M. J. and Suárez-Morales, E. (2018) Recognition and partial solution of nomenclatural issues involving copepods of the family Monstrillidae (Crustacea: Copepoda: Monstrilloida). *Zootaxa*, 4486 (4): 497-509.
- Nakano, T., Tomikawa, K. and Grygier, M. J. (2018) Rediscovered syntypes of *Procrangonyx japonicus*, with nomenclatural consideration of some crangonyctoidean subterranean amphipods (Crustacea: Amphipoda: Allocrangonyctidae, Niphargidae, Pseudocrangonyctidae). *Zootaxa*, 4532 (1): 86-94.

## 【専門分野の著作】

- International Commission on Zoological Nomenclature (2018) Opinion 2411 (Case 3699) - *Thorectes* Mulsant, 1842 (Insecta, Coleoptera, SCARABAEOIDEA): usage conserved by maintenance of *Scarabaeus laevigatus* Fabricius, 1798 as type species. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 75, International Commission on Zoological Nomenclature : 79-81 [特にグライガー委員の意見: 80].
- International Commission on Zoological Nomenclature (2018) Opinion 2412 (Case 3485) - *Lychnorhiza lucerna* Haeckel, 1880 (Cnidaria, Scyphozoa, Rhizostomeae): generic and specific names not conserved; and *Rhizostoma cruciatum* Lesson, 1830: neotype designated. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 75, International Commission on Zoological Nomenclature : 173-176 [特にグライガー委員の意見: 175-176].
- International Commission on Zoological Nomenclature (2018) Opinion 2413 (Case 3616) - *Neobisium* Chamberlin, 1930, NEOBISIOIDEA Chamberlin, 1930, NEOBISIIDAE Chamberlin, 1930 and NEOBISIINAE Chamberlin, 1930, (Arachnida, Pseudoscorpiones, Chelonethi): proposed conservation by designation of *Obisium muscorum* Leach, 1817 as the type species of *Obisium* Leach, 1814 not approved. *Bulletin of Zoological Nomenclature (International Commission on Zoological Nomenclature)*, 75: 177-180 [特にグライガー委員の意見: 178].
- International Commission on Zoological Nomenclature (2018) Opinion 2414 (Case 3623) - *Grallaria fenwickorum* Barrera & Bartels in Barrera, Bartels & Fundación ProAves de Colombia, 2010 (Aves, GRALLARIIDAE): replacement of an indeterminate holotype by a neotype not approved. *Bulletin of Zoological Nomenclature (International Commission on Zoological Nomenclature)*, 75: 181-186 [特にグライガー委員の意見: 183-184].
- International Commission on Zoological Nomenclature (2018) Opinion 2415 (Case 3635) - *Antheraea roylei* Moore, 1859 (Insecta, Lepidoptera, SATURNIIDAE): specific name not conserved when considered synonymous with that of the supposed wild progenitor *Antheraea pernyi* (Guérin-Méneville, 1855) *Bulletin of Zoological Nomenclature (International Commission on Zoological Nomenclature)*, 75: 187-189 [特にグライガー委員の意見: 188-189].
- International Commission on Zoological Nomenclature (2018) Opinion 2418 (Case 3670) - *Chilicola vicugna* Toro & Moldenke, 1979 (Insecta, Hymenoptera, COLLETIDAE): neotype not designated. *Bulletin of Zoological Nomenclature (International Commission on Zoological Nomenclature)*, 75: 262-263 [特にグライガー委員の意見: 263].
- International Commission on Zoological Nomenclature (2018) Opinion 2421 (Case 3681) - *Liancalus* Loew,

1857 and *Scellus* Loew, 1857 (Insecta, Diptera, DOLICHOPODIDAE): usage conserved. *Bulletin of Zoological Nomenclature (International Commission on Zoological Nomenclature)*, 75: 270-274 [特にグライガー委員の意見: 274].

International Commission on Zoological Nomenclature (2018) Opinion 2422 (Case 3683) - *Cylindrus* Fitzinger, 1833 (Mollusca, Gastropoda, HELICIDAE): usage conserved. *Bulletin of Zoological Nomenclature (International Commission on Zoological Nomenclature)*, 75: 275-278 [特にグライガー委員の意見: 277].

International Commission on Zoological Nomenclature (2018) Opinion 2424 (Case 3692) - *Columba domestica livia* Gmelin, 1789 and *Columba oenas domestica* Linnaeus, 1758 (Aves, COLOMBIDAE): specific and subspecific names conserved for *Columba livia* and *Columba livia domestica*. *Bulletin of Zoological Nomenclature (International Commission on Zoological Nomenclature)*, 75: 282-284 [特にグライガー委員の意見: 283].

International Commission on Zoological Nomenclature (2018) Opinion 2429 (Case 3717) - XYLOPHAGIDAE Purchon, 1941 (Mollusca, Bivalvia): emended to XYLOPHAGIDAIDAE to remove homonymy with XYLOPHAGIDAE Fallén, 1810 (Insecta, Diptera). *Bulletin of Zoological Nomenclature (International Commission on Zoological Nomenclature)*, 75: 297-299 [特にグライガー委員の意見: 298].

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

Grygier, M. J., Olesen, J., Dreyer, N. and Høeg, J. T. (2018年5月23日) A new and mysterious internal structure of nauplius larvae: a “ghostly” support sling for the y-cypris present within last-instar exuviae of nauplius y (Crustacea: Thecostraca: Facetotecta). Ninth International Crustacean Congress (ICC 9), The Smithsonian Institution and The Crustacean Society, Renaissance Hotel (Washington, D.C., U.S.A.), [ポスター発表].

Grygier, M. J., Dreyer, N., Olesen, J. and Høeg, J. T. (2018年5月23日) A tour of the fantastic diversity of body forms of “nauplius y” (Crustacea: Thecostraca: Facetotecta), as exemplified by populations in Okinawa and Taiwan. Ninth International Crustacean Congress (ICC 9), The Smithsonian Institution and The Crustacean Society, Renaissance Hotel (Washington, D.C., U.S.A.), [ポスター発表].

Dreyer, N., Grygier, M. J., Chan, B. K. K., Høeg, J. T. and Olesen, J. (2018年5月24日) A journey into the unknown: past, present and future studies of the elusive crustacean y-larvae. Symposium: Frontiers in the Ecology and Biology of the Thecostraca. Ninth International Crustacean Congress (ICC 9), The Smithsonian Institution and The Crustacean Society, Renaissance Hotel (Washington, D.C., U.S.A.), [口頭発表].

Olesen, J., Kolbasov, G. A., Petrunina, A. S., Chan, B. K. K., Dreyer, N. and Grygier, M. J. (2018年5月24日) Video recordings of the swimming behavior of nauplii and “Tessmann’s larvae” of several kinds of Ascothoracida from Taiwan (Crustacea: Thecostraca: Synagogidae, Petrarciidae, Lauridae). Symposium: Frontiers in the Ecology and Biology of the Thecostraca. Ninth International Crustacean Congress (ICC 9), The Smithsonian Institution and The Crustacean Society, Renaissance Hotel (Washington, D.C., U.S.A.), [口頭発表].

### 【インターネットページでの公表】

Pape, T., Aescht, E., Ahyong, S. T., Ballerio, A., Bertling, M., Bogutskaya, N. G., Bouchard, P., Bourgoin, T., Dmitriev, D., Evenhuis, N. L., Grygier, M. J., Halliday, R. B., Harvey, M. S., Kojima, J., Kottelat, M., Krell, F.-T., Kullander, S. O., Lamas, G., Lyal, C. H. C., Pyle, R.,

Rheindt, F. E., Rosenberg, G., Welter-Schultes, F., Winston, J. E., Yanega, D., Zhang, Z.-Q. and Zhou, H.-z. (2018年9月27日) Rio de Janeiro Museum fire: what to do about the massive loss of type specimens? eLetter to *Science*, American Association for the Advancement of Science, <<http://science.sciencemag.org/content/361/6406/960/tab-e-letters>>.

#### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館共同研究『『田んぼの生きもの全種リスト』の増補更新と公開システムの構築』（研究代表者：大塚泰介），共同研究者（2017年度～2020年度）。

（デンマーク）Velux Foundations, VILLUM Experiment grant 「The adult Y-animal - a 100+ year old enigma in marine biology」（研究代表者：Jørgen Olesen），共同研究者（2017年度～2019年度）。

#### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

The Crustacean Society, *Journal of Crustacean Biology*, Associate Editor, 査読, 7件.

Springer, *Systematic Parasitology*, Associate Editor.

Zoological Institute, Russian Academy of Sciences, *Zoosystematica Rossica*, Editorial Board.

2018年4月1日更新, 国立科学博物館, *Bulletin of the National Museum of Nature and Science, Series A (Zoology)*, 編集委員.

動物命名法国際審議会, *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 査読, 5件.

The Society for Integrative and Comparative Biology, *Integrative and Comparative Biology*, 査読, 1件.

Taylor & Francis, *Marine Biology Research*, 査読, 1件.

#### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

Grygier, Mark J. (2018年7月6日) Zooxanthellae on coral reefs and other endosymbionts of cnidarians.

Summer School on Marine Environment and Fishery Resources under Global Change, (台湾) 國立臺灣海洋大學, 講師.

#### 【受賞など】

囊胸類: *Synagoga grygieri* Kolbasov and Newman, 2018 [*Marine Biodiversity*, <https://doi.org/10.1007/s12526-018-0892-7>], 新種の記載で献名される.

## 博物館事業に関する業績

#### 【交流・サービス活動】

##### 琵琶湖博物館の主催行事

2018年7月10日, はしかけ「田んぼの生き物調査グループ」, 標本同定会への参加.

##### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年7月17日, 客員講演: Monstrilloida, Ascothoracida, and Facetotecta, often overlooked crustacean components of the parasito-plankton of Japan, the Ryukyus, and Taiwan. (台湾) 國立海洋生物博物館, 台湾省屏東縣車城鄉後灣村, [客員講師].

#### 【展示活動】

##### 琵琶湖博物館の活動

常設展示「琵琶湖博物館研究最前線」, パネル更新.

## 館内人事、館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2018 年度，琵琶湖博物館名誉学芸員.

2018 年度，琵琶湖博物館特別研究員.

### 【館外の活動】

2018 年 5 月 1 日更新，（台湾）國立臺灣海洋大學海洋中心，専案助理研究員に任命された.

（米国）スミソニアン研究所国立自然史博物館，協力研究員.

（米国）ロサンゼルス郡立自然史博物館資料・研究部（無脊椎動物学研究科），協力研究員.  
動物命名法国際審議会，委員.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

- 原田雅子・北村美香（2018年6月3日）博物館職員を対象とした展示の新たな見方を促す研修プログラムの開発2，第23回日本ミュージアム・マネジメント学会，京都国立博物館（京都市），[ポスター発表].
- 山下和子・西澤真樹子・北村美香（2018年6月3日）環境教育の現場に活かすー自然科学系ミュージアムでの子どもワークショップの現状調査と人材育成ー，第23回日本ミュージアム・マネジメント学会，京都国立博物館（京都市），[ポスター発表].
- 島津斉明・西澤真樹子・山下和子・北村美香（2018年6月24日）博物館におけるワークショップの実践知の共有をめざして．第44回全日本博物館学会研究大会，明治大学駿河台校舎（東京都千代田区），[口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 科学研究費助成事業（基盤C）「幼児と教員のミュージアム・リテラシーを育てる学習支援ツールの開発とその効果の検証」（研究代表者：釋知恵子），研究協力者（2016～2018年度）.
- 平成30年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業「進化系アーカイブと旅するミュージアム」（事業代表者：笠井敏光），外部委員（2018年度）.
- 平成30年度河川基金川づくり団体部門助成事業「琵琶湖淀川水系での治水・利水を学ぶ学習ツールの開発と活用」，事業代表者（2018年度）.
- 平成30年度近畿建設協会地域づくり・街づくり支援事業「琵琶湖淀川水系での治水・利水を学ぶ学習ツールの開発と活用」，事業代表者（2018年度）.
- 平成30年度滋賀県職員互助会地域社会活動提案事業「古写真を用いた地域の記憶の掘り起こしと会話の機会の創出」，事業代表者（2018年度）.

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 全日本博物館学会，事務局幹事.
- 大阪市立自然史博物館研究報告，査読，1件.

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

- 2018年4月～9月，三重大学生物資源学科，「博物館情報、メディア論」.
- 2018年7月22日，九州大学，「博物館教育論」.
- 2018年9月～3月，びわこ学院大学子ども学科，「滋賀の環境」（5回）.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 他の博物館・機関等主催行事

- 2018年5月12日，のざき大辞典をつくろう．大東市立歴史民俗資料館夏期企画展関連イベント，大東市立歴史民俗資料館（大阪府），講師.
- 2018年5月20日，ヨシ笛をつくろう．びわこガイドフィッシングスクール（琵琶湖遊漁船業協会），琵琶湖大橋米プラザ（大津市），講師.

- 2018年6月10日、のぎき大辞典をつくろう。大東市立歴史民俗資料館夏期企画展関連イベント、大東市立歴史民俗資料館（大阪府）、講師。
- 2018年6月17日、水辺の生き物缶バッジをつくろう。子ども水辺教室（水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶）、水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶（大津市）、講師。
- 2018年7月14日、アルバム辞典をつくろう！in福岡。結 creation×九州大学総合研究博物館イベント、九州大学箱崎キャンパス（福岡市）、講師。
- 2018年7月16日、南三陸の海の生き物に関するプログラム。南三陸子ども自然史ワークショップ（南三陸ネイチャーセンター友の会）、戸倉公民館（宮城県南三陸町）、講師。
- 2018年7月22日、エコ缶バッジをつくろう。水辺の匠（水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶）、水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶（大津市）、講師。
- 2018年8月12日、水辺の生き物缶バッジをつくろう。子ども水辺教室（水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶）、水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶（大津市）、講師。
- 2018年9月6～8日、展示論講座「そこにあるモノから考える展示づくり」（国立民族学博物館）、国立民族学博物館（大阪府吹田市）、講師。
- 2018年9月23～24日、第541回NCS-J自然観察指導員講習会・滋賀県（日本自然保護協会）、みなくち子どもの森（滋賀県甲賀市）、講師。
- 2018年10月5日、寄せ植えリースづくり。いきいきサロン（河瀬地区公民館）、河瀬地区公民館（滋賀県彦根市）、講師。
- 2018年10月16～17日、展示の魅力を伝えよう。平成30年度日胆地区博物館等連絡協議会研修会（日胆地区博物館等連絡協議会・国立科学博物館・北海道博物館協会）、豊浦町旧礼文華中学校（北海道）、講師。
- 2018年10月27日、チリモンキーホルダーをつくろう。子ども水辺教室（水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶）、水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶（大津市）、講師。
- 2018年11月4日、うしにまつわる工作コーナー。あそんでまなぼう！うしはく探検隊（奥州市牛の博物館）、奥州市牛の博物館（岩手県）、講師。
- 2018年12月8日、イベント運営。三番瀬ワークショップまつり（NPO法人三番瀬環境市民センター）、行徳公民館（千葉県市川市）、講師。
- 2019年1月19日、チリモンキーホルダーをつくろう。子ども水辺教室（水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶）、水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶（大津市）、講師。
- 2019年1月20日、自然史系によるアウトリーチ事業。学芸員スキルアップ研修（大東市立歴史民俗資料館）、大東市立歴史民俗資料館（大阪府）、パネルディスカッション司会。
- 2019年2月2日、布の不思議しらべと布づくり。れきみんカーニバル（大東市立歴史民俗資料館）、大東市立歴史民俗資料館（大阪府）、講師。
- 2019年3月4日、写真と言葉で展示を考える。貨幣博物館職員研修、貨幣博物館（東京都中央区）、講師。

#### 【展示活動】

##### 他の博物館・機関等の活動

- びわこ池田記念墓地公園、2018年4月27日～5月6日、「懐かしの瀬田川写真展―河川と暮らした地域の記憶―」、主催。
- 大東市立歴史民俗資料館、2018年8月4日～9月30日、平成30年度企画展「みんなで見る！知る！楽しむ！野崎のまち」、主担当。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

#### 【館外の活動】

- 2018年4月～、大東市立歴史民俗資料館、学芸員。
- 2018年4月～、博物館子どもワークショップ調査隊（大阪自然史センター）、実行委員。

2018年4月～，琵琶湖河川レンジャー（国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所）.  
2018年6月～，群馬県立歴史博物館，資料調査員.  
2018年6月～2019年3月，第10回つなぐ人フォーラム実行委員会，実行委員.  
2018年12月10日，淡海こどもエコクラブ活動交流会，選考委員.

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

天野一葉 (2018) 外来種の新天地での適応と生活史戦略. 高木昌興・江口和洋 (編著), *鳥類の生活史と環境適応*. 北海道大学出版会, 札幌, 193-210.

### 【一般向けの著作】

天野一葉 (2018) ヒゲガビチョウ 広がる外来鳥類. *山階鳥研NEWS*, 277: 2-3.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

Amano, E. H., Ishibashi, Y., Tojo, H. and Nakamura, S. (Aug 19-26, 2018) Development of extermination management units for an invasive alien species, the Red-billed Leiothrix (*Leiothrix lutea*), in Japan based on genetic information. The 27th International Ornithological Congress, Vancouver Convention Centre (Vancouver, Canada), [ポスター発表].

天野一葉 (2018年9月14~17日) ヒガシヒゲガビチョウ *Garrulax cinereiceps* の四国への侵入と分布拡大. 日本鳥学会 2018年度大会, 新潟大学 (新潟市), [ポスター発表].

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2019年3月10日, 日本の外来鳥類の現状と問題点. 大阪鳥類研究グループ 2019年度総会, 大阪市立自然史博物館 (大阪府). 講師.

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

2018年7月6日, おとなのディスカバリー「交流コーナー」, ソウシチョウの標本収集・動画制作・解説.

2018年7月6日, おとなのディスカバリー「昆虫コーナー」, 昆虫標本展示デザイン・制作, クイズ「トリバネアゲハ三番勝負」・「モルフォチョウ九番勝負」制作.

2018年7月6日, おとなのディスカバリー「哺乳類コーナー」, 触れる毛皮展示の制作・標本収集.

2018年7月6日, おとなのディスカバリー「鳥類コーナー」, クイズ「カラス三番勝負」・「フクロウ四番勝負」制作.

2018年7月6日, おとなのディスカバリー「両生類・爬虫類コーナー」, クイズ「イモリとヤモリ二番勝負」・「カエル十五番勝負」・「ヘビ八番勝負」・「サンショウウオ五番勝負」・「トカゲ三番勝負」制作.

2018年7月6日, おとなのディスカバリー「スケッチテーブル」ぬりえプレート (ニホンヤモリ・ニシキマイマイ・ヒドリガモ・アナグマ) の写真撮影, ヒドリガモの標本作成.

2018年7月6日, おとなのディスカバリー「オープンラボ」, 壁面の剥製の写真撮影.

特別研究員（研究テーマ：ブナ科植物を寄主とする鱗翅目昆虫相と食性に関する研究  
／伝統文化産業「蚕糸業」の指導／地域ぐるみによる野生動物管理などの指導  
／環境保全型農業などの指導

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

寺本憲之（2018）〈解説〉野生動物たちを森へ押し返そう．*地上*, 72（9）：24-28.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

寺本憲之・吉安 裕（2018年5月13日）ウスアカマダラメイガ *Acrobasis encaustella* の謎の生態—2017・18年の調査結果．日本鱗翅学会近畿支部 157 回例会, I-site なんば（大阪府立大学）（大阪市），[口頭発表].  
棚橋一郎・寺本憲之（2018年5月13日）オドリハマキモドキ（ハマキモドキガ科）とカイコガ（カイコガ科）の繭構造と絹糸の比較．日本鱗翅学会近畿支部 157 回例会, I-site なんば（大阪府立大学）（大阪市），[口頭発表].

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本野蚕学会，委員（評議員），2003年～現在.

日本鱗翅学会，近畿支部幹事，2004年～現在（本部評議員期間を除く）.

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2018年4月～2018年7月，奈良大学文学部，「生態学Ⅰ」.

2018年9月～2019年2月，奈良大学文学部，「生態学Ⅱ」.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年4月～2019年1月，養蚕（桑栽培，邦楽器糸・真綿原料生産）指導，大音特殊生糸組合・近江真綿振興協会，大音集落・岩脇集落（滋賀県長浜市・米原市），指導.

2018年6月28日・29日，鳥獣被害防止対策における地域の課題抽出と普及指導方．平成30年度普及指導員研修鳥獣被害防止対策支援研修「鳥獣被害防止対策における地域の課題抽出と普及指導方法」（農林水産省），農林水産研修所つくば館（茨城県つくば市），講演・指導.

2018年7月6日，中山間地域等における加工用リンドウ栽培の簡易野生獣防護柵設置の留意点．第1回平成30年度新品種・新技術の確立支援事業検討会（滋賀県），湖北地域合同庁舎（滋賀県長浜市），講演・指導.

2018年7月23日，滋賀県の養蚕の現状と今後の可能性．第1回養蚕にかかるとの勉強会（滋賀県），滋賀県庁（大津市），講演・指導.

2018年9月2日，集落からイノシシ被害を無くすには？平成30年度えづけSTOP！鳥獣害対策事業 イノシシ被害防止（撃退）平原中谷地区頑張るモン組合研修会（熊本市農畜産物有害獣対策協議会），中谷公民館（熊本市），講演・指導.

2018年8月7日，滋賀県ニホンザル第二種特定鳥獣管理計画（第4次）の策定について．第1回平成30年度滋賀

- 県ニホンザル第二種管理計画検討委員会（滋賀県），滋賀県庁（大津市），指導。
- 2018年9月17日，秋の里山でいろいろな虫さんをさがそう！ 第1回東近江市市民参加型生物多様性調査（東近江市・特定非営利活動法人まちづくりネット東近江），永源寺・雪野山（滋賀県東近江市），指導。
- 2018年9月24日，大音における生糸生産について・試験研究の取組と工業利用の課題について。第2回養蚕にかかる勉強会「滋賀県の養蚕の現状と今後の可能性」（滋賀県）大音集会所・東北部工業技術センター（滋賀県長浜市），講演・指導。
- 2018年9月28日，滋賀県ニホンザル第二種特定鳥獣管理計画（第4次）の策定について。第2回平成30年度滋賀県ニホンザル第二種管理計画検討委員会（滋賀県）滋賀県庁（大津市），指導。
- 2018年10月8日，秋の里山でいろいろな虫さんをさがそう！ 第2回東近江市市民参加型生物多様性調査（東近江市・特定非営利活動法人まちづくりネット東近江），愛東地区・織山（滋賀県東近江市），指導。
- 2018年10月29日，滋賀県ニホンザル第二種特定鳥獣管理計画（第4次）の策定について・東近江市愛東B群の個体調整について。第3回平成30年度滋賀県ニホンザル第二種管理計画検討委員会（滋賀県），滋賀県庁（大津市），指導。
- 2018年12月21日，中山間地域等における加工用リンドウ栽培の簡易野生鳥獣防護柵設置の選定。第2回平成30年度新品種・新技術の確立支援事業検討会（滋賀県）大津・南部地域合同庁舎（大津市），指導。
- 2019年3月20日，集落からイノシシ被害を無くすには？ 平成30年度熊本市夢と活力ある農業推進事業 イノシシ被害防止（撃退）龍田地区研修会（熊本市農畜産物有害獣対策協議会）JA 熊本市龍田支店（熊本県），講演・指導。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

- 滋賀県立大学環境科学部，客員研究員。
- 奈良大学文学部，非常勤講師
- 日本昆虫学会，会員。
- 日本鱗翅学会，会員（近畿支部幹事）。
- 日本蛾類学会，会員。
- 日本野蚕学会，会員（委員（評議員））。
- 日本蚕糸学会，会員。
- 誘蛾会，会員。
- びわ湖の森の生き物研究会，会員（幹事長）。
- 環境省，鳥獣保護管理プランナー。
- 農林水産省，農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー。
- 農林水産省，平成30年度鳥獣被害対策優良活動表彰審査委員会，審査委員長。
- 農林水産省，平成31年度イノベーション創出強化研究推進事業（基礎研究ステージ・応用研究ステージ・開発研究ステージ），評議委員。
- 農林水産省，「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」・「スマート農業加速化実証プロジェクト」，課題審査委員。
- 滋賀県第二種特定鳥獣管理計画（ニホンザル）検討委員会，委員。
- 滋賀県総合生きもの調査専門委員会，専門委員。

## 印刷物

### 【学術論文】

服部 昇・大井修吾・中野聰志（2018）琵琶湖湖底段丘における砂質団塊充填物質としての藍鉄鉱・菱鉄鉱－菱マンガン鉱. *地球科学*, 72 : 213-218.

貴治康夫・多賀 優・村田 守・周琵琶湖花崗岩団体研究グループ（花田遥平・沓掛俊夫・中野聰志・西橋秀海・西村貞浩・澤田一彦・杉井完治・竹本健一・天白俊馬）（2019）琵琶湖南湖西方に分布する大原・仰木花崗岩質岩体－2つの対照的な白亜紀花崗岩体の性質と地質学的位置づけ. *地質学雑誌*, 125 : 107-118.

## 研究活動に関する業績

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

地球科学誌, 編集エディター.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

*琵琶湖博物館の主催行事*

はしかけ「大津の岩石調査隊」, 野外観察・講義等, 指導補助（顧問）.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

周琵琶湖花崗岩団体研究グループでの研究活動.

ペグマタイト研究会での研究活動.

滋賀大学教育学部大井研との共同研究「葛根田花崗岩中のアルカリ長石」.

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

Kusuoka, Y. (2018) Dr. Thongchai and the Learning Center. Pewnim, T. (ed.), *Thongchai Chewprecha: The Creation and Development of Thai Science Schools.*, Publishing House, Rayong, Thailand: 24-25.

## 研究活動に関する業績

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館共同研究「微小な生物を用いた交流プログラムの開発」(研究代表者: 松田征也), 研究分担者 (2016年度~2018年度) .

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本原生生物学会, 監査委員, 2018年10月まで.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

2018年6月9日, プランクトンを見よう! わくわく探検隊, 琵琶湖博物館, 講師, (鈴木隆仁、はしかけびわたんと共同).

2018年6月23日, 観察会. 里山探検 田んぼの生き物見つけ隊, 朽木生杉 (滋賀県高島市), 講師 (芦谷美奈子・鈴木隆仁と共同・カワセミ自然の会共催).

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

2010年4月~2018年3月, 京都府立大学, 非常勤講師.

2018年8月~9月, Kamnoetvidya Science Academy (KVIS) (タイ), Visiting professor.

2018年11月12日, Participation of the Local Community in Museum Activities: The Case Study of the Lake Biwa Museum, JICA 博物館とコミュニティ開発コース, 国立民族学博物館, 講師.

---

特別研究員（研究テーマ：児童の活用型学力と学びの有用感を高める理科・環境学習：  
「主体的・対話的で深い学び」を理科・環境学習にどう生かすか）

---

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

中野正俊（2018）地域住民・地元企業・社会教育施設と協働した理科学習・・・地域とともにある学校づくりを目指して・・・．近江教育（一般社団法人滋賀県教育会），681：35-39.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

中野正俊（2018年12月8日）児童の活用型学力と学びの有用感を高める理科・環境学習：「主体的・対話的で深い学び」を理科・環境学習にどう生かすか．琵琶湖博物館研究セミナー，琵琶湖博物館，[口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

科学研究費助成事業（基盤 C）「汎用性のある博物館・学校・地域等連携実践の新たな開発と普及」，研究代表者（2018年度～2020年度）.

## 研究活動に関する業績

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」  
(研究代表者: 橋本道範), 研究分担者 (2014年度~2018年度).

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本水産学会近畿支部, 幹事.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 他の博物館・機関等の主催行事

- 2018年4月11日, 琵琶湖の歴史と人の暮らし. 連続講座「びわ湖の歴史と多様ないきもの」(京都高齢者大学校), 河原町学舎(京都市), 講演.
- 2018年5月9日, 琵琶湖の環境と多様な生きもの. 連続講座「びわ湖の歴史と多様ないきもの」(京都高齢者大学校), 河原町学舎(京都市), 講演.
- 2018年5月16日, 琵琶湖のヨシ帯と漁業の紹介①. 地球環境「自然学」講座(認定NPO法人シニア自然大学校), 伊庭内湖(滋賀県東近江市), 案内・講演.
- 2018年5月30日, 琵琶湖のヨシ帯と漁業の紹介②. 地球環境「自然学」講座(認定NPO法人シニア自然大学校), 伊庭内湖(滋賀県東近江市), 案内・講演.
- 2018年6月13日, 琵琶湖固有種のおもしろい生態. 連続講座「びわ湖の歴史と多様ないきもの」(京都高齢者大学校), 河原町学舎(京都市), 講演.
- 2018年7月11日, 琵琶湖の漁業とふなずし. 連続講座「びわ湖の歴史と多様ないきもの」(京都高齢者大学校), 河原町学舎(京都市), 講演.
- 2018年8月8日, 琵琶湖の開発と現状・未来. 連続講座「びわ湖の歴史と多様ないきもの」(京都高齢者大学校), 河原町学舎(京都市), 講演.
- 2018年9月12日, 琵琶湖博物館を使った琵琶湖の紹介. 連続講座「びわ湖の歴史と多様ないきもの」オプション(京都高齢者大学校), 琵琶湖博物館(草津市), 講演.
- 2018年9月17日, 東近江市市民参加生きもの調査1回目. 東近江市いきもの調査(東近江市生活環境課), 永源寺町和南川(東近江市), 講師.
- 2018年10月8日, 東近江市市民参加生きもの調査2回目. 東近江市いきもの調査(東近江市生活環境課), 五個荘町経田川(東近江市), 講師.
- 2018年10月21日, 溜め池の生きもの調査. 東近江市いきもの調査(東近江市生活環境課), 大塚町大溜(東近江市), 講師.
- 2018年10月30日, ビワマスとその漁の紹介①. 地球環境「自然学」講座(認定NPO法人シニア大阪大学校), 北舟木(滋賀県高島市), 案内・講演.
- 2018年10月31日, ビワマスとその漁の紹介②. 地球環境「自然学」講座(認定NPO法人シニア自然大学校), 北舟木(滋賀県高島市), 案内・講演.
- 2018年12月12日, 琵琶湖の環境と魚. 5年生琵琶湖学習(日野町立必佐小学校), 日野市立必佐小学校(滋賀県),

講義.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 〔館外の活動〕

東近江市環境審議会，委員.

MEL ジャパン，審査員.

全国内水面漁業協同組合水産多面的機能発揮対策支援事業，サポート専門家.

琵琶湖の森の生きもの研究会，事務局長.

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

辻川智代（2018）おうみ漁具図鑑 10 雑魚釜ーモロコをとるのに使用. *京都新聞*, 8月9日.

## 研究活動に関する業績

### 【研究プロジェクト等への参加】

高島市文化遺産活用実行委員会, 朽木の知恵と技発見・復活プロジェクト参加.  
文化庁文化遺産総合活用推進事業, 学校収蔵民具の再発見事業実行委員会参加.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### *琵琶湖博物館の主催行事*

はしかけ「近江はたおり探検隊」, 運営.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

高梨純次（2018年12月8日）木彫の樹種について．琵琶湖博物館研究セミナー，琵琶湖博物館，[口頭発表]．

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」  
（研究代表者：橋本道範），共同研究者（2014年度～2018年度）．

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

瀬口眞二（2019年1月18日）人口の歴史的推移を復元するー縄文時代～古墳時代前期の近江ー. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」  
(研究代表者：橋本道範), 共同研究者 (2014年度～2018年度).

## 特別研究員（研究テーマ：滋賀県内の祭礼行事や民間信仰に関する歴史民俗学的研究）

## 印刷物

## 【専門分野の著作】

矢田直樹（2019）滋賀県のおコナイ行事。「竹内町のおコニヤ」調査委員会（編）、鳥取県記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財「竹内町のおコニヤ」（おコナイ）調査報告書、竹内町御講内保存会、42-49.

## 【一般向けの著作】

矢田直樹（2018）歴史街道をたどる 土山町黒川. 京都新聞, 7月22日.

矢田直樹（2018）歴史街道をたどる 白王町. 京都新聞, 10月28日.

矢田直樹（2018）歴史街道をたどる 杉江町. 京都新聞, 12月9日.

## 研究活動に関する業績

## 【学会・研究会での発表】

矢田直樹（2019年2月15日）祖霊祭祀と盆行事. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

矢田直樹（2019年3月24日）事例報告「近江八幡左義長」. 第8回山・鉾・屋台研究会, 大津祭曳山展示館（大津市）, [口頭発表].

## 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「前近代を中心とした琵琶湖周辺地域における自然および自然観の通時的変遷に関する研究」（研究代表者：橋本道範）、共同研究者（2014年度～2018年度）.

## 博物館事業に関する業績

## 【交流・サービス事業】

## 他の博物館・機関等の主催行事

2018年6月19日, 日野町馬見岡綿向神社の巨大絵馬 平成29年度 滋賀県新指定文化財から. 滋賀の文化財講座「花湖さんの打出のコツチ」(滋賀県教育委員会・滋賀県立琵琶湖文化館), コラボしが21(大津市), 講師.

2018年10月28日, 現地交流探訪会. 高島市朽木六斎念仏踊り現地交流探訪会(滋賀県民俗文化財保護ネットワーク・滋賀県教育委員会・高島市文化遺産活用実行委員会・朽木の知恵と技・発見プロジェクト), やまびこ館(滋賀県高島市), コーディネーター.

2018年11月3日, 祭礼行事の現状と継承への取り組み. 水口神社奉賛会平成30年度総会, 水口神社(滋賀県甲賀市), 講師.

2018年11月17日, 「馬見岡綿向神社祭礼渡御図絵馬」の魅力. 滋賀県有形民俗文化財指定記念講演会・見学会(日野町教育委員会), 馬見岡綿向神社社務所(滋賀県日野町), 講師.

2018年12月15日, 現地交流探訪会. 米原市の太鼓踊り現地交流探訪会(滋賀県民俗文化財保護ネットワーク・滋賀県教育委員会・米原市教育委員会), ルッチプラザ(滋賀県米原市), パネラー・司会.

2019年1月31日, 滋賀県民俗文化財保護ネットワーク研修会. 滋賀県民俗文化財保護ネットワーク研修会(滋賀県民俗文化財保護ネットワーク・滋賀県教育委員会), 大津市立市民文化会館(滋賀県), パネラー・司会.

2019年2月9日，民俗文化財について．文化財サポーター養成講座（多賀町教育委員会），多賀町立文化財センター（滋賀県），講師．

2019年3月23日，近江のサンヤレ踊り．栗東市公開歴史講座（栗東市教育委員会），栗東歴史民俗博物館（滋賀県栗東市），講師．

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

2017年～2018年，小浜放生祭総合調査（小浜市教育委員会），調査員．

## 研究活動に関する業績

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本水環境学会, 中部支部会, 参与.  
マリンバイオロジー学会, 評議員.  
沿岸環境関連学会連絡協議会, 運営委員.  
日本水産学会, 水産環境保全委員会, 委員.

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2018年4月16日～7月10日, 公立若狭高等看護学院, 「病態論 II」.  
2018年10月1日～2019年2月4日, 青丹学園言語聴覚学科, 「病理学」.  
2018年10月4日～2019年2月14日, 青丹学園看護学科, 「病理学」.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### *他の博物館・機関等の主催行事*

2018年9月11日, 交流. 小浜とびうお会と公立若狭高等看護学院との地域交流会 (小浜とびうお会・公立若狭高等看護学院), 小浜お魚センター (福井県小浜市), 主催・企画.  
2019年3月16日, 実習. 微細藻の単離培養実習 ((株)SEEDBANK), (株)SEEDBANK (京都市), 実習指導.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

福井県衛生環境研究センター調査研究等評価委員会, 議長.  
小浜市環境審議会, 議長

## 印刷物

## 【学術論文】

- Zhu, W., Zhou, X. H., Chen, H. M. and Li, M. (2018) Sequence of *Microcystis* colony formation during recruitment under natural conditions. *Hydrobiologia*, 826: 39-48.
- Zhen, S. C., Zhu, W. (2018) Determination of the in situ growth rate of *Microcystis* based on carbon and nitrogen stable isotope fractionation. *Water Science and Technology-Water Supply*, 18: 984-993.
- Zhu, W., Feng, G. Y., Chen, H. M., Wang, R. C. Tan, Y. Q. and Zhao, H. R. (2018) Modelling the vertical migration of different-sized *Microcystis* colonies: coupling turbulent mixing and buoyancy regulation. *Environmental Science and Pollution Research*, 25: 30339-30347.
- Wu, S. L., Zhu, W., Min, F. L. and Fan, X. H. (2018) A test method for measuring floc size of slurry. *Geotechnical Testing Journal*. 41: 998-1007.
- Wu, S. L., Zhu, W., Lv, Y. Y., Shu, S., Han, T. T., Wang, F. L., Li, Y. Q. and Liu, J. M. (2018) Quality control indexes and curing agent values for submerged poured solidifying-silt island; case study of the artificial island of Dalian Bay, China. *Construction and Building Materials*, 190: 664-671.
- Wang, C. Y., Zhu, W., Chen, C., Zhang, H., Lin, N. X. and Su, Y. (2018) Influence of reaction conditions on the catalytic activity of a nickel during the supercritical water gasification of dewatered sewage sludge. *The Journal of Supercritical Fluids*, 140: 356-363.
- Wang, S. W., Zhu, W., Xu, H. Q., Shu, S. and Fan, X. H. (2018) Effects of Leachate Concentration ( $\text{Na}^+$ ,  $\text{Pb}^{2+}$ , COD) on Non-Darcy Flow of Compacted Clay. *The International Congress on Environmental Geotechnics*, 2: 101-108.
- Xu, H. Q., Zhu, W., Wang, S. W., Shu, S. and Fan, X. H. (2018) Influences of effective confining stresses on the chemical compatibility of backfills for soil-bentonite cut-off walls. *The International Congress on Environmental Geotechnics*, 2: 575-582.
- Shu, S., Zhu, W., Xu, H. Q., Fan, X. H. and Wang, S. W. (2018) Numerical parametric study of multiple pollutants transport through compacted clay liner. *The International Congress on Environmental Geotechnics*, 1: 478-490.
- Shu, S., Zhu, W., Xu, H. Q., Wang, S. W., Fan, X. H., Wu, S. L., Shi, J. Y. and Song, J. (2019) Effect of the leachate head on the key pollutant indicator in a municipal solid waste landfill barrier system. *Journal of Environmental Management*, 239: 262-270.
- Shu, S., Zhu, W. and Shi, J. W. (2019). A new simplified method to calculate breakthrough time of municipal solid waste landfill liners. *Journal of Cleaner Production*, 219: 649-654.
- Chen, C., Zhu, W. Wang, C. Y., Zhang, H. and Lin, N. X. (2019) Transformation of phosphorus during sub- and supercritical water gasification of dewatered cyanobacteria and one-step phosphorus recovery. *The Journal of Supercritical Fluids*, 147: 188-193.
- Wang, C. Y., Zhu, W., Chen, C., Zhang, H., Fan, X. H., Mu, B. and Zhong, Jun. (2019) Behavior of phosphorus in catalytic supercritical water gasification of dewatered sewage sludge: The conversion pathway and effect of alkaline additive. *Energy Fuels*, 33: 1290-1295.
- Wang, S. W., Zhu, W., Fei, K., He, H., Fu, G. F., Shu, S. and Song, J. (2019) COD (glucose configuration) effects on the non-Darcy flow of compacted clay in a municipal solid waste landfill. *Waste Management*, 84: 220-226.

- 王飞龙·朱伟·吴思麟 (2018) 养护围压对固化土固化效果影响的试验研究. *河南科学 (河南省科学院)*, 37(2) : 236-240.
- 朱伟 (2018) 中国水利学会疏浚与泥处理利用专委会综合讨论摘登. *水资源保护 (中国水利学会环境水利专业委员会)*, 34(4) : 93-94.

## 特別研究員（研究テーマ：幼児期の自然体験型教育プログラムの開発とその実践研究）

## 印刷物

## 【一般向けの著作】

池田 勝 (2018～2019) ちこあそ (ちっちゃなこどもの自然あそび). はしかけニューズレター, 琵琶湖博物館, 140: 14-15, 141: 12-13, 142: 13-14, 143: 14-15, 144: 14-16, 145: 14-15.

## 研究活動に関する業績

## 【学会・研究会での発表】

池田勝 (2018年12月8日) 幼児期における自然体験型教育の実践発表. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, [口頭発表].

## 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2018年4月18日～2019年2月20日, 神戸大学学生, 卒業論文指導.

## 博物館事業に関する業績

## 【交流・サービス事業】

*琵琶湖博物館の主催行事*

2018年4月18日～2019年3月20日, ちっちゃなこどものしぜんあそび「ちこあそ」, はしかけ活動, 琵琶湖博物館, 企画広報運営, 11件.

2018年11月17日, びわ博フェスちっちゃなこどものしぜんあそび「ちこあそ」, はしかけ活動, 琵琶湖博物館, 企画運営.

*他の博物館・機関等の主催行事*

2018年4月20日, 講演「琵琶湖学習オリエンテーション」. ESDつながり学習 (草津市立玉川中学校), 草津市立玉川中学校 (滋賀県), 講師.

2018年5月4日, おさんぽ会. 幼児と保護者の自然体験 (せた♪森のようちえん), びわこ文化公園 (大津市), 講師.

2018年5月9日, 講演「琵琶湖学習」. SDつながり学習 (草津市立玉川中学校), 草津市立玉川中学校 (滋賀県), 講師.

2018年5月22日, 実習「伯母川探検」. 総合学習 (草津市立志津南小学校), 草津市立志津南小学校 (滋賀県), 講師.

2018年5月22日, 実習「十禅寺川調査」. ESDつながり学習 (草津市立玉川中学校), 草津市立玉川中学校 (滋賀県), 講師.

2018年5月24日, 実習「ホタル飛翔調査」. スーパーグローバルハイスクール (滋賀県立守山高等学校), あまが池プラザ吉川川 (滋賀県守山市), 講師.

2018年6月7日, おさんぽ会. 幼児と保護者の自然体験 (せた♪森のようちえん), びわこ文化公園 (大津市), 講師.

2018年6月18日, 狼川Q & A. 総合学習 (草津市立南笠東小学校), 草津市立南笠東小学校 (滋賀県), 講師.

2018年7月30日, 実習「吉川川水辺の生き物探し」. スーパーグローバルハイスクール (滋賀県立守山高等学校), あまが池プラザ吉川川 (滋賀県守山市), 講師.

2018年8月8日, 「見て、聞いて、体験バスツアー」. 環境学習 (くさつエコスタイルプラザ), ダイキン工業 (滋賀県草津市), 講師.

2018年8月18日, 野洲川オープンデー. 水辺の環境学習 (なかす野洲川たんけん隊), 野洲川 (滋賀県野洲市), 講師.

2018年8月20日, 小学生の自然体験 森であそぼう. 山で育つ (森のようちえん) 普及事業 (びわ湖の森のようちえんネットワーク), 近江富士花緑公園 (滋賀県野洲市), 講師.

2018年9月14日, 調査「吉川川測量」. スーパーグローバルハイスクール (滋賀県立守山高等学校), あまが池プラザ吉川川 (滋賀県守山市), 講師.

2018年9月24日, 体験「火の大切さを学ぶ」. 体験学習 (草津イオンチアーズクラブ), ロクハ公園 (滋賀県草津市), 講師.

2018年9月27日, 実習「水生生物の観察」. ESD つながり学習 (草津市立玉川中学校), 草津市立玉川中学校 (滋賀県), 講師.

2018年9月28日, 実習「外来魚の解剖」. ESD つながり学習 (草津市立玉川中学校), 草津市立玉川中学校 (滋賀県), 講師.

2018年10月12日, 実習「湖魚食」. ESD つながり学習 (草津市立玉川中学校), 草津市立玉川中学校 (滋賀県), 講師.

2018年10月20日, 野洲川河川清掃. 水辺の環境学習 (なかす野洲川たんけん隊), 野洲川 (滋賀県野洲市), 講師.

2018年10月26日, 水質調査. 琵琶湖環境学習 (鹿嶋市立鹿島中学校), 大津港・琵琶湖上 (滋賀県), 講師.

2018年11月16日, 水質調査. 琵琶湖環境学習 (長谷川工務店), 大津港・琵琶湖上 (滋賀県), 講師.

2018年11月23日, 小学生の自然体験 森であそぼう. 山で育つ (森のようちえん) 普及事業 (びわ湖の森のようちえんネットワーク), 荒神山公園 (滋賀県彦根市), 講師.

2019年1月13日, 野洲川樹木伐採. 樹木伐採 (なかす野洲川たんけん隊), 野洲川 (滋賀県野洲市), 講師.

2019年2月3日, 淡海の川づくりフォーラム. スーパーグローバルハイスクール (滋賀県立守山高等学校), 滋賀県危機管理センター (大津市), 発表サポート.

2019年2月11日, 野洲川樹木伐採. 樹木伐採 (なかす野洲川たんけん隊), 野洲川 (滋賀県野洲市), 講師.

2019年2月14日, ワークショップ「ホテル放流とコンピューターシミュレーション」. スーパーグローバルハイスクール (滋賀県立守山高等学校), 滋賀県立守山高等学校 (守山市), 講師.

2019年3月8日, ホテルの幼虫放流. スーパーグローバルハイスクール (滋賀県立守山高等学校), あまが池プラザ吉川川 (滋賀県守山市), 講師.

2019年3月24日, 野洲川樹木伐採. 樹木伐採 (なかす野洲川たんけん隊), 野洲川 (滋賀県野洲市), 講師.

2019年3月30日, かまど体験と綿繰り体験. 暮らし体験 (ダイハツ工業株式会社), 琵琶湖博物館, 講師.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

2018年4月15日～2019年3月17日, にちようの森. 子どもの自然体験活動 (せた♪森のようちえん), 運営, 26件.

2018年4月12日～2019年3月14日, 自然体験・環境学習1年生～6年生. 社会人活用事業 (大津市立下阪本小学校), 環境学習非常勤講師, 70件.

2018年12月22日～12月27日, 西表島エコツアー, NPO法人かごしま子どもと自然研究所, 体験, 運営.

## 印刷物

### 【学術論文】

柏尾珠紀 (2018) 世代で異なる女性農業者の活動とその再編. *農業と経済*, 1 (85) : 6-15.

柏尾珠紀・原田英美 (2018) 農林行政職員からみた農業・農村女性. *農業と経済*, 1 (85) : 86-98.

柏尾珠紀 (2018) 環境保全型イベントが地域社会に及ぼす影響. *滋賀大学環境総合研究センター年報*, 1 (15) : 33-41.

### 【専門分野の著書】

柏尾珠紀 (2018) 山とまちの採集食—暮らしを自然に近づける—. 秋津元輝・佐藤洋一郎・竹之内裕文 (編著), *農と食の新しい倫理 (第8章)*. 昭和堂, 京都, 199-222.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

柏尾珠紀 (2018年11月30日～12月2日) Farm mechanisation and its impact on women's labour: the case of Shiga Prefecture, Japan. Conference on Women's Work in Rural Economies, India Foundation for Agrarian Studies, Vasundhara Sarovar Premiere (Vayalar, Chertala, Kerala, India), [招待講演].

柏尾珠紀 (2019年2月16日) 地域のサブストーリー発掘活動によせて. 2018年度中芸のゆずと森林鉄道 日本遺産協議会受託研究報告会, 北川村小島集会所 (高知県), [コメンテーター].

### 【研究プロジェクト等への参加】

科学研究費助成事業「種苗生産における女性熟練労働に関する社会学的研究」, 研究代表者 (2017年度～2019年度).

## 館内の人事・館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

2014年7月～, 守山ほたるパーク&ウォーク実行委員会, 委員.

2015年4月～, 京都府農村振興課日本型直接支払制度, 支援委員.

2015年10月～, 滋賀県緑化推進会, 委員.

2016年6月～, 認定NPO法人びわこ豊穰の郷, 理事.

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

黒岩啓子（2019）学校教育との連携②社会. 展示学事典. 日本展示学会（編），丸善出版，東京，422-423.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

黒岩啓子（2018年6月2～3日）総会司会および研究大会総合司会. 第23回研究大会「人々とミュージアム—人々が成長するミュージアム—」（日本ミュージアム・マネジメント学会），京都国立博物館（京都市），[実行委員・総合司会].

黒岩啓子（2018年9月6日）展示解説の文章を書くということ. 2018年展示論講座（日本展示学会），国立民族学博物館（大阪府吹田市），[講義].

黒岩啓子（2018年9月21日）展示開発と評価. 琵琶湖博物館研究セミナー，琵琶湖博物館，[口頭発表].

黒岩啓子（2018年11月24日）Actionにつなげる評価—国立民族学博物館の展示評価から—. 第12回年次研究大会「社会デザインとしての文化政策」公開企画フォーラム「ミュージアム評価の総括と新たな手法構築に向けた試行」（日本文化政策学会），九州大学大橋キャンパス（福岡市），[口頭発表].

黒岩啓子（2018年12月16日）司会および開催挨拶・まとめ. 平成30年度第1回研究会「滋賀県東近江市博物館グループ視察研究会」（日本ミュージアム・マネジメント学会ミッション・マネジメント研究部会），滋賀県東近江市博物館グループ（西堀栄三郎記念探検の殿堂，近江商人博物館・中路融人記念館，能登川博物館），[企画・司会].

黒岩啓子（2019年2月10日）司会および開催挨拶・まとめ. 平成30年度第2回研究会「ミュージアムとソーシャルインクルージョン」（日本ミュージアム・マネジメント学会ミッション・マネジメント研究部会），国立国際美術館（大阪市），[企画・司会].

### 【研究プロジェクト等への参加】

ミュージアム評価研究会（研究代表者：佐々木亨）参加，大阪市立自然史博物館，2018年8月29日，2019年2月28日.

科学研究費助成事業（挑戦的研究（開拓））「ミュージアムの新たな評価手法構築に関する実践研究—社会的価値と事業改善に着目して」（研究代表者：佐々木亨），研究協力者（2018年度～2020年度）.

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本ミュージアム・マネジメント学会，近畿支部幹事，2009年4月～.

日本ミュージアム・マネジメント学会，理事，2015年6月～.

日本ミュージアム・マネジメント学会，ミッション・マネジメント研究部会 部会長，2015年8月～.

全日本博物館学会，役員，2014年6月～2018年6月23日.

ICOM-ICME (International Committee for Museums and Collections of Ethnography), Board member, ICME Conference Committee member, ICME Special Projects Committee member, 2016年7月～.

ICOM-ICME (International Committee for Museums and Collections of Ethnography), Leader of ICME 2019 Conference Committee, 2018年10月8日～.

日本ミュージアム・マネジメント学会 25周年記念事業実行委員会, 広報部会委員, 将来構想研究部会 JMAA  
版「ミュージアムの設置と運営ガイドライン」検討委員会委員, 2016年4月16日～.  
日本ミュージアム・マネジメント学会 第23回研究大会実行委員会, 実行委員, 2017年12月20日～2018年6  
月30日.  
日本ミュージアム・マネジメント学会 第24回研究大会実行委員会, 実行委員, 2019年2月2日～.

#### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2012年4月～, 奈良女子大学, 「博物館教育論」.  
2012年9月～, 関西学院大学, 「博物館教育論」.  
2013年4月～, 奈良女子大学, 「博物館情報・メディア論」.  
2017年4月～, 福山大学, 「博物館経営論」.

## 博物館事業に関する業績

#### 【交流・サービス事業】

##### 他の博物館・機関等の主催行事

2019年9月16日, エデュネットオフ会「第2期リニューアルオープンした琵琶湖博物館見学会」(ミュージアム・エデュケーター・ネット), 琵琶湖博物館, 世話人.  
2018年11月16日, Museum Evaluation Methods - Introduction to Evaluation in Museum. JICA研修「博物館とコミュニティ開発」(国立民族学博物館), 国立民族学博物館(大阪府吹田市), 講師.

#### 【展示活動】

##### 他の博物館・機関等の活動

奈良文化財研究所 平城宮いざない館, 2018年5月～2019年3月, 展示評価、来館者調査企画実施.  
名古屋市教育委員会, 2017年3月～2019年1月9日, 「歴史の里」ガイダンス施設展示にかかる指導.  
奈良文化財研究所 飛鳥資料館, 2019年2月, 「骨ものがたり-環境考古学研究室のお仕事」展示ディレクション.

## 館内の人事・館外活動等に関すること

#### 【海外渡航】

2018年10月9日～15日, タルトゥ(エストニア), ICOM-ICME 2018 Conference, Post-Conference Tour, 理事会・大会, 参加出席.

#### 【館外の活動】

2003年9月～, 日本ミュージアム・マネジメント学会, 会員.  
2003年9月～, 全日本博物館学会, 会員.  
2005年4月～, 関西博物館研究会, 会員.  
2010年10月～, 日本展示学会, 会員.  
2012年3月～, 文化遺産国際協力コンソーシアム, 会員.  
2014年4月～, ICOM (International Council of Museums, 国際博物館会議), 会員.  
2016年12月～, 東近江市博物館等運営委員会 委員.

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

山本充孝 (2018) 琵琶湖の漁港で産卵するオオクチバスの釣りによる駆除: アユの友釣りならぬブルーギルの敵釣り (第29回年次大会シンポジウム特別寄稿文). *日本環境動物昆虫学会誌*, 29(3): 95-99.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

山本充孝 (2018年9月14日) 近年の養殖アユにおける形態異常. 平成30年度日本魚病学会秋季大会, 広島大学生物生産学部 (広島県東広島市), [口頭発表].

Yamamoto, M. (2018年11月27日) Epidemiological study of *Flavobacterium psychrophilum* in Ayu in Lake Biwa, Japan. *Flavobacterium 2018: The 5<sup>th</sup> International Conference on Members of the Genus Flavobacterium*, The Todaiji Museum (Nara, Japan), [口頭発表].

Yamamoto, M. (2018年11月28日) Non-cultural *Flavobacterium psychrophilum* is highly virulent to ayu. *Flavobacterium 2018: The 5th International Conference on Members of the Genus Flavobacterium*, The Todaiji Museum (Nara, Japan), [口頭発表].

山本充孝 (2018年12月20日) ニゴロブナの死亡事例について. 平成30年度魚病症例研究会, シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 (三重県伊勢市), [口頭発表].

山本充孝 (2019年3月2日) 冷水病に伴うアユの脊椎骨異常の発生原因. 平成31年度日本魚病学会春季大会, 東京大学農学部弥生講堂 (東京都文京区), [口頭発表].

坂井貴光・山崎雅俊・山本充孝・金辻宏明・中易千早 (2019年3月2日) *Flavobacterium psychrophilum* 菌体破砕液の自己消化に対する不活化処理の検討. 平成31年度日本魚病学会春季大会, 東京大学農学部弥生講堂 (東京都文京区), [口頭発表].

山本充孝・孝橋賢一・森田哲男・伊東尚史・森 広一郎・山本義久 (2019年3月27日) 閉鎖循環加温飼育による琵琶湖産アユに対する冷水病抗病性付与. 平成31年度日本水産学会春季大会, 東京海洋大学品川キャンパス (東京都港区), [口頭発表].

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年8月19日, 水辺の楽校 (夏編) (びわこ豊穰の郷), 目田川河川公園 (滋賀県守山市), 講師.

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の活動

魚類資料収集 (アユ).

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

後藤直成・岩木真穂・早川和秀（2018年10月7日）琵琶湖北湖における一次生産速度の季節変化. 日本陸水学会, 岡山大学(岡山市), [ポスター発表].

岩木真穂・戸田 孝・村岡晃次・焦 春萌・熊谷道夫（2018年10月8日）琵琶湖とその集水域における降水に対する水位応答の推定. 日本陸水学会, 岡山大学(岡山市), [口頭発表].

### 【研究プロジェクト等への参加】

環境省環境研究総合推進費「琵琶湖における有機物収支の把握に関する研究」（研究代表者：早川和秀），研究補助（2018年度）.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年5月6日, ユニット折り紙をしよう! 青空子ども博物館 (京都大学総合博物館), 丸山音楽堂(京都市), ブース展示開催.

2018年5月26日, ユニット折り紙をしよう! 子ども博物館 (京都大学総合博物館), 京都大学総合博物館(京都市), ブース展示開催.

2018年6月9日, ユニット折り紙をしよう! 子ども博物館 (京都大学総合博物館), 京都大学総合博物館(京都市), ブース展示開催.

2018年6月30日, ユニット折り紙をしよう! 子ども博物館 (京都大学総合博物館), 京都大学総合博物館(京都市), ブース展示開催.

2018年7月14日, ユニット折り紙をしよう! 子ども博物館 (京都大学総合博物館), 京都大学総合博物館(京都市), ブース展示開催.

2018年7月21日, ユニット折り紙をしよう! 子ども博物館 (京都大学総合博物館), 京都大学総合博物館(京都市), ブース展示開催.

2018年8月18日, ユニット折り紙をしよう! 子ども博物館 (京都大学総合博物館), 京都大学総合博物館(京都市), ブース展示開催.

2018年8月25日, ユニット折り紙をしよう! 子ども博物館 (京都大学総合博物館), 京都大学総合博物館(京都市), ブース展示開催.

2018年9月22日, ユニット折り紙をしよう! 子ども博物館 (京都大学総合博物館), 京都大学総合博物館(京都市), ブース展示開催.

## 印刷物

### 【学術論文】

- 鈴木真裕・平井規央・石井 実 (2018) 大阪府の都市部に造成されたビオトープ池の大型無脊椎動物群集に及ぼす池干し効果. *環動昆* (日本環境動物昆虫学会), 29 : 1-12.
- 松岡 悠・鈴木真裕 (2018) 大阪府泉南地域の3水系における魚類群集の構造と多様性. *きしわだ自然資料館研究報告*, 5 : 11-17.

### 【専門分野の著作】

- 鈴木真裕 (2018) 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス内でのスナアカネの記録. *Gracile* (関西トンボ談話会), 78 : 25.
- 鈴木真裕 (2018) 大阪府柏原市におけるメガネサナエの記録. *Gracile* (関西トンボ談話会), 78 : 26-27.
- 鈴木真裕 (2018) 新・よもやま図鑑 135 ウスバキトンボ. *都市と自然* (大阪自然環境保全協会), 508 : 12.

## 研究活動に関する業績

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館共同研究『『田んぼの生きもの全種リスト』の増補更新と公開システムの構築』(研究代表者: 大塚泰介), 共同研究者 (2018年度).

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 他の博物館・機関等の主催行事

- 2018年6月9日, 棚田の生き物観察会・星空観察会. 平尾里山・棚田守り人の会, 平尾自治会館 (大津市), 講師.

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

根来 健（2018）会議報告：「第8回琵琶湖地域の水田生物研究会」に参加して．*環境技術*，47（4）：228-229．

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

根来 健（2018年6月30日）第18回環境技術学会年次大会，大阪大学工学部（大阪府吹田市），[第1セッション副座長]．

根来 健（2018年9月21日）琵琶湖のプランクトンと水処理—生物に起因する浄水処理の課題—．琵琶湖博物館研究セミナー，琵琶湖博物館，[口頭発表]．

根来 健・大塚泰介（2018年10月27日）琵琶湖産 *Fragilaria crotonensis* の群体のねじれについて．日本珪藻学会第38回研究集会，近畿大学医学部（大阪府大阪狭山市），[口頭発表]．

根来 健・大塚泰介（2018年11月3日）ろ過閉塞原因生物 *Synedra* の再検討．日本水処理生物学会第55回大会，日本大学工学部（福島県郡山市），[口頭発表]．

根来 健（2018年11月29日）京都の暮らしと琵琶湖疏水，京都大学第3回総人・人環・学際セミナー（京都大学人間・環境学研究科学際教育研究部），京都大学人間・環境学研究科（京都市）．[口頭発表]．

根来 健（2019年3月17日）藍藻類と浄水処理．日本藻類学会第43回公開シンポジウム「琵琶湖における藍藻類ブルームの現状と問題点」，京都大学国際科学イノベーション棟（京都市），[口頭発表]．

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

環境技術学会，理事 及び 編集委員，2015年～．

日本水処理生物学会，評議員 及び 企画委員会幹事，2017年～．

（公社）日本水道協会関西地方支部，幹事（特別会員），2017年～．

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2018年度上半期，龍谷大学大学院理工学研究科，「水道工学特論」．

2018年9月26日，龍谷大学理工学部，特別講義「水道水」．

2018年10月3日，龍谷大学理工学部，特別講義「琵琶湖のプランクトン」．

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス事業】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

はしかけ「たんさいぼうの会」，副会長．

はしかけ「琵琶湖のちいさな生き物を観察する会」，会員．

2018年8月23～24日，第35回水処理生物基礎講座「湖沼等水源域における微小生物の検索・同定・計数・評価技術（応用編）」（滋賀県立琵琶湖博物館・日本水処理生物学会共催），琵琶湖博物館，顕微鏡実習講師

2018年11月17～18日、マイクロアクアリウムを活用したワークショップ。びわ博フェス2018、琵琶湖博物館、解説員。

#### **他の博物館・機関等の活動**

2018年8月4日、プランクトン観察。平成30年度「夏の早崎ビオトープ観察会」（早崎内湖再生保全協議会）、早崎ビオトープ（滋賀県長浜市）、講師。

2018年11月9日、関西電力蹴上発電所と周辺施設の見学会（環境技術学会・NPO法人環境技術支援センター）、関西電力蹴上発電所周辺（京都市）、講師。

#### **【展示活動】**

##### **琵琶湖博物館の活動**

プランクトン・琵琶湖の水質等について、展示交流員への解説や質問回答、多数。

プランクトンの顕微鏡写真、作成。

## **館内の人事・館外活動等に関すること**

#### **【館外の活動】**

2015年～、NPO法人 水道事業活性化懇話会、委員。

2017年～、（一社）全国水道管内カメラ調査協会、専門委員。

## 印刷物

## 【学術論文】

- Tsukazaki, C., Ishii, K.-I., Matsuno, K., Yamaguchi, A. and Imai, I. (2018) Distribution of viable resting stage cells of diatoms in sediments and water columns of the Chukchi Sea, Arctic Ocean. *Phycologia*, 57: 440-452.
- 小林淳希・仲村康秀・宮下洋平・大洞裕貴・今井一郎 (2018) 渡島大沼において発生した溶藻性原生生物 *Asterocaelum* sp. の乳白色ブルーム. *陸水学雑誌 (日本陸水学会)*, 79: 109-117.
- 各務彰記・森田航也・嶋田 宏・山口 篤・今井一郎 (2018) 2015 年夏季北海道函館湾における有害渦鞭毛藻 *Karenia mikimotoi* の初検出および 2015-2016 年の出現動態. *日本プランクトン学会報*, 65: 1-11.
- Ishii, K.-I., Imai, I., Natsuike, M., Sawayama, S., Ishino, R., Liu, W., Fukuzaki, K. and Ishikawa, A. (2018) A simple technique for establishing axenic cultures of centric diatoms from resting stage cells in bottom sediments. *Phycologia*, 57: 674-679.
- 大洞裕貴・宮下洋平・小林淳希・織田さやか・田中邦明・山口 篤・今井一郎 (2018) アオコ原因種 *Microcystis aeruginosa* と水中および水草ヒシの殺藻・増殖阻害細菌の季節変動. *藻類 (日本藻類学会)*, 66: 111-117.
- Nakada, M., Hatayama, Y., Ishikawa, A., Ajisaka, T., Sawayama, S. and Imai, I. (2018) Seasonal distribution of *Gambierdiscus* spp. in Wakasa Bay, the Sea of Japan, and antagonistic relationships with epiphytic pennate diatoms. *Harmful Algae*, 76: 58-65.
- Inaba, N., Nagai, S., Sakami, T., Watanabe, T., Araki, K., Kawasaki, S. and Imai, I. (2018) Temporal variability of algicidal and growth-inhibiting bacteria at an eelgrass bed in the Ariake Sea, Japan. *Bioremediation Journal*, 22: 112-125.
- Miyashita, Y., Hagiwara, T. and Imai, I. (2019) The existence of cyanobactericidal bacteria and growth-inhibiting bacteria on water plants in Lake Ohnuma, Japan. *Limnology*, 20: 39-53.
- Inaba, N., Trainer, V.L., Nagai, S., Kojima, S., Sakami, T., Takagi, S. and Imai I (2019) Dynamics of seagrass bed microbial communities in artificial *Chattonella* blooms: A laboratory microcosm study. *Harmful Algae*, 84: 139-150.
- 今井一郎・宮下洋平・小林淳希・大洞裕貴 (2019) 渡島大沼における富栄養化とアオコの発生、および環境に優しいアオコ対策の可能性. *地形 (日本地形学連合)*, 40: 77-91.
- 仲村康秀・松岡數充・今井一郎・石井健一郎・桑田 晃・河地正伸・木元克典・鈴木紀毅・佐野雅美・Jose M. Landeira・宮本洋臣・西川 淳・西田周平 (2019) プランクトンの分類・生態研究、その現状と最新知見. *日本プランクトン学会報*, 66: 22-40.

## 【専門分野の著作】

- Natsuike, M., Shiraiishi, T., Ishii, K.-I., Yamamoto, K., Nakajima, M., Sawayama, S. and Imai, I. (2018) Different nutrient availabilities of surface and bottom water under nutrient-depleted conditions during bloom formation of the toxic dinoflagellate *Alexandrium tamarense* in Osaka Bay, Japan. *Bulletin of Fisheries Sciences, Hokkaido University*, 68: 7-16.

夏池真史・山本圭吾・中嶋昌紀・澤山茂樹・今井一郎 (2018) 大阪湾における麻痺性貝毒原因渦鞭毛藻 *Alexandrium tamarense* と珪藻 *Skeletonema* sp. の栄養塩利用の比較. 北海道大学水産科学研究彙報, 68 : 17-26.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表】

- 今井一郎・森田航也・宮村和良・大竹 周・紫加田知幸 (2018年3月26~30日) 底生珪藻類の存在下での有害渦鞭毛藻 *Karenia mikimotoi* の挙動. 平成30年度日本水産学会春季大会, 東京海洋大学品川キャンパス (東京都), [口頭発表].
- 稲葉信晴・長井 敏・川口まりえ・今井一郎 (2018年3月26~30日) 藻場における有害有毒藻類増殖抑制細菌の経時的変動. 平成30年度日本水産学会春季大会, 東京海洋大学品川キャンパス (東京都), [口頭発表].
- 今井一郎 (2018年7月20日) 海のアマモと湖の水草: 有害有毒藻類ブルームの発生予防の立役者. 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, [口頭発表].
- Imai, I., Daido, H., Miyashita, Y., Kobayashi, J., Komine, K., Fujita, M., Sakai, R., Oda, S. and Tanaka, K. (2018年8月19~24日) The existence of cyanobactericidal and growth-inhibiting bacteria on the water plant *Trapa jeholensis* and an evidence of quorum sensing involving the kill of *Microcystis aeruginosa*. International Society of Limnology XXXIV Congress, Nanjing, China, [Oral presentation].
- 仲村康秀・今井一郎・西田周平 (2018年9月9日) プランクトン各分類群の最新知見—多様性・群集構造解明のための分類学—. 日本プランクトン学会2018年秋季公開シンポジウム, 創価大学 (東京都八王子市), [コンベンター].
- 今井一郎 (2018年9月9~11日) ラフィド藻・ディクティオカ藻. 2018年度日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会, 創価大学 (東京都八王子市), [シンポジウム口頭発表].
- 赤穂那海・中野温美・矢野諒子・小原静夏・中島吉洋・小池一彦・萩原悦子・松野孝平・今井一郎 (2018年9月9~11日) 底生藻類および珪藻類休眠期細胞の貧酸素耐性. 2018年度日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会, 創価大学 (東京都八王子市), [ポスター発表].
- 今井一郎・中野温美・赤穂那海・各務彰記・小池一彦・小原静夏・中島義弘・矢野諒子・萩原悦子・小川憲太・米山弘之 (2018年9月15~18日) 広島県鞆の浦における海底耕耘による *Chattonella* 赤潮の発生予防. 平成30年度日本水産学会秋季大会, 広島大学東広島キャンパス (広島県東広島市), [口頭発表].
- 今井一郎 (2018年9月15~18日) 魚類と海藻の混合養殖による有害赤潮の発生予防の可能性. 平成30年度日本水産学会秋季大会, 広島大学東広島キャンパス (広島県東広島市), [シンポジウム口頭発表].
- Imai, I., Nakano, A., Aki, N., Kakumu, A., Koike, K., Ohara, S., Nakajima, Y., Yano, R., Hagiwara, E., Ogawa, K. and Yoneyama, H. (2018年10月21~26日) Feasibly successful trials of sediment perturbations as prevention strategies for *Chattonella* red tides in the Seto Inland Sea, Japan. The 18<sup>th</sup> International Conference on Harmful Algae, La Cité, Nantes Events Center (Nantes, France), [Oral presentation].
- 大塚耕司・岩井克巳・堀 正和・古川恵太・田中丈裕・今井一郎 (2018年11月2日) 大阪湾における藻場再生の意義と可能性. 全国アマモサミット2018 in 阪南・第35回沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウム, 阪南市立サラダホール (大阪府), [コンベンター].
- 今井一郎・川口まりえ (2018年11月2日) 藻場とアマモ場による赤潮及び貝毒プランクトンの抑制効果. 大阪湾における藻場再生の意義と可能性全国, アマモサミット2018 in 阪南・第35回沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウム, 阪南市立サラダホール (大阪府), [シンポジウム口頭発表].
- 今井一郎 (2018年12月18日) 赤潮対策と土木的手法の可能性<海底耕耘による海底泥中の珪藻休眠期細胞の活用>. 赤潮とその対策としての土木的手法の可能性に関するシンポジウム(一般社団法人全日本漁港建設協会), 広島 YMCA2 号館コンベンションホール (広島市), [シンポジウム口頭発表].

今井一郎・大塚泰介・宮下英明（2019年3月17日）琵琶湖における藍藻類ブルームの現状と問題点、対策と展望。日本藻類学会第43回大会公開シンポジウム，京都大学（京都市），[コンビーナー]。  
今井一郎・宮下洋平・小島千里・小林淳希・大洞裕貴（2019年3月15～17日）環境に優しいアオコ対策の提案と展望。日本藻類学会第43回大会公開シンポジウム「琵琶湖における藍藻類ブルームの現状と問題点、対策と展望」，京都大学（京都市），[シンポジウム口頭発表]。

#### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

沿岸環境関連学会連絡協議会，代表。  
日本プランクトン学会，副会長。  
日本水産学会，水産環境保全委員会，委員。  
日本水産学会，学会賞選考委員会，委員  
日本プランクトン学会，Plankton & Benthos Research，査読，1件。  
日本藻類学会，Phycological Research，査読，2件。  
Harmful Algae (Elsevier)，査読，1件。

#### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2018年8月27～30日，福井県立大学，「浮遊生物学」集中講義。  
2018年12月13日，北海道大学，「海と生命」。

## 博物館事業に関する業績

#### 【交流・サービス事業】

##### 他の博物館・機関等の主催行事

2018年7月31日～12月23日，船上実習および座学。JST ジュニアドクター育成塾（特定認定NPO法人琵琶湖トラスト），琵琶湖北湖・コラボしが（大津市），講師，5件。

## 館内の人事・館外活動等に関すること

#### 【館外の活動】

瀬戸内海広域漁業調整委員会（水産庁），会長。  
大阪海区漁業調整委員会（大阪府），委員。  
温州大学（中国），客員教授。  
環日本海海洋環境検討委員会（公益財団法人環日本海環境協力センター），委員。  
水産庁漁場環境改善推進事業（赤潮被害防止対策技術の開発），有識者委員。  
有害プランクトン同定研修会（国立研究開発法人 水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所），講師。  
有害プランクトン同定研修会テキスト改訂検討委員会（国立研究開発法人 水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所），委員。  
京都大学生態学研究センター，協力研究員。  
第20回国際有害有毒藻類学会（ICHA 2022 Hiroshima）組織委員会，委員長。  
日本政府観光局，認定MICEアンバサダー。

## 総合研究・共同研究による印刷物

- 阿部勇治・河瀬直幹・小西省吾・澤邊久美子 (2018) 甲賀市の哺乳類. 甲賀市レッドリスト 2017 策定委員会 (編) *甲賀市レッドリスト 2017*. <http://www.city.koka.lg.jp/secure/19187/>◆甲賀市レッドリスト 2017 哺乳類の概要\_.pdf
- Amano, Y., Kuwahara, M., Takahashi, T., Shirai, K., Yamane, K., Kawakami, T., Yokouchi, K., Amakawa, H. and Otake, T. (2018) Low-fidelity homing behaviour of Biwa salmon *Oncorhynchus* sp. landlocked in Lake Biwa as inferred from otolith elemental and Sr isotopic compositions. *Fisheries Science*, 84: 799-813.
- 東 幸代 (2018) 近世中期の船株争論—湖北・大浦の場合. *淡海文化財論叢*, 10 : 175-180.
- 芳賀裕樹・酒井陽一郎・石川可奈子 (2019) 琵琶湖南湖における 2017 年 9 月の沈水植物の現存量の平面分布. *陸水学雑誌*, 80 : 13-21.
- 春田直紀 (2018) *日本中世生業史論*. 岩波書店, 東京, 329p.
- 春田直紀 (2018) 浦から見た中世の地域社会. 大山喬平・三枝暁子 (編) *古代・中世の地域社会—「ムラの戸籍簿」の可能性*. 思文閣出版, 京都.
- 橋本道範 (2018) 南北朝期・室町期 社会・経済. *史学雑誌*, 127-5 : 86-90.
- Hayashi, M. and Ohba, S. (2018) Mouth morphology of diving beetle *Hyphydrus japonicus* (Dytiscidae: Hydroporinae) is specialized for predation on seed shrimps. *Biological Journal of the Linnean Society*, 125: 315-320.
- 林 紀男 (2018) プランクトンは水田生物にぎわいの基盤 特集 水田が支える生物多様性とその保全—総合的生物多様性管理. *日本の科学者*, 53 : 194-199.
- 林 竜馬 (2018) 遺跡の花粉分析から地域スケールの植生史をさぐる—滋賀県の遺跡古生態学データベースに基づく植生景観復元への試み—. *季刊考古学*, 145 : 24-27.
- Hibino, Y. and Tabata, R. (2018) Description of a new catfish, *Silurus tomodai* (Siluriformes: Siluridae) from central Japan. *Zootaxa*, 4459: 507-524.
- 保立道久 (2018) 地殻災害と「人新世」の歴史学. *歴史学研究*, 976 : 205-211.
- 市川秀之 (2019) 近代遥拝所と地域社会. 高木博志 (編) *近代天皇制と社会*. 思文閣出版, 京都, 177-219.
- 市川憲平 (2018) 水田・水路の魚たち—田んぼの魚の多様性復活に向けて 特集 水田が支える生物多様性とその保全—総合的生物多様性管理. *日本の科学者*, 53 : 212-217.
- 市川憲平 (2018) コンクリート水路の絶滅危惧種: トゲナベブタムシ. 大庭伸也 (編) *環境Eco選書⑬ 水生半翅類の生物学*. 北隆館, 東京, 58-71.
- Ishikawa, K., Haga, H., Inoue, E. and Ban, S. (2019) Determining suitable submerged macrophyte biomass in terms of dissolved oxygen concentration and biodiversity in the South Basin of Lake Biwa, Japan. *Limnology*, 20: 69-82.
- 亀田佳代子・里口保文 (2018) 琵琶湖博物館常設展示C展示室のリニューアル. *博物館学雑誌*, 43(2) : 159-169.
- 金尾滋史 (2018) 魚類にとっての水田・水路・ため池の役割とその保全. *第4回ミュージアム連携ワークショップ in 大阪 公開講座: 「農地がもつ自然環境機能の活かし方を考える」資料集*, 応用生態工学大阪, 45-50.
- 金尾滋史 (2018) びわ博 こだわり展示の裏話 33 おとなのディスカバリーに引き継がれた機能. *毎日新聞*, 11月20日.
- 金尾滋史 (2018) 琵琶湖の魚たち 人間に関わりが深いナマズ. *産経新聞*, 10月13日.
- 桐谷圭治 (2018) まえがき 特集 水田が支える生物多様性とその保全—総合的生物多様性管理. *日本の科学者*, 53 : 186.
- Kuwahara, M., Takahashi, H., Kikko, T., Kurumi, S. and Iguchi, K. (2019) Trace of outbreeding between Biwa salmon (*Oncorhynchus masou* subsp.) and amago (*O. m. ishikawae*) detected from the upper reaches of inlet streams within Lake Biwa water system, Japan. *Ichthyological Research*, 66: 67-78.
- 嶺田拓也 (2018) 水田にみられる植物をどう捉えるか 特集 水田が支える生物多様性とその保全—総合的生物多様

- 性管理. *日本の科学者*, 53 : 188-193.
- 森本信生 (2018) 言葉の玉手箱 特集 水田が支える生物多様性と其の保全—総合的的生物多様性管理. *日本の科学者* 53 : 187.
- 森本信生 (2018) 水田が支える昆虫の生物多様性と其の保全 特集 水田が支える生物多様性と其の保全—総合的的生物多様性管理. *日本の科学者*, 53 : 206-211.
- 向井康夫 (2018) 稲作水系におけるオオコオイムシとタガメの生活史. 大庭伸也 (編) *環境Eco選書⑬ 水生半翅類の生物学*. 北隆館, 東京, 84-98.
- 村上由美子 (2018) 残材にみる大径木の伐採技術—縄文時代から古代の事例に即して. *季刊考古学*, 145 : 57-60.
- 村上由美子 (2018) 縄文—弥生移行期におけるアカガシ亜属の利用—初期農耕集落の木材利用と生産活動の特質—. 森岡秀人・古代学協会 (編) *初期農耕活動と近畿の弥生社会*. 雄山閣, 東京, 111-124.
- 村上由美子 (2018) 生業用具. 宇野隆夫 (編) *モノと技術の古代史 木器編*. 吉川弘文館, 東京, 125-162.
- 中西康介 (2018) 風船虫のなぞ—ミズムシ科の生態と人との関わり. 大庭伸也 (編) *環境Eco選書⑬ 水生半翅類の生物学*. 北隆館, 東京, 72-83.
- 中西康介 (2018) 農業農村整備のための生態系配慮の基礎知識 (6) —水田・ため池の水生昆虫と其の保全—. *農業農村工学会誌*, 86 : 543-546.
- Nakanishi, K., Yokomizo, H. and Hayashi, T. I. (2018) Were the sharp declines of dragonfly populations in the 1990s in Japan caused by fipronil and imidacloprid? An analysis of Hill's causality for the case of *Sympetrum frequens*. *Environmental Science and Pollution Research*, 25: 35352-35364.
- Nakada, T., Tsuchida, Y. and Tomita, M. (2019) Improved taxon sampling and multigene phylogeny of unicellular chlamydomonads closely related to the colonial volvocalean lineage Tetrabaenaceae-Goniaceae-Volvocaceae (Volvocales, Chlorophyceae). *Molecular Phylogenetics and Evolution*: 1-8.
- 中田和義・金尾滋史・伊藤健二 (2018) 農業農村整備のための生態系配慮の基礎知識 (7) —水田・水利施設の外来生物と其の対策—. *農業農村工学会誌*, 86 : 619-624.
- 中村久美子 (2019) 湖岸より 337 幼児を育てる自然あそび. *中日新聞*, 2月23日.
- 小椋純一 (2019) 東山三十六峯図巻」から読み解く江戸時代後期における京都近郊の里山景観. *京都精華大学紀要*, 52 : 71-94.
- 小椋純一 (2019) 房総丘陵と筑波山地における明治前期から後期にかけての草原の減少. *生物科学*, 70-4 : 217-224.
- 大庭伸也 (2018) 稲作水系におけるタイコウチとコオイムシの生活史. 大庭伸也 (編) *環境Eco選書⑬ 水生半翅類の生物学*. 北隆館, 東京, 99-118.
- 大庭伸也 (2018) タイコウチ上科の採餌生態: 直接的・間接的に餌に及ぼす影響. 大庭伸也 (編) *環境Eco選書⑬ 水生半翅類の生物学*. 北隆館, 東京, 200-216.
- 大庭伸也 (2018) 外来種が水生半翅類に与える脅威. 大庭伸也 編, *環境Eco選書⑬水生半翅類の生物学*, 北隆館, 東京 : 277-289.
- 大庭伸也 (2018) 絶滅危惧種タガメの生態: 彼らは何を食べ、どのように暮らしているか. *化学と生物*, 56 : 301-305.
- 大高明史 (2018) 水田の水生小型貧毛類の記録. *日本ベントス学会誌*, 73 : 48-56.
- 大庭伸也 (2019) 日本の生態系における蚊の生態 ~特に身近な蚊の仲間たち~. *農業と園芸*, 94 (2) : 142-150.
- Ohba, S. (2019) Ecology of giant water bugs (Hemiptera, Heteroptera, Belostomatidae). *Entomological Science*, 22: 6-20.
- 大庭伸也・弘中満太郎 (2019) 人工照明に飛来したタガメの行動と其の体温変化. *Rostris*, 63 : 20-24.
- 大庭伸也・本木和幸・山本 賢・田中颯真・松田彩葉・松本弥優 (2019) 長崎大学教育学部周辺における外来種・カダヤシの拡散と其の認知度. *長崎大学教育学部紀要*, 5 : 125-131.
- 大庭伸也・立田晴記 (2018) タガメの採餌戦略. 大庭伸也 (編) *環境Eco選書⑬ 水生半翅類の生物学*. 北隆館, 東京, 185-199.
- Ohtsuka, T. (2018) LM and SEM observation of *Kurtkammeria spicula* (Hust.) comb. nov. *Diatom (Japanese Society of Diatomology)*, 34: 49-50.
- 大塚泰介 (2018) はしかけさんが琵琶湖から見つけた珪藻が新種記載されるまで. *びわはく* (滋賀県立琵琶湖博物館)

館), 2 : 5-6.

大浦ひなた・大庭伸也 (2018) 長崎市浦上川沿いにおけるコオイムシの記録. *長崎県生物学会誌*, 82 : 11-12.

里口保文・林 竜馬・加三千宣・芳賀裕樹 (2018) 琵琶湖南湖における泥質堆積物の層相と粒径. *日本第四紀学会講演要旨集*, 48 : 71.

澤邊久美子 (2019) 小規模半自然草地におけるカヤネズミの冬季の営巣環境. *保全生態学研究*, 24 : 31-38.

鈴木真裕・平井規央・石井 実 (2018) 大阪府の都市部に造成されたビオトープ池の大型無脊椎動物群集に及ぼす池干し効果. *環動昆 (日本環境動物昆虫学会)*, 29 : 1-12.

鈴木隆仁 (2018) 水田に棲みつく多様なイタチムシたちー水田から見つかる新種と珍種 特集 水田が支える生物多様性とその保全ー総合的生物多様性管理. *日本の科学者*, 53 : 200-205.

Takahashi, S., Tomita, M. and Nakada, T. (2018) Morphology and phylogeny of a Japanese strain of *Chlamydomonas augustae* (Volvocales, Chlorophyceae). *Journal of Japanese Botany*, 93: 317-321.

辻 彰洋・大塚泰介 (2018) 琵琶湖の固有種スズキケイソウの進化の謎に迫る. *びわはく (滋賀県立琵琶湖博物館)*, 2 : 1-4.

宇根 豊 (2018) 水田の生きものへの百姓のまなざしー生物多様性管理 (IBM) を技術化するための方法論 特集 水田が支える生物多様性とその保全ー総合的生物多様性管理. *日本の科学者*, 53 : 218-223.

渡部晃平・大庭伸也 (2018) タガメが減少した要因 -なぜ全国的に激減したのか?-. 大庭伸也 (編) *環境Eco選書 ⑬ 水生半翅類の生物学*. 北隆館, 東京, 258-276.

山川千代美 編 (2018) *滋賀県立琵琶湖博物館第26回企画展示「化石林ーねむる太古の森」*. 琵琶湖博物館, 64p.

楊 平 (2018) 水上生活における資源利用. 鳥越皓之・足立重和・金菱清 (編) *生活環境主義のコミュニティ分析*, ミネルヴァ書房, 京都, 443-460.

楊 平 (2018) 博物館における多言語対応 (特集博物館における多言語対応). *Museum Studies (日本博物館協会)*, 53 (1) : 11-14.

楊 平 (2018) 湖岸より 333 生活を支える水辺の多様性. *中日新聞*, 12月15日.

\*編集者注: このリストでは、印刷物を研究課題ごとに分けることなく、すべてを著者名のアルファベット順に並べた。

## 2018 年度の研究活動をふりかえって

琵琶湖博物館は 1996 年 4 月に設立し、10 月に開館してから、今年度 21 年目に突入した。今年度は、2016 年度に策定した新琵琶湖博物館創造基本計画の研究活動方針に沿って、行動計画の研究事業を進めた。博物館では研究活動は博物館の根幹であると位置づけ、「湖と人間」のテーマのもと、琵琶湖とその周辺の多面的な価値を地域の人たちと共に探る研究を継続して行うとしている。その方向性として、(1) 琵琶湖地域の「湖と人間」の関係性を探る総合的な研究の推進、(2) 「古代湖」としての琵琶湖の価値を探る比較研究、(3) 「木から森へ」の博物館学の追求を掲げ、2020 年度までの行動計画を実現していくものである。

その創造基本計画に従い、第2期交流空間のリニューアルとして、2018年7月に「おとなのディスカバリー」と「ディスカバリー・ルーム」をオープンさせ、11月には屋外展示「樹幹トレイル」をお披露目することができた。また、これまで20年間の当館ならではの学際的・地域的研究、また他の研究機関や地域の人びととともに調査研究した成果および研究調査に基づいた資料の集積を活かし、第3期展示リニューアルA・B展示室の実施設計を行った。

研究活動方針の1つである、琵琶湖淀川水系の文化や固有種を含む生物多様性とその形成過程など東アジア水系の特徴を明らかにする研究を 2016 年から進めている。特に、琵琶湖博物館と MOU を締結している韓国洛東江生物資源館と共同研究に向けた相互交流活動や二国間合同セミナーを実施した（2018 年 7 月/12 月滋賀）。二国間合同セミナーは、日本学術振興会二国間交流事業共同研究・セミナー「日本と韓国における淡水生物の多様性と変遷」の助成を受けて行った。もう1つの方針である、古代湖としての琵琶湖の価値を高めるため、湖の形成とその環境変化、固有種の成立、種分化や進化、湖辺での暮らしや歴史的な人と湖との関わり捉える研究に取り組んでいる。マケドニア共和国のオフリド水生生物研究所との MOU の推進を図るため、2018 年 10 月に開催された世界湖沼会議（茨城）に合わせて博物館での協議を検討したが、折り合いがつかず、双方のホームページ上での情報リンクを行うにとどまった。今後、国際協力協定を結んでいる海外の博物館、研究機関との資料交換や共同研究など協力関係を継続して密接にとり、「古代湖」や「東アジア水系」の特徴や価値を見出す比較研究を推進していきたい。

今年度の研究発信は、学術論文 29 件、専門分野の著述 28 件、一般向けの著述 118 件、学会等での発表は 145 件であった。研究成果の発信数は、ここ数年論文数が低い水準に留まっている。その一方で、学会や研究会での発表が増加しており、今後論文としての公表が見込まれるが、まとまった研究時間の確保が急務となる。研究発信のひとつである第 26 回企画展示は、「化石林 ねむる太古の森」と題し、7 月 21 日から 11 月 25 日まで開催した。観覧者数は 49,128 人で好評であった。また、研究の成果をわかりやすく一般の方に伝えるために、中日新聞連載コラム「湖岸より」などへの執筆のほか、琵琶湖博物館ブックレットシリーズの刊行を継続している。今年度は、第 7 号「琵琶湖はいつできたー地層が伝える過去の環境ー」、第 8 号「古琵琶湖の足跡化石を探る」、第 9 号「ビワコオオナマズの秘密を探る」

を発刊し、今後も継続してその充実を図っていく予定である。新琵琶湖学セミナーでは「森と水辺の物語—新しい歴史展示をつくる」と題し、地域環境史という自然と人間の関係の歴史について、総合研究の成果を中心に紹介する機会とした。この成果は、第三期展示リニューアル（B展示室）にも反映させる予定であり、その内容や研究の裏話などについてもより深く学べるセミナーとした。セミナーは1月、2月、3月の3回に渡って、学芸員や外部研究者による6本の発表を行い、合計199名の参加があった。

今年度も2016年度に受けた滋賀県立試験研究機関に対する外部監査の主な指摘事項、1) 評価体制に関すること、2) 劇物・毒物等薬品類の管理体制や運用に関すること、3) 研究機器類の管理と運用に関することについて改善を進め、通常業務として取り組めるように整備したが、3)の機器類の管理と廃棄の点は課題として残されている。

研究予算としては、年々県費による研究費が減少する中で、これまで科学研究費などの外部資金の獲得を組織的に取り組んできた。今年度の科学研究費については7件の新規採択があり、継続を合わせて9件という結果であった。新規採択数を増加、維持していくため、今後も科学研究費申請は研究を本務とする学芸職員の義務という位置づけを継続し、論文による研究成果の公表を高め、申請書作成の努力を惜しまないようにする必要がある。また、科学研究費以外の外部助成に積極的に応募するなど研究費の確保を行っていく。また、特別研究員は21名を受け入れ、科研費の申請にかかわる課題や当館が行う研究調査が幅広く推進されてきているが、共同利用室のスペースや博物館への研究成果の還元の仕方など課題が残る。研究環境の改善として、研究棟のカビ発生や空調設備の老朽化問題、大型精密分析機器や調査船など（DNAシーケンサー、走査電子顕微鏡）研究備品の更新が必要となってきた。今後、特別研究員と連携した琵琶湖博物館の研究推進や研究成果の共有、研究不正の防止体制づくりを視野に入れた、他の館外研究者の受け入れ制度全体を見直す必要がある。

特に、2020年度までリニューアル期間が継続することで、通常業務に加え一人あたりの業務量が増加していることが挙げられる。働き方改革による業務の見直しとともに、いかに集中して研究時間の確保を行うかが課題である。今年度は研究専念日として週1日確保を目標に、各学芸員が曜日を設定し実施する試みを行った。研究時間の現状把握として、2018年11月～12月の任意の1週間、無記名によるアンケート調査を行った。6サンプルの回答から1日約2.7時間の研究時間(11%)が確保されている結果となった。しかしながら、研究以外の業務(37%)に対して、1:4の比率であり、研究時間の4倍の博物館運営業務に時間を費やしていることとなった。この傾向は、昨年度(2018年1月～2月)の比率1:8から減少しているものの、多様な博物館業務をこなしている実態を示していると思われる。これまでの現状調査から、個人差や担当業務、季節によってかなり異なっており、さらに異なる時期の現状調査を行い、研究時間の確保に向けた取り組みを進める必要がある。その1つとして、年間を通じて、業務と研究のバランスを考えた学芸職員のマネジメント力も高めることも含まれるだろう。

研究部長 山川千代美

琵琶湖博物館業績目録 第23号

2018年度

令和元年（2019年）5月発行

編集：滋賀県立琵琶湖博物館

発行：滋賀県立琵琶湖博物館

〒525-0001 滋賀県草津市下物町 1091

電話 077-568-4811(代)